

## 生活芸術学科科目

| 授業科目名               | 右上表示    | 授業科目名                | 右上表示     |
|---------------------|---------|----------------------|----------|
| 衣材料学                | 生芸-1    | 建築保存再生論              | 生芸-33    |
| 衣材料学演習              | 生芸-2    | 住居マネジメント             | 生芸-34    |
| テキスタイル試験法演習         | 生芸-3    | 住居環境学（テキスト）          | 生芸-35(1) |
| 染色加工学               | 生芸-4    | 住居環境学（後期土曜スクーリング）    | 生芸-35(2) |
| 衣整理学(テキスト)          | 生芸-5(1) | 住居設備学                | 生芸-36    |
| 衣整理学(前期エニタイムスクーリング) | 生芸-5(2) | まちづくり論               | 生芸-37    |
| 衣整理学(後期エニタイムスクーリング) | 生芸-5(3) | 建築計画論                | 生芸-38    |
| 衣整理学演習              | 生芸-6    | インテリア計画論             | 生芸-39    |
| 衣造形学                | 生芸-7    | 建築法規                 | 生芸-40    |
| 衣造形実習Ⅰ(夏期スクーリング)    | 生芸-8(1) | 住居製図(夏期スクーリング)       | 生芸-41(1) |
| 衣造形実習Ⅰ(集中スクーリング)    | 生芸-8(2) | 住居製図(後期土曜スクーリング)     | 生芸-41(2) |
| 衣造形実習Ⅱ(夏期スクーリング)    | 生芸-9(1) | 住居設計Ⅰ(前期土曜スクーリング)    | 生芸-42(1) |
| 衣造形実習Ⅱ(集中スクーリング)    | 生芸-9(2) | 住居設計Ⅰ(後期土曜スクーリング)    | 生芸-42(2) |
| 衣造形実習Ⅲ              | 生芸-10   | 住居設計Ⅱ                | 生芸-43    |
| ユニバーサルデザイン論         | 生芸-11   | コンピュータデザイン           | 生芸-44    |
| 色彩学                 | 生芸-12   | インテリアデザイン演習          | 生芸-45    |
| 色彩学演習               | 生芸-13   | 力と形                  | 生芸-46    |
| 衣環境学                | 生芸-14   | 住居構造                 | 生芸-47    |
| 色彩環境論               | 生芸-15   | 構造力学                 | 生芸-48    |
| 西洋服飾文化史             | 生芸-16   | 建築・インテリア材料           | 生芸-49    |
| 生活文化論               | 生芸-17   | 建築施工                 | 生芸-50    |
| 服飾美学                | 生芸-18   | 住居学特講                | 生芸-51    |
| 生活デザイン論             | 生芸-19   | 児童学概論                | 生芸-52    |
| 造形芸術論               | 生芸-20   | 食物学概論                | 生芸-53    |
| アパレルのための品質管理        | 生芸-21   | 衣生活学概論               | 生芸-54    |
| アパレル品質管理ケーススタディ(基礎) | 生芸-22   | 住居学概論(テキスト)          | 生芸-55(1) |
| アパレル品質管理ケーススタディ(応用) | 生芸-23   | 住居学概論(前期エニタイムスクーリング) | 生芸-55(2) |
| 流通・消費系特別講義          | 生芸-24   | 住居学概論(後期エニタイムスクーリング) | 生芸-55(3) |
| マーケティング論            | 生芸-25   | 家庭管理概論               | 生芸-56    |
| 消費者行動・調査法           | 生芸-26   | 家族関係論                | 生芸-57    |
| 消費生活論               | 生芸-27   | 調理基礎                 | 生芸-58    |
| 住生活学                | 生芸-28   | 調理基礎実習(夏期スクーリング)     | 生芸-59(1) |
| 住宅問題・政策             | 生芸-29   | 調理基礎実習(後期土曜スクーリング)   | 生芸-59(2) |
| 住居史                 | 生芸-30   | 衣服実習(夏期スクーリング)       | 生芸-60(1) |
| 福祉環境論               | 生芸-31   | 衣服実習(後期土曜スクーリング)     | 生芸-60(2) |
| 住居安全情報論             | 生芸-32   |                      |          |

## 衣材料学（テキスト）

担当教員： 池田 綾子

1 年次～ 必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

衣服を構成する材料は、基本的に繊維から作られる。「衣材料学」では、衣服を構成する材料、すなわち繊維、糸、布などに関して、それぞれの生産プロセスを踏まえ、その構造と性質を習得する。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

1. 繊維の種類（分類を含む）・構造と性質について説明できる。
2. 糸の種類・構造と性質について説明できる。
3. 布の種類（織物、ニット、不織布など）・構造と性質について説明できる。

## 学習の進め方

1. まず最初に「学習の手引」を必ず読み、「学習の手引」を参考に、テキストに沿って、章ごとに学習を進める。
2. リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキストで確認し、構想をまとめる。リポート課題に付されている注意（ねらい、アドバイス）などもよく読むこと。
3. 科目修了試験はリポート課題に関連した章以外からも出題されるので、テキスト全体をよく理解すること（第 5、6 章は除く）。

『衣服材料の科学』（旧テキスト）の場合（第 5～7 章は除く）

## 内容

- |                                 |                                             |
|---------------------------------|---------------------------------------------|
| 1. 繊維の構造と繊維の性質、繊維の分類            | 9. 織物組織（基本組織、変化組織）と組織図、織物と構成因子              |
| 2. 天然繊維の種類と特徴                   | 10. 重ね組織、添毛組織、からみ組織など                       |
| 3. 再生繊維の種類と特徴、半合成繊維の種類と特徴       | 11. 編物の分類（たて編、よこ編）、編物の基本編目                  |
| 4. 合成繊維の種類と特徴                   | 12. 編物と織物の構造と性質についての相違点                     |
| 5. 糸の種類と製法(1)：紡績糸（綿糸、梳毛糸と紡毛糸）   | 13. 不織布について（分類、製法、性質、用途）、その他の布（皮革、レース、組物など） |
| 6. 糸の種類と製法(2)：フィラメント糸、加工糸、複合糸など | 14. 布の力学的性質：強度特性、外観特性など                     |
| 7. 番手、撚り、糸の性質など                 | 15. 布の水分特性、快適性に関する性質など                      |
| 8. 布の分類、製織のプロセス、織物の分類           |                                             |

## テキスト・参考書

①テキスト 衣服材料学 平井郁子 松梨久仁子編 朝倉書店 2020、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- (1) 衣服材料の科学 島崎恒蔵編 建帛社 2009
  - (2) アパレル素材論 文化服装学院編 文化出版局 2001
  - (3) 業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座 繊維学会監修 ファイバー・ジャパン 2016
  - (4) 新稿 被服材料学—概説と実験— 中島利誠編著 光生館 2010
  - (5) はじめて学ぶ繊維 信州大学繊維学部編 日刊工業新聞社 2011
  - (6) 知っておきたい繊維の知識 524 日本繊維技術士センター ダイセン 2019

## 成績評価

①リポート 課題の理解 60%、ねらい・アドバイスの活用 20%、リポートとしての完成度 20%

②科目修了試験 筆記試験における各問の配点をもとに合計点で評価する。ただし、1 問でも 0 点の場合は、不合格にすることもある。

衣材料学演習（夏期スクーリング）

担当教員： 矢中 睦美・奥脇 菜那子

2 年次～ 選択必修 2 単位    【繊維製品品質管理士】

スクーリング科目／2025 年度

概要

- ①衣服の材料である繊維、糸および布（織物・編物・不織布など）について、その種類、成り立ち、特徴などの解説を行う。
- ②それぞれの項目に対応した演習を行う。
- ③これらの演習を通して、テキスト科目で学習している内容についての理解を深める。

授業の方法

【面接】  
それぞれの内容について、講義および実験を行う。実験については、レポート課題を提出する。  
最終日の確認試験と解説により内容について理解を深める。

学位授与方針との関係

生芸DP1

到達目標

- ①繊維および衣服材料の基礎知識を身につける。
- ②素材の性能を有効に活用することができる。
- ③それぞれの用途に適した衣服材料の選択ができる。

授業計画

|                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| 1. ガイダンス          | 9. 糸の番手、糸のより方向、合糸数         |
| 2. 布の成り立ち         | 10. 布について（織物、編物、フェルト、不織布）  |
| 3. 繊維について         | 11. 織物組織（組織図）              |
| 4. 繊維の採取          | 12. 布の構成要素                 |
| 5. 顕微鏡による繊維の形態観察① | 13. 織物の製作（たて糸とよこ糸の交錯状態を知る） |
| 6. 顕微鏡による繊維の形態観察② | 14. フェルトの製作（羊毛の性質を知る）      |
| 7. 繊維の燃焼性試験       | 15. 5 日間のまとめ・筆記試験          |
| 8. 糸について          |                            |
|                   | 詳細は、初日にプリントを配布する。          |

受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間  
繊維の種類と布の種類について、事前に教科書を読んでおく（最低2時間）。受講中の復習・予習を行う（毎日1時間程度）。
- ②使用教科書    衣材料科学実験 松梨久仁子・平井郁子編著 朝倉書店 2022  
衣材料科学 平井郁子・松梨久仁子 朝倉書店 2020  
ほかにプリント配布
- ③参考書    衣服材料の科学 島崎恒蔵編著 建帛社 2009
- ④用意するもの    白衣（なければエプロンでも可）電卓があると便利（購入する必要はない）
- ⑤成績評価    授業への意欲 20%、レポート（翌日提出、配布した用紙を使用） 30%、スクーリング最終日に行う筆記試験 50%
- ⑥学生へのメッセージ    ①スライド資料は前日または当日にmanabaにて配信します。必要に応じて印刷してください。  
②授業中に配信資料を見るためのPC・タブレットの持ち込みを可とします（試験中は持ち込み不可）。
- ⑦追試験    対象外科目
- 特記事項    受講者数を30名までとする（15名×2クラス開講します）

テキスタイル試験法演習（夏期スクーリング）

担当教員： 大塚 美香

3 年次～ 選択 2 単位 【繊維製品品質管理士】

スクーリング科目／2025 年度

概要

繊維製品の物理・化学的性質および JIS 法を中心とする試験、また染色堅牢度試験などを体得し、繊維製品の品質を学ぶ。苦情例も知り、再発防止策なども考える。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸DP2

到達目標

- ①まずは繊維の性質をしっかりと理解し、消費者が繊維製品に求める品質を知ったうえで、それらに関連する各種試験法を確認する。
- ②苦情の原因を推定する知識を身につけ、再発防止策まで考えられるようにする。

授業計画

- |                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 品質管理と品質保証について               | 9. 物性に関する試験                   |
| 2. 各種繊維・糸・布の基礎知識の確認および繊維製品の苦情例 | 10. 外観・形態に関する試験（シームパッカリングの評価） |
| 3. 糸の観察（実習）                    | 11. 衛生・着心地に関する試験①（透湿性率の測定）    |
| 4. 布の組織と特徴の観察（実習）              | 12. 衛生・着心地に関する試験②（吸水実験沈降法）    |
| 5. 繊維の鑑別試験（染色法、他）              | 13. 官能試験                      |
| 6. 堅ろう度に関する試験①（洗濯堅ろう度試験、他）     | 14. 機器分析                      |
| 7. 堅ろう度に関する試験②（耐光堅ろう度）         | 15. まとめ                       |
| 8. 堅ろう度に関する試験③（大丸法）            | ※実験や実習の内容は変更することがある。          |
|                                | ※実験や実習の順番は前後することがある。          |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業内容に合わせて、教科書や配付プリントに目を通して、行うことを把握し、講義等で話した内容を復習すること。1 時間程度。

事前学習 「衣材科学」、「衣整理学」を受講している者は、内容を復習しておくが良い。

②使用教科書 衣服材料科学実験 松梨久仁子・平井郁子編著 朝倉書店（2018）  
スクーリング中にプリントを配布

③参考書 ①新訂 3 版 繊維製品の基礎知識 第 1～3 部 日本衣料管理協会（2023）  
②繊維製品の品質問題究明ガイドー消費者苦情の原因究明・再発防止策ー 日本衣料管理協会（2019）  
③被服材料実験書 石川欣造 同文書院（1991）  
④被服管理学および実験 林雅子 文化出版局（1993）

④持参するもの 教科書、筆記用具、エプロン（実習時）

⑤成績評価 実験レポート 80%、最終日の筆記試験 20%

⑥学生へのメッセージ 繊維製品品質管理士取得には受講が望ましい。  
実験の内容やスケジュールは変更する場合がある。初日に発表する。

⑦追試験 対象科目

特記事項 受講者数を 32 名までとする

# 染色加工学（テキスト）

担当教員： 榎本 一郎

2 年次～ 選択必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

物の色がどのように見え、糸や生地がどのように染められるのかについて学ぶ。色材（染料・顔料）と繊維がどのように結合すると色落ちしにくくなるのか、糸で染めるのか布で染めるのか、生地全体を染めるのか部分的に染める（図柄）のかなど、染色方法や染色前の処理について学ぶ。染色後は、乾燥およびしわの付いた生地や縮んだ生地を元の状態にする仕上げ加工に加え、濡れても水をはじくはっ水加工や、菌の増殖を防いでにおいの発生を防止する抗菌消臭加工など、特定の機能を付与する機能性加工がある。ここでは、これら染色および加工について学習する。

## 授業の方法

【印刷教材等】テキストを熟読して各自理解を深める。

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①なぜ色が見えるのかを理解する。
- ②色材の種類と素材との関連を理解する。
- ③仕上げ加工および機能性加工について理解を深める。

## 学習の進め方

テキストの染色加工を一読して染色とは何かを大まかに把握し、学習を進める過程で不明な個所が出てきた場合は、適宜参考書にあたり理解を深める。

## 内容

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 光と色           | 9. 日本の伝統染織          |
| 2. 染色に必要な染料、薬剤、水 | 10. 変退色が起こる要因       |
| 3. 前処理工程         | 11. 染色堅ろう度          |
| 4. 各種合成染料        | 12. 色に関わるトラブルクレームとは |
| 5. 各種染料の染着機構     | 13. 色に関わるトラブル各種事例   |
| 6. 染色条件          | 14. 仕上げ加工           |
| 7. 染色の方法         | 15. 機能性加工           |
| 8. 天然染料による染色     |                     |

## テキスト・参考書

①テキスト 染色加工学 日本衣料管理協会編 日本衣料管理協会 2020

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- ①業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座 日本繊維技術士センター編 繊維社 2016
  - ②「染色」って何？ーやさしい染色の化学ー 繊維応用技術研究会編 上甲恭平著 繊維社 2012
  - ③学振版染色機能加工要論 日本学術振興会繊維・高分子機能加工第120委員会編 色染社 2004
  - ④JIS ハンドブック 31 繊維（2022） 日本規格協会編 日本規格協会

## 成績評価

- ①レポート 課題の理解度 50%、学習成果 30%、レポートの完成度 20%
- ②科目修了試験 知識 40%、理解 30%、論理性 30% 1 問でも無回答又は 0 点の場合、不合格となる場合がある。

## その他

店頭に並ぶお気に入りの衣服を見つけたら、どのような素材で作られているか品質表示を見てください。ポリエステル繊維だったら何染料で染められているか、綿繊維だったら何と、興味を持って観察すると学習が楽しくなると思います。

# 衣整理学 (テキスト)

担当教員：大塚 美香

2年次～ 必修2単位 【繊維製品品質管理士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

衣類を使用・着用するにあたり、手入れや管理は欠くことができない。この科目では、洗剤、洗濯、商業クリーニング、仕上げ加工などの被服整理に関する内容について専門的に学ぶ。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①洗浄理論を理解し、洗たくの実際について理解を深める。
- ②漂白、しみ抜き、仕上げ、保管、廃棄などについて理解する。

## 学習の進め方

最初に、テキストの「第1章 被服の汚れ」と「第2章 洗濯用水と衣料用洗剤」を理解すること。次に、「第3章 洗剤の成分と洗浄作用」を勉強するとよい。さらに「第8章 漂白と増白」「第10章 糊つけと仕上げ」を学ぶことで、家庭洗濯で行われていることが科学的に理解できる。教科書を学修し、不明点は、学習の手引き、専門書などを使って補完する事。

## 内容

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 衣服の汚れ       | 9. しみ抜き         |
| 2. 洗濯用水と衣料用洗剤  | 10. 糊つけと仕上げ     |
| 3. 洗剤の成分と洗浄作用  | 11. 衣服の保管       |
| 4. 洗濯機         | 12. 商業洗濯        |
| 5. 家庭洗濯        | 13. 取り扱い表示      |
| 6. 洗浄力の試験法と評価  | 14. 衣類の廃棄とリサイクル |
| 7. 機械作用の試験法と評価 | 15. 繊維製品の品質表示   |
| 8. 漂白と増白       |                 |

## テキスト・参考書

- ①テキスト 改訂 被服整理学 日本衣料管理協会、学習の手引  
2022 年度より教科書が変更になっているので注意すること。

テキスト一覧（「履修の手引」に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 ①被服管理学 朝倉書店 2021  
②被服整理学 日本女子大 2010  
③被服整理学 日本衣料管理協会 2008  
④衣服管理の科学 片山倫子他 建帛社 2002

## 成績評価

- ①レポート 課題に沿った内容 60%、発展的な内容 10%、読みやすい構成 30%  
②科目修了試験 全体を 100 点とし、課題に的確に回答しているかを、文章の構成とキーワードの有無で評価する。

## その他

日常生活での衣類の洗濯、管理などと結び付けて理解をすること。

衣整理学（前期エニタイムスクーリング）

担当教員：大塚 美香

2 年次～ 必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

スクーリング科目／2025 年度

概要

衣類を使用・着用するにあたり、手入れや管理は欠くことができない。この科目では、洗剤、洗濯、商業クリーニング、仕上げ加工などの被服整理に関する内容について専門的に学ぶ。

授業の方法

【オンデマンド型（manaba 利用）】  
講義動画を視聴し指定の教科書の該当部分を読んだ上で、各回の確認テストを受験する。レポートは 5 課題とし、期日までに提出することが必要である。最終週にまとめのテストを受験すること。

学位授与方針との関係

生芸DP1

到達目標

- ①洗浄理論を理解し、洗たくの実際について理解を深める。
- ②漂白、しみ抜き、仕上げ、保管、廃棄などについて理解する。

授業計画

|                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| Week 1              | Week 4                      |
| 1. 被服の汚れ①           | 10. 漂白と増白（レポート 4）           |
| 2. 被服の汚れ②           | 11. しみ抜き                    |
| 3. 被服の洗浄①（レポート 1）   | 12. 仕上げ                     |
| Week 2              | Week 5                      |
| 4. 洗浄メカニズム①         | 13. 被服の保管                   |
| 5. 洗浄メカニズム②（レポート 2） | 14. 繊維製品と環境問題（レポート 5）       |
| 6. 被服の洗浄②           | 15. まとめテスト                  |
| Week 3              | まとめのテストは授業最終週に manaba にて行う。 |
| 7. 被服の洗浄③（レポート 3）   |                             |
| 8. 洗浄試験と評価          |                             |
| 9. 被服の洗浄④           |                             |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書を読んでおく。30 分から 1 時間程度。

事前課題 特になし

②使用教科書

生活科学テキストシリーズ 被服管理学 朝倉書店（2012）

③参考書

- ①改訂被服整理学 日本衣料管理協会（2017）
- ②被服整理学 日本女子大学（2010）
- ③被服整理学 日本衣料管理協会（2008）
- ④衣服管理の科学 片山倫子他 建帛社（2002）

④持参（準備）するもの

教科書、筆記用具、

⑤成績評価

レポート 70%、確認テスト 10%、まとめのテスト 20% （未提出がある場合は、単位を認めない）

尚、講義動画、指定教科書をきちんと確認した上で、レポート課題を作成すること。明らかに講義動画を見ていない、指定教科書を読まないで作成されたレポートであると判断した場合には、不合格とすることがある。

#### ⑥学生へのメッセージ

日常生活での衣類の洗濯、管理などと結び付けて理解をすること。

指定教科書は、2023 年度よりテキスト科目の「衣整理学」で使用している教科書とは違う本なので注意すること。

#### ⑦追試験

対象外科目

衣整理学（後期エニタイムスクーリング）

担当教員：大塚 美香

2 年次～ 必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

スクーリング科目／2025 年度

概要

衣類を使用・着用するにあたり、手入れや管理は欠くことができない。この科目では、洗剤、洗濯、商業クリーニング、仕上げ加工などの被服整理に関する内容について専門的に学ぶ。

授業の方法

【オンデマンド型（manaba 利用）】

講義動画を視聴し指定の教科書の該当部分を読んだ上で、各回の確認テストを受験する。レポートは 5 課題とし、期日までに提出することが必要である。最終週にまとめのテストを受験すること。

学位授与方針との関係

生芸DP1

到達目標

- ①洗浄理論を理解し、洗たくの実際について理解を深める。
- ②漂白、しみ抜き、仕上げ、保管、廃棄などについて理解する。

授業計画

|                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| Week 1              | Week 4                      |
| 1. 被服の汚れ①           | 10. 漂白と増白（レポート 4）           |
| 2. 被服の汚れ②           | 11. しみ抜き                    |
| 3. 被服の洗浄①（レポート 1）   | 12. 仕上げ                     |
| Week 2              | Week 5                      |
| 4. 洗浄メカニズム①         | 13. 被服の保管                   |
| 5. 洗浄メカニズム②（レポート 2） | 14. 繊維製品と環境問題（レポート 5）       |
| 6. 被服の洗浄②           | 15. まとめテスト                  |
| Week 3              | まとめのテストは授業最終週に manaba にて行う。 |
| 7. 被服の洗浄③（レポート 3）   |                             |
| 8. 洗浄試験と評価          |                             |
| 9. 被服の洗浄④           |                             |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書を読んでおく。30 分から 1 時間程度。

事前課題 特になし

②使用教科書

生活科学テキストシリーズ 被服管理学 朝倉書店 (2012)

③参考書

- ①改訂被服整理学 日本衣料管理協会 (2017)
- ②被服整理学 日本女子大学 (2010)
- ③被服整理学 日本衣料管理協会 (2008)
- ④衣服管理の科学 片山倫子他 建帛社 (2002)

④持参（準備）するもの

教科書、筆記用具、

⑤成績評価

レポート 70%、確認テスト 10%、まとめのテスト 20% （未提出がある場合は、単位を認めない）

尚、講義動画、指定教科書をきちんと確認した上で、レポート課題を作成すること。明らかに講義動画を見ていない、指定教科書を読まないで作成されたレポートであると判断した場合には、不合格とすることがある。

⑥学生へのメッセージ

日常生活での衣類の洗濯、管理などと結び付けて理解をすること。

指定教科書は、2023 年度よりテキスト科目の「衣整理学」で使用している教科書とは違う本なので注意すること。

⑦追試験

対象外科目

衣整理学演習（夏期スクーリング）

担当教員：大塚 美香

2 年次～ 選択必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

スクーリング科目／2025 年度

概要

界面活性剤やアイロンなどの実験、手洗い洗濯やしみ抜きの実習など、実際に現象を確認することにより、テキスト科目「衣整理学」で学んだ、汚れの洗浄理論や漂白メカニズムなどの理解を深める。さらに、映像なども見ながら、衣整理学と洗剤や漂白剤などの生活用品とのかかわりを知る。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸DP2

到達目標

- ①洗剤の表示と主成分である界面活性剤の働きを理解する。
- ②洗浄のメカニズムを理解する。
- ③衣整理学と生活用品とのかかわりを知る。

授業計画

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 界面活性剤についての理解           | 9. 漂白剤の効果と影響（実験）     |
| 2. タンパク質汚れの検出（実験）         | 10. 染色実習（実習）         |
| 3. 界面活性剤の性質と作用（実験）        | 11a. アイロンの使用法（任意で実習） |
| 4. 洗濯に適した水について（実験）        | 11b. アイロン寸法変化率試験（実験） |
| 5. 表面張力の測定（実験）            | 12. 衣類の糊付け           |
| 6. 繊維の吸水性について（デモンストレーション） | 13. 繊維製品の表示と洗濯方法の検討  |
| 7. 洗浄力試験（実験）              | 14. しみ抜き（実習）         |
| 8. 再汚染防止作用について（実験）        | 15. まとめ              |
- ※実験や実習の内容や順番は変更することがある。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前に配布するテキストを読んでくること。

事前課題

テキスト科目・エニタイムスクーリング「衣整理学」を受講している者は、テキスト『被服管理学』の関連箇所を目を通しておくこと。

②使用教科書

事前に使用テキストを配布する。

③参考書

生活科学テキストシリーズ 被服管理学 朝倉書店 2021  
改訂被服整理学 日本衣料管理協会 2017

④持参（準備）するもの

教科書、筆記用具、エプロンもしくは白衣（実習時）

⑤成績評価

実験および課題レポート 80% 小テスト 20%

⑥学生へのメッセージ

テキスト科目・エニタイムスクーリング「衣整理学」を受講して興味を持った者は、この演習を受講し理解を深めてください。

⑦追試験

対象科目

特記事項 受講者数を 32 名までとする

## 衣造形学（テキスト）

担当教員： 武本 歩未

2 年次～ 必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

衣服の設計・生産には、着衣基体としての人体の構造・形態、および人体の生理的・心理的な分野、また衣服素材や縫製に関する分野への総合的な知識が必要とされる。本科目では、被服構成のための人間因子である人体構造、体型、動作のとらえ方や衣服のパターン設計法、衣服素材と可縫性の問題、アパレル生産の工程について学習し、さまざまな社会的要請に対応できる衣服造形について学習する。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP2 生芸DP5

## 到達目標

- ①衣服に求められる性能について理解する。
- ②各種人体計測法を学び、人体の寸法、形態、動作の捉え方を理解する。
- ②人体と衣服パターンの関係を理解する。
- ③アパレル生産の工程と縫製の問題を理解する。

## 学習の進め方

1. 「学習の手引」を参考に、テキストの章ごとに学習を進める。
2. 「レポート課題」「ねらい」「アドバイス」を確認し、関係する箇所を重点的に学習し、重要なポイントをまとめる。
3. レポート合格の場合は、科目修了試験に向けて、「2」でまとめたことを中心に、テキスト全体の理解を深める。

## 内容

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 衣服の機能・衣服に求められる特性      | 9. 衣服の評価                    |
| 2. 人体の構造                 | 10. 衣服生産の仕組み                |
| 3. 各種人体計測法と体型の差の捉え方      | 11. 既製衣料サイズと工業用ボディ          |
| 4. 人体形態と原型、動作と衣服設計       | 12. プロダクトパターン—アパレルCADによる設計— |
| 5. 身体状況と衣服パターン           | 13. 衣服の生産—縫製準備—             |
| 6. デザインパターンへの展開          | 14. 衣服の生産—縫製・仕上げ—           |
| 7. 主素材に求められる性能、副資材の種類と性能 | 15. 縫製機器と縫製上の問題点            |
| 8. 布地の立体化                |                             |

## テキスト・参考書

- ①テキスト ①アパレル設計論 アパレル生産論 （一社）日本衣料管理協会編 令和6年4月 第2版  
②学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 ①衣服の百科事典 大塚美智子代表編集 丸善出版 2015  
②アパレル設計実習・アパレル生産実習（一社）日本衣料管理協会編 2019  
③被服のための人間因子 間壁 治子 日本出版サービス 2005

## 成績評価

- ①レポート 課題の主旨の理解 60% 学習成果（応用的、発展的記述の有無）20% レポートの完成度 20%  
②科目修了試験 1) 全2問各50点とし、合計点で評価する。  
2) 論述形式の出題とし、問題の主旨の理解 40%、知識 50%、論理性 10%の割合で評価する。

## その他

レポートに図表を引用した場合、タイトル、出典をつけ、図表の内容について言及すること。また、レポートは項目を立てて整然と明瞭に記述する。

衣造形実習Ⅰ（夏期スクーリング）

担当教員： 武本 歩未

2 年次～ 選択 1 単位

スクーリング科目／2025 年度

**概要**

ジャケットの製作を通して、衣服の構造、パターン、衣服素材、副資材、各種縫製用具・機器の取り扱い等を総合的に理解する。また、被服構成のための人体計測法について実習を通して学び、体型と衣服サイズの関係を理解する。さらに、職業用、工業用ミシンの操作、アパレルCAD システムのデモンストレーションを通し、生産のための衣服生産の工程についても学習する。

**授業の方法**

【面接】

**学位授与方針との関係**

生芸DP1 生芸DP5

**到達目標**

1. 人体計測法の基礎を理解することができる。

2. 衣服の構造、縫製手順とその手法を理解することができる。

|                                |                                   |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| <b>授業計画</b>                    |                                   |
| 1. 衣服製作のための人体計測                | 9. 身頃（見返しを含む）の縫製                  |
| 2. 縫製用具、機器（職業用ミシン、ロックミシン）の取り扱い | 10. 袖の縫製                          |
| 3. 胴部原型の理論・パターンの選定             | 11. 衿付け・衿付けどまりの四つ止め・衿外回りの縫製       |
| 4. パターンの補正（着丈・袖丈）・デザイン展開       | 12. 袖付け                           |
| 5. 裁断                          | 13. 裾、袖口の奥まつり・千鳥がけ                |
| 6. 印付け                         | 14. ボタンホール・ボタンつけ                  |
| 7. 芯地貼り                        | 15. アパレルCAD のデモンストレーション・着装評価、作品提出 |
| 8. 縫い代の始末                      |                                   |

- 受講にあたって**
- ①**準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間**
- 授業内で行う手縫い（並縫い、一目落とし、奥まつり、千鳥がけ）を予習しておくこと（1 時間）。
  - パターンは、初日に行う人体計測の結果から体型に合ったサイズを選定するが、普段着用しているジャケットの号数やサイズについても確認しておくこと。ジャケットパターンの準備のため、manaba よりバスト寸法に関する事前のアンケート調査を行う場合がある。（0.5 時間）
  - 個人の進捗状況によっては、事後学習が必要となる場合がある。
- ②**使用教科書** プリント教材を授業時に配付
- ③**参考書** アパレル設計実習・アパレル生産実習（一社）日本衣料管理協会編 2019
- ④**準備するもの** 裁縫用具（手縫い針、糸切ばさみ、ピンクッション）は必ず持参すること。その他の裁縫用具（裁ちばさみ、方眼定規、文鎮、ルレット、チャコ等）は授業時間内に限り、貸し出し可能。パターン、生地、待ち針、芯地、しつけ糸、ミシン糸、工業用ボビン は配布する。
- ⑤**成績評価** 作品（70%）、授業態度、内容の理解度（30%）を総合して評価する。
- ⑥**追試験** 対象外科目
- 特記事項** 受講者数を 30 名までとする

## 衣造形実習Ⅰ（集中スクーリング）

担当教員： 武本 歩未

2 年次～ 選択 1 単位

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

ジャケット（1/2 縮尺サイズ）の製作を通して、衣服の構造、パターン、衣服素材、副資材、各種縫製用具・機器の取り扱い等を総合的に理解する。また、被服構成のための人体計測法についてデモンストレーションを通して学び、体型と衣服サイズの関係を理解する。さらに、職業用、工業用ミシンの操作、アパレル CAD システム等のデモンストレーションを通し、生産のための衣服生産の工程についても学習する。

【履修条件】 ミシン（家庭用可）・アイロンを持っていること。その他用具については、下記「準備するもの」を参照。

## 授業の方法

【動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP5

## 到達目標

1. 人体計測法の基礎を理解することができる。
2. 衣服の構造、縫製手順とその手法を理解することができる。

## 授業計画

オンデマンド型の授業とし、manaba より授業動画の URL を配信する。

- |                                   |                                                    |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------|
| 1. 衣服製作のための人体計測                   | 9. 身頃（見返しを含む）の縫製                                   |
| 2. 縫製用具、機器（職業用ミシン、ロックミシン）の取り扱いの理解 | 10. 袖の縫製                                           |
| 3. 胴部原型の理論・パターンの理解                | 11. 衿付け・衿付けどまりの四つ止め・衿外回りの縫製                        |
| 4. パターンの補正・デザイン展開の理解              | 12. 袖付け                                            |
| 5. 裁断                             | 13. 裾、袖口の奥まつり・千鳥がけ                                 |
| 6. 印付け                            | 14. ボタンホール（工業用ミシンの紹介）・ボタンつけ                        |
| 7. 芯地貼り                           | 15. アパレル CAD のデモンストレーション、作品提出（指定された方法で作品の写真データを提出） |
| 8. 縫い代の始末                         |                                                    |

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

- 授業内で行う手縫い（並縫い、一目落とし、奥まつり、千鳥がけ）を予習しておくこと（1 時間）。
- 普段着用しているジャケットの構造、縫製、始末等をよく観察しておくこと（0.5 時間）。

## ②使用教科書 プリント教材を授業時に配付

## ③参考書 アパレル設計実習・アパレル生産実習（一社）日本衣料管理協会編 2019

## ④準備するもの 縫製機器・用具（ミシン、アイロン、アイロンマット、アイロン用当て布、霧吹き、裁ちばさみ、方眼定規、ルレット、手縫い針、糸切ばさみ、ピンクッション）を用意すること。その他の用具、材料（プリント教材、パターン、生地、待ち針、芯地、しつけ糸、ミシン糸、チャコペーパー）は事前に自宅に送付する。ロックミシンを持っていると、尚良い。

## ⑤成績評価 作品（70%）、授業態度、内容の理解度（30%）を総合して評価する。

## ⑥追試験 対象外科目

特記事項 受講者数を 30 名までとする

## 衣造形実習Ⅱ（夏期スクーリング）

担当教員： 滝澤 愛

2 年次～ 選択 1 単位

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

先ず平面製図法による原型製図と立体的裁断法による原型作成のデモンストレーションを通して、体型の特徴の把握と製図の基礎、衣服の構成理論を学ぶ。更に、それら二つのパターン設計手法による衿、袖などのディテールの設計を理解した上で、様々なパターンの作成法・展開法・補正法などについて学習する。応用作品として、ワンピースを自らデザインし、起こしたデザイン画をもとに製図を行い、最終的にはトワル生地で組み立てた作品のプレゼンテーションを行う。この課題で、デザインの表現法とそのデザインに合ったパターン採取法を実践的に学ぶ。デザイン表現法として、ファッションドローイングの基礎を実習する。

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP5

## 到達目標

・衣服デザインの表現法、 ・パターンメイキング技術の基礎的理解

## 授業計画

- |                                                        |                                      |
|--------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 平面製図によるブラウス・スローパ（文化式原型）の作成                          | 8. 立体的裁断による衿・袖の設計とデザイン展開（デモンストレーション） |
| 2. 採寸・平面製図によるダーツの移動とデザイン展開                             | 9. 応用デザインの表現と平面製図                    |
| 3. ファッションドローイングの実習                                     | 10. 応用デザインの平面製図                      |
| 4. 平面製図によるブラウス・スローパ（文化式原型）の作成                          | 11. トワル（シーチング）布の裁断                   |
| 5. 平面製図による衿の製図とデザイン展開                                  | 12. 身頃の組立                            |
| 6. 平面製図による袖の製図の基礎とデザイン展開                               | 13. その他のパーツの組立                       |
| 7. タイトフィッティングによるダーツの移動とデザイン展開<br>胸部スローパの作成（デモンストレーション） | 14. デザイン修正・仕上げ・プレス                   |
|                                                        | 15. 作品のプレゼンテーション・評価                  |

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前にデザインの参考になる図書を読み、また、店頭で売られているワンピースのデザインや素材、シルエット、丈、色、柄等を調査しておくこと。授業後は毎回最低1時間の学習を要する。

②使用教科書 誌上・パターン塾 Vol.4 ワンピース編 文化出版局編 文化出版局MOOK シリーズ 2018 年  
他にプリントを配付予定

③参考書 参考資料・サイト等はマナバに随時アップする。

④持参するもの 裁縫用具一式（具体的には初日に説明する）、筆記用具、シャープペンシル（0.5 mmか0.3 mmのもの）、分度器、コンパス、あて布（アイロン用） 【トワル布、製図用紙はこちらが準備いたします】

⑤成績評価 授業時間内の理解度と課題作品（ファーストパターンのトワル組み）およびそのプレゼンテーションにより総合的に評価する。具体的には自身の描いたデザイン画のパターン設計がいかに忠実に出来ているか、トワルの完成度などを評価する。

⑥学生へのメッセージ 「被服製作Ⅱ」を修得済みの場合は履修できない。

基礎知識・技術があり、登録時に「衣造形実習Ⅰ」を修得済であること。

授業で取り組むワンピース作品のために、最近、市場に出回っているワンピースのデザインや素材などを、予め調査しておくことが求められる。【注意】本授業はパターン設計の基礎的技能修得を目的とした授業であり、本布による作品制作は行わない。

⑦追試験 対象外科目

特記事項 受講者数を20名までとする。登録時に「衣造形実習Ⅰ」を修得済であること。

## 衣造形実習Ⅱ（集中スクーリング）

担当教員： 新井 千栄子

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2025年度

## 概要

平面製図および立体的裁断による原型の製作を通して、体型の特徴を把握し、衣服の構成理論を学ぶ。さらに、平面製図および立体的裁断により衿、袖などのディテールの設計を理解した上で、衣服デザイン、衣服素材の効果と特性、パターン作成法、パターン補正法などについて学習する。応用作品としてワンピースをデザインし、そのデザイン画をもとに製図を行い、最終的にトワルで組み、デザインの表現法とパターン採取法を学ぶ。

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸D P4

## 到達目標

衣服デザインの表現法とパターンメイキングの技術の基礎的理解

## 授業計画

- |                                                      |                                                    |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 1. 採寸・平面製図によるダーツの移動とデザイン展開                           | 9-10 トワル（仮の生地）で縫製し、試作補正し、パターンに修正を加える応用デザインの表現と平面製図 |
| 2. ファッションドローイングの実習                                   |                                                    |
| 3. 平面製図によるブラウス・スローパ（文化式原型）の作成                        | 11. 裁断                                             |
| 4. 平面製図による衿の製図とデザイン展開                                | 12. 身頃の組立                                          |
| 5. 平面製図による袖の製図の基礎とデザイン展開                             | 13. その他のパーツの組み立て                                   |
| 6. タイトフィッティングによるダーツの移動とデザイン展開<br>スローパの作成（デモンストレーション） | 14. デザイン修正・仕上げ<br>15. 作品のプレゼンテーション・評価              |
| 7-8 自身が作製したいデザイン画を考えて、パターンに落とし込む                     |                                                    |

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前にデザインの参考になる図書を読み、また、店頭で売られているワンピースのデザインや素材、シルエット、丈、色、柄等を調査しておくこと。授業後は毎回最低1時間の学習を要する。

## ②使用教科書 誌上・パターン塾 Vol.4 ワンピース編 文化出版局編 文化出版局MOOK シリーズ 2018

## ③参考書 ①パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック 財団法人日本ファッション教育振興協会 1997

②アパレル設計実習アパレル生産実習 一般社団法人日本衣料管理協会 2019

## ④持参するもの 裁縫用具一式（具体的には初日に説明する）、シャープペンシル（0.5mmか0.3mmのもの）

## ⑤成績評価 授業時間内の理解度と課題作品およびそのプレゼンテーションにより評価する。

## ⑥学生へのメッセージ 「被服製作Ⅱ」を修得済みの場合は履修できない。

基礎知識・技術があり、「衣造形実習Ⅰ」または「被服製作Ⅰ」の修得者が望ましい。

授業で取り組むワンピース作品のために、最近、市場に出回っているワンピースのデザインや素材などを、予め調査しておくことが求められる。

## ⑦追試験 対象外科目

**特記事項** 受講者数を20名までとする。登録時に「衣造形実習Ⅰ」を修得済であること。

# 衣造形実習Ⅲ（夏期スクーリング）

担当教員：田中 淑江

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

日本の伝統衣服である和服の特徴を理解するために、「大裁ち女物単衣長着（浴衣）」の制作を通してその構成や採寸方法、染色技法、反物の柄合せ、和裁独自の縫製技法や知識の習得を目指す。更に、作品の制作後に浴衣のコーディネートや着装及び帯結びの自装を通して、和服に対する理解を深める授業である。

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸D P4

## 到達目標

1. 和服の特徴を理解する
2. 浴衣制作を通して和服の構成や採寸方法、染色技法を理解する
3. 日本独自の和裁の縫製技法を学び、その合理性を理解する
4. 採寸による計測値から各自の寸法を割り出し、体形に合った作品を仕上げる
5. 和服の着こなしや着装を習得する

## 授業計画

|                                                                                                                      |                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| <b>【第1日】</b><br>1. 和服についての概論：平面構成と和服、和裁の基本<br>2. 採寸：計測値から寸法の割り出し<br>3. 裁断：反物の柄合わせと裁断（身頃・袖・衿・衿）<br>4. 袖作成1：袖の印付け、袖底縫い | <b>【第4日】</b><br>11. 本衿と共衿：印付け、本衿に共衿を縫い付ける、衿付け、衿先の始末、本ぐけ                |
| <b>【第2日】</b><br>5. 袖作成2：袂の丸み、袖口三つ折りぐけ<br>6. 身頃印け<br>7. 背縫い、脇縫い、きせのかけ方                                                | <b>【第5日】</b><br>12. 裾：袷先の額縁、裾の三つ折りぐけ<br>13. 袖付け：袖仕付け、袖付け、きせ、袖の縫い代の始末   |
| <b>【第3日】</b><br>8. 脇の縫い縫い代の始末、袖付け準備（肩山縫い代）<br>9. 衿付け：衿印付け、衿下の三つ折りぐけ、衿付けときせ、衿返綴じ<br>10. 力布作成、縫い付け                     | <b>【第6日】</b><br>14. 仕上げ・作品提出：門止め、アイロン、和服のたたみ方<br>15. 着装：浴衣の着付け、半幅帯の結び方 |

## 受講にあたって

### ① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

- 1) テキストを事前に読んでほしい箇所  
P46～47 反物や生地選び 初めて浴衣を制作する場合、購入する反物が作業を左右します。よく読んで反物を購入してください  
P52～54 採寸 反物を購入するために各自の寸法を知ることが大事です  
P56～57 反物の総丈をはかる
- 2) 反物を準備 ※1 ネットで購入することはできるだけ避けてください。リサイクルの品で確認できるものはいいいのですが、確認できない場合は購入を避けてください。例年、褪色、長さが足りない、汚れ、損傷がある反物を購入される方がいらっしゃいます。※2 柄が小さいものをお勧めします。柄合わせ P96 は手間がかかりますが、必要な方にはサポートいたします。※3 ご自宅のそばで購入できればいいのですが、それが難しい場合、東京に少し早く来られる方は学校から近い、JR 鶯谷駅にある呉服卸「村田商店」には多数の教材価格の反物が販売されています。参考までに
- 3) 用意した反物の総丈（反物の長さ）を測る。テキスト P56～57 を参考にしてください。テキストの QR コードから動画を読み取り、作業内容を確認することができます。その際に反物に傷・染めむら・汚れがある場合にはしつけ糸で目印を付けておく。

4) 毎回の授業計画に到達するため、全体の作業手順を把握するために事前学習をし、また授業内で仕上がらなかった箇所は事後学習で完成させて授業に臨んでほしい。最低2時間程度。

② **使用教科書** 田中淑江『はじめての和裁の教科書 動画と図解でよくわかる！浴衣の仕立て方』講談社、2024年

③ **参考書** 指定なし

④ **持参するもの**

・初回の授業に女物浴衣反物一反を持参する（幅38～40cm前後×長さ12m前後）

※各自の寸法で裾が70cm以上の方は反物幅40cm以上がお勧めです。

素材：綿100%または麻を含む素材も可（布幅の両側が織耳であること。裁ち目だと縫い代の始末が異なるため。）

・裁縫道具一式（針山、糸きりはさみ、へら、待ち針、糸通しなど）

・縫い糸を用意する：1) ミシン糸（ポリエステル100%のミシン用シャペスパン60番1個）、2) 手縫い糸（木綿）※反物の色に近く、表に糸が出て目立たない色を選ぶ）

⑤ **成績評価** 1) 作品評価 70% 2) 授業中の態度 30%

⑥ **学生へのメッセージ**

・縫い針・和裁用待ち針・指ぬきは初日に配布する。

⑦ **追試験** 対象外科目

## ユニバーサルデザイン論（後期エニタイムスクーリング）

担当教員： 横井 孝志

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2025年度

## 概要

高齢者、障がい者を含む生活者の安全、安心で自立した生活を実現することを目的に、様々な人間の特性に配慮して種々の生活製品や生活環境、サービスなどを設計し、普及することがユニバーサルデザイン（アクセシブルデザインと呼ぶこともある）の目標である。本科目では、そのための基本知識として人間工学、人間中心設計、ユニバーサルデザインの基本的な考え方や概要、ユニバーサルデザインのための基礎としての高齢者・障がい者の心身の特性やその計測方法、さらに、ユニバーサルデザインを普及するための様々な取り組みについて学ぶ。

大学1年レベルの学力を持つ者を対象とした本講義では、教養としてのユニバーサルデザインに関する一般的、基本的知識を学び、日常生活の中でユニバーサルデザインを意識し、工夫して生活できることをねらいとする。種々の職業従事者が現場で使える即戦力的な知識やスキルを獲得すること、より高度で専門的な知識を獲得することについては本講義の目標とはしない。

## 授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業（manaba 利用）】

講義動画を視聴する。小テストやリポートは期限内の提出が必須である。

講義動画資料に基づいたオンデマンド型遠隔授業とする。必要に応じて理解度確認のためのレポート課題を出題する。

## 学位授与方針との関係

生芸DP3

## 到達目標

- ①ユニバーサルデザイン、人間工学、人間中心設計の基本的考え方を理解する。
- ②人間の形態、動作、感覚、認知等の心身の基本特性やこれらに関する高齢者・障がい者の特性、ならびにこれらの特性と設計との関連性について理解する。
- ③ユニバーサルデザインを普及する手段としての標準化活動やその他の主な社会の取り組みを理解する。

## 授業計画

以下の項目について動画および資料を manaba に掲載する。

- |                           |                               |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. ユニバーサルデザイン（UD）入門       | 9. UD 実現のための手法（姿勢動作の障害）       |
| 2. UD と 7 つの原則            | 10. UD 実現のための手法（認知機能の加齢変化）    |
| 3. UD 実現のための手法（不便さ調査）     | 11. UD 実現のための手法（高次脳機能障害と発達障害） |
| 4. UD 実現のための手法（代替様式）      | 12. UD に関する社会の取り組み（国際標準化）     |
| 5. UD 実現のための手法（増幅様式）      | 13. UD に関する社会の取り組み（国内の取り組み）   |
| 6. UD 実現のための手法（視覚とその障害）   | 14. UD と人間工学・人間中心設計           |
| 7. UD 実現のための手法（聴覚とその障害）   | 15. まとめ                       |
| 8. UD 実現のための手法（皮膚感覚と温熱感覚） |                               |

## 受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 予習は不要。毎回1時間程度の復習をしておくことが望ましい。
- ②使用教科書 特になし。講義動画資料に関連したPDF ファイルを manaba に掲載する。
- ③参考書 指定なし
- ④持参するもの 筆記用具およびノート
- ⑤成績評価 提出日を指定したレポート課題
- ⑥学生へのメッセージ ユニバーサルデザインに関する基本的、基礎的な事柄を学びたい学生の受講を歓迎する。
- ⑦追試験 対象外科目

## 色彩学（テキスト）

担当教員： 滝沢 真美

3年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2025年度

## 概要

光学、科学、生理学、心理学など幅広い分野にまたがる色彩の基礎を学ぶ。教科書2冊を使って、色とは何か、視覚のメカニズム、色名、マンセル表色系とHUE&TONEシステム、色彩心理、日本の色彩文化、カラーユニバーサルデザインの基礎知識を身につける。配色手法に関しては、テキスト科目である色彩学では対象とせず、色彩学演習で取り扱う。添削指導において、カラーコーディネーターやマーケティングの専門家としての知見を活かしたい。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①マンセル表色系の成り立ち、構造、特徴の理解
- ②HUE&TONEシステムのトーン概念、システムの特徴の理解
- ③視覚のメカニズムとカラーユニバーサルデザインの関係性の理解
- ④色名の分類方法とカラーイメージ表現の理解
- ⑤日本の色彩文化の理解

## 学習の進め方

「学習の手引」に沿って、2冊のテキストを熟読した後、レポート課題に着手すること。課題によっては、参考書を併用しながら、レポートを完成させること。科目修了試験に向けては、自分の選択したレポート課題以外からも出題するので、テキスト全体を深く理解しておくこと。色彩学演習との同時受講が望ましい。

## 内容

学習の手引の2. 学習のガイドに沿って、学習を進めていくこと。教科書1は『生活の色彩学 快適な暮らしを求めて』、教科書2は『住宅インテリアのための実践カラーテクニク改訂版』を指す。

1. 導入（教科書1第1章 生活と色）
2. 色が見える仕組みとカラーユニバーサルデザイン（1-第2章光と色、第3章色の生理+参考書カラーユニバーサルデザイン）
3. 色名（1-第5章 5.2色名による色の表示、付表）
4. 代表的なカラーオーダーシステム（1-第5章 5.3三属性による色の表示）
5. マンセル表色系（2-第1章2 マンセル表色系）
6. HUE&TONEシステム（2-第1章3 HUE&TONEシステム）
7. 色の心理的効果（1-第7章 7.1色の働き、7.2色の視覚効果、7.3色の感情効果）
8. カラーイメージ（2-第4章基本色とカラーイメージ+第6章1 イメージスケールの成り立ちと基本の3スケール）
9. 色と文化（1-第9章 9.2日本の色彩文化+参考書大江戸の色彩）
10. レポート作成 1～9をすべて通読、理解した上でレポート課題に着手すること。全員必須のレポート課題1は教科書2を主に使って作成すること。レポート課題2、4を選択した場合は、下記の参考書も必ず読んで使用すること。

## テキスト・参考書

- ①テキスト 1. 生活の色彩学 快適な暮らしを求めて 橋本令子・石原久代編著 滝沢真美他著 朝倉書店 2019  
2. 住宅インテリアのための実践カラーテクニク改訂版 滝沢真美著 トーソー出版 2023、学習の手引  
テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

## ②参考書・参考資料サイト

課題2： カラーユニバーサルデザイン カラーユニバーサルデザイン機構 ハート出版 2009

<https://www2.cudo.jp/wp/?p=2204>

課題4： 大江戸の色彩 城一夫著 青幻舎 2017

## 成績評価

- ①レポート 全体を100%として、課題の理解、「学習の手引」の活用、学生自身の学習成果、レポートの完成度をそれぞれ25%ずつ評価する。

②科目修了試験 全4問で、各25点満点で、内容の完成度によって配点し、60点以上を合格とする。

#### その他

---

レポートでビジュアルを使用する場合は、教科書を最優先とし、次に参考書とする。課題2のカラーユニバーサルデザインの改善前後の事例、課題3のパッケージ事例、課題4に関してはWEB画像の転載を認めるが、課題1はWEB画像の転載は不可とする。

## 色彩学演習（集中スクーリング）

担当教員： 滝沢 真美

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2025年度

## 概要

マンセル体系に基づいた HUE&TONE システムと、色彩心理に基づき開発されたイメージスケールという 2 つのシステムを学ぶ。基本的な 6 つの配色テクニックを習得し、配色センスアップのスキルを身につける。ファッション、インテリアなど、分野に特有の基本色を理解する。イメージコンセプトに対する配色表現について理解する。カラーユニバーサルデザインの見地から視認性や可読性に優れた配色を理解する。グローバル社会の中で日本の色についても考えを深める。カラーコーディネーターやマーケティングの専門家としての実践を活かした授業を行う。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

## 授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom 利用）】

## 学位授与方針との関係

生芸DP3 生芸DP4

## 到達目標

2 つのカラーシステムを理解し、実習を通して、生活に応用できる実践的な配色テクニックを習得し、目的に合った美しく快い配色ができるようになる。

## 授業計画

- |                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. イントロダクション 授業の進め方と学生に求めるもの | 9. イメージスケールの成り立ちと基礎スケールの紹介 |
| 2. 色を伝える方法 色名                | 10. 配色実習2 イメージ配色作成         |
| 3. マンセルカラーシステム               | 11. 配色実習3 イメージスケール作成実習     |
| 4. HUE&TONE システム             | 12. コンセプトイメージと主な色の特徴       |
| ※色の実習課題 清色と濁色（オンラインでの提出）     | 13. 色が見える仕組み               |
| (以上1日目)                      | 14. カラーユニバーサルデザイン          |
| 5. 嗜好色調査                     | 15. 色彩文化と日本の色              |
| 6. 生活の基本色                    | ※レポート&配色課題 日本の色（オンラインでの提出） |
| 7. 配色実習1 基本6テクニック 課題の作成      | (以上3日目)                    |
| 8. 配色センスアップの方法               |                            |
| ※配色実習課題 基本6テクニック（郵送での提出）     |                            |
| (以上2日目)                      |                            |

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

当日の課題が完成しなかった場合は、次の日に提出できるようにしておくこと。内容の理解が浅い部分を中心に復習すること。

②使用教科書 住宅インテリアのための実践カラーテクニック改訂版 滝沢真美著 トーソー出版 2024年（色彩学指定教科書）  
プリント教材併用③参考書 ①生活の色彩学 快適な暮らしを求めて 橋本令子・石原久代編著 朝倉書店 2019年（色彩学指定教科書）  
②カラーユニバーサルデザイン CUDO ハート出版 2009年（色彩学参考書）  
③配色イメージワーク 小林重順著 日本カラーデザイン研究所編 講談社 1995年

## ④準備するもの はさみ、スティックタイプののり、レターパックライト（2日目配色実習送付用）

〔使用教材〕新デザイン・トーン・130シリーズ（スケール、配色用色帯ロング台紙付き）（レターパックにて事前に郵送）プリント教材（manabaにて事前にデータ配信→各自プリントアウト）

## ⑤成績評価

1日目実習課題30点、2日目配色課題40点、3日目レポート課題30点の合計100点で総合評価する。

## ⑥学生へのメッセージ

実習には色紙やワークシート等の教材を使用する。実習を中心に授業を進め、参加者同士の意見交換を行う。色彩学演習では色彩学のレポート課題の理解を深めるための実習を含んでおり、教科書も同じものを使うため、色彩学の履修登録を済ませておくことが望ましい。色彩学単位取得済の者は、復習的な内容が多くなることを理解した上で履修を決めること。

⑦追試験

対象外科目

**特記事項** 登録時に「色彩学」を修得済又は同一年度に登録済であること

## 衣環境学 (テキスト)

担当教員：西原 直枝

2 年次～ 選択必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

テキスト科目／2025 年度

### 概要

生活の質を高める上で、衣服の果たす役割は大きい。「衣環境学」では、健康・安全・快適に生活を送る上で衣服がどのような役割や機能を持つのかについて、人体－衣服－環境の視点から検討する。衣服の着心地を科学的にとらえる力を身につける。

### 授業の方法

【印刷教材等】

### 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP5

### 到達目標

- ①衣服を着る意味や役割を理解する。
- ②環境に適合する衣服について理解する。
- ③着用者のライフステージや特性、着用場面などのさまざまなニーズに対して、健康・安全・快適の観点から、生活の質の向上に役立つ衣服を合理的に考えることができる。

### 学習の進め方

1. テキストを以下の[内容]に沿って読み、学習する。
2. リポート課題を確認し、テキストの関係する箇所を重点的に学習するとともに、参考書などを活用して理解を深める。
3. リポート合格の場合は科目修了試験に向けて、テキストを中心に学習する。不合格の場合は、再度、リポートを作成する。
4. 科目修了試験の学習は、ポイントを押さえて簡潔に説明できるようにする。なお、テキストの第2章「4. 睡眠の生理」「5. 人体の構造と運動機構」、および第3章「(5) 温熱指標」については、科目修了試験範囲からは除く。

### 内容

- |                              |                                |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 衣服を着る意味                   | 9. 動作機能と着衣                     |
| 2. 着衣関連の人体生理①体温調節・体熱産生と体熱放散  | 10. 着衣の汚染と安全性①清潔保持の機能          |
| 3. 着衣関連の人体生理②皮膚温・皮膚の生理と機能・発汗 | 11. 着衣の汚染と安全性②身体を安全に保護する機能     |
| 4. 着衣関連の人体生理③人体の構造と運動機能      | 12. 被服材料の衛生学的性能                |
| 5. 温熱環境条件                    | 13. 着用目的にあった衣服とその機能①防寒服・防暑服    |
| 6. 着衣の気候調節機能①被服気候            | 14. 着用目的にあった衣服とその機能②ライフステージと衣服 |
| 7. 着衣の気候調節機能②着衣の保温効果と測定・評価方法 | 15. 着用目的にあった衣服ととその機能③障がいと衣服    |
| 8. 着衣の気候調節機能③着衣重量と保温効果       |                                |

### テキスト・参考書

- ① テキスト 被服衛生学 (衣環境学テキスト) 大野静枝・多屋淑子 日本女子大学 1994

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

- ② 参考書 『リポート課題集』参照

### 成績評価

- ① リポート 課題の理解度 30%、学習成果 40%、リポートの完成度 (引用の仕方の適切度も含む) 30%
- ② 科目修了試験  
知識 40%、理解 30%、論理性 30%とし、評価する。1 問でも無回答又は 0 点の場合、不合格となる場合がある。

### その他

リポート作成にあたっては、テキストや参考文献などの書籍から得た情報をそのまま抜き書きするのではなく、自身で理解・整理し、課題内容に沿って文章化しまとめてください。

色彩環境論（夏期スクーリング）

担当教員： 瀬川 かおり

1 年次～ 選択 2 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

色彩を生活の中で活用していくための基礎と応用について学ぶ。色の基礎として、色とは何か、色の呼び方、色の表し方、色の性質、などについて学ぶ。さらに、色を実際に活用する際に考慮すべき点として、色の視覚効果（対比、同化など）や色の心理効果（寒暖、進出後退、膨張収縮など）、さらに色の配色技法や色彩感情効果（印象、象徴など）を学び、生活環境や製品における色使いについて考える。

実環境における様々な例をあげながら、その特徴と背景となる色の原理を学ぶ。色彩がもたらす社会的問題（騒色、不快度）などについても考察する。

授業の方法

【面接】

各授業は面接授業で行います。授業後に理解度確認や疑問点等の小レポートを課します。

学位授与方針との関係

生芸DP3

到達目標

- ①色の基本的知識を習得する。
- ②色の特性と使い方の特徴を学ぶ。
- ③環境における色彩活用の効果や役割を理解する。

授業計画

|                                  |                                   |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 色の活用例の概要                      | 9. 色の心理効果、色の感情効果                  |
| 2. 色とは何か (第1日)                   | 10. 配色と調和、色彩調和論 (第4日)             |
| 3. 色名                            | 11. 色の見えの個人差（高齢者の色覚、ユニバーサルデザインなど） |
| 4. 色の体系と表色系(1)：3属性とマンセル表色系       | 12. 環境と色彩（安全色、標識、騒色、快適性など） (第5日)  |
| 5. 色の体系と表色系(2)：反対色とNCS表色系        | 13. 色の性質（3色性、反対色性）                |
| 6. 色の体系と表色系(3)：トーンとPCCS表色系 (第2日) | 14. 混色（加法混色、減法混色）                 |
| 7. 照明による色の見え                     | 15. まとめ (第6日)                     |
| 8. 色の視覚効果（残像、対比、同化など） (第3日)      |                                   |

受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 受講内容の予習・復習を最低1時間
- ②使用教科書 指定なし（プリントを配付する）
- ③参考書 カラーコーディネーター入門 色彩 改訂増補版, 大井義雄・川崎秀昭 日本色彩研究所監修, 日本色研事業, 2007
- ④持参するもの 特になし
- ⑤成績評価 筆記試験(80%)及び授業後の小レポート(20%)
- ⑥学生へのメッセージ 本科目修得後、「色彩学演習」の受講が望ましい。
- ⑦追試験 対象科目

## 西洋服飾文化史（テキスト）

担当教員：内村 理奈

2年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2025 年度

## 概要

私たちを惹きつけてやまないファッションは、長い歴史の蓄積の上に成り立っている。現代活躍しているデザイナーたちも、歴史の中の服飾デザインに触発されたり、批評を加えたりしながら創作活動をしている。「西洋服飾文化史」では西洋の歴史上にあらわれた服飾事象を、多くの図像資料を参照しながら概観し、人間が紡いできた服飾文化の諸相への理解を深める。時代ごとの服飾文化の特色を理解するためには、図像資料の解釈が大切なのはもちろんだが、社会的・文化的背景についての洞察を踏まえた上で、服飾を捉えるという姿勢も大事にしたい

## 授業の方法

【印刷教材等】テキストをよく読み、課題に取り組む。

## 学位授与方針との関係

生芸 DP 1 生芸 DP2

## 到達目標

西洋服飾文化の歴史的変遷を理解する。  
それぞれの時代の歴史的背景や文化的背景との関連から服飾表現の特色を理解する。  
服飾用語を理解し知識として身につける。

## 学習の進め方

- まず全体を一読し、服飾の変遷を理解した後に、各時代の服飾の特徴をとらえ、代表的な服飾表現についてまとめていく。特に服飾用語については、きちんと区別をして、具体的な図像資料とともにしっかり理解するようにする。  
①古代、②中世、③16世紀、④17世紀、⑤18世紀、⑥19世紀 ⑦20世紀
- レポート課題を確認し、テーマに沿って、テキストの学習を行う。
- レポート課題に適した参考文献を読解し、理解を深める。
- レポートを作成し、指定の用紙で提出する。レポート作成の際には、文献からの引用に注を付すこと。
- レポート合格の場合には、初めに作成したまとめを中心として、それぞれの時代の服飾を理解し、科目修了試験に向けて服飾用語やキーワードを確認し、各時代に特徴的な服飾をまとめておく。レポートが不合格の場合には、指摘された部分についての学習を行い、再度提出する。
- 科目修了試験不合格の場合には、あらためて全体的な学習をおこなう。

## 内容

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 古代 メソポタミア、エジプト | 9. 18世紀前期  |
| 2. 古代 ギリシア、ローマ    | 10. 18世紀後期 |
| 3. 中世前期           | 11. 19世紀前期 |
| 4. 中世後期           | 12. 19世紀後期 |
| 5. 16世紀前期         | 13. 20世紀前期 |
| 6. 16世紀後期         | 14. 20世紀後期 |
| 7. 17世紀前期         | 15. まとめ    |
| 8. 17世紀後期         |            |

- ① テキスト 増補新装 カラー版 世界服飾史 深井晃子監修 美術出版社 2010、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ② 参考書 『レポート課題集』参照のこと。

## 成績評価

---

- ① **レポート** 課題の目的の理解 30%、学習成果 40%、レポートの完成度 30%
- ② **科目修了試験** 服飾用語の知識 50%、服飾史の全体的な理解 40%、論理性 10%

## その他

---

なじみのない服飾用語が出てきますが、それぞれの時代の服飾をまとめて、その特色を確実に説明できるように理解してください。そのためには、ふだんから参考書や、画集や美術全集などを手に取って、図像資料をなるべく多く見ることも必要です。テキストにもオールカラーの図像資料がついています。その後、時代の特色をとらえて、論理的に説明できるようにすることが大切です。

# 生活文化論（テキスト）

担当教員： 米今 由希子

1 年次～ 選択 2 単位

テキスト科目／2025 年度

## 概要

人間の日常生活において、衣食住の占める位置は大きい。衣食住は、単に生きるための手段ではなく、さまざまな文化の担い手ともなっている。このような立場から、民族および世界と日本の特徴的な生活文化をとりあげ、その民族や時代の住居、衣服、食物を横断的に捉えて人々の生活と文化について理解する。また、生活文化と、気候風土などの地理的特徴や民族、宗教などの歴史的背景との関わりを考察し理解を深める。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①民族による生活文化の特徴とその背景を理解する。
- ②日本の生活文化について、変遷と時代ごとの特徴およびその背景を理解する。
- ③欧米の生活文化について、変遷と時代ごとの特徴およびその背景を理解する。

## 学習の進め方

テキストを一読し、章ごとにそれぞれの時代の生活文化の特徴と生活の変遷をおおよそ理解した後、各時代の生活文化を参考文献と学習の手引も参照しながらポイントをまとめる。レポート課題を確認し、課題に適した参考文献によりさらに学習を深める。課題1はテキスト2章を中心に検討し、課題2はテキスト5、7、8、11章、課題3はテキスト3、4、6、9、10、12、13、14、15章から興味のある時代を一つ取り上げ検討する。レポート合格後は科目修了試験に向けてそれぞれの項をまんべんなく深く理解し、知識を整理しておくこと。

## 内容

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 生活文化と民族           | 9. 明治の生活文化2          |
| 2. 貴族の生活1（平安時代）      | 10. 新しい造形（ヨーロッパ20世紀） |
| 3. 武家の生活（室町・安土桃山時代）  | 11. 大正ロマンの世界         |
| 4. 貴族の生活2（ヨーロッパ18世紀） | 12. 昭和のモダニズム         |
| 5. 市民の生活1（江戸時代）      | 13. 流行は世界に（20世紀後半）   |
| 6. 市民の生活2（ヨーロッパ19世紀） | 14. 21世紀の生活文化        |
| 7. 市民の生活3（アメリカ19世紀）  | 15. まとめ              |
| 8. 明治の生活文化1          |                      |

## テキスト・参考書

①テキスト 生活文化論 朝倉書店 2002、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 『レポート課題集』参照

## 成績評価

- ①レポート 課題の目的の理解 30%、学習成果 40%、レポートの完成度 30%
- ②科目修了試験 知識 50%、理解 30%、論理性 20%

## その他

西洋と日本の生活文化が出てきますが、いずれも現代につながる文化です。どのような場面でこれらの文化を目にすることができるのか考えてみてください。また、関連の展覧会等を積極的に鑑賞してください。

## 服飾美学（テキスト）

担当教員：内村 理奈

2 年次～ 選択 2 単位

テキスト科目／2025 年度

## 概要

服飾美学とは、服飾に託された人間の美意識や生活感情を読み解き、服飾のもつ社会的・文化的意味や機能を考察する学問である。服飾は、私たちが思っている以上に、人の感情を揺さぶり、高揚させ、生き方をも変え、そして、時代を突き動かす力にさえる。服飾には、その時代の社会や文化の有り様が反映されている。「服飾美学」では、歴史上の西洋服飾を中心とする事例を取り上げ、文献資料や図像資料をもとに、服飾のもつ多彩な意味や表象を、同時代の社会・文化との関わりから読み解く。

## 授業の方法

【印刷教材等】テキストをよく読み、課題に取り組む。

## 学位授与方針との関係

生芸 DP 1 生芸 DP 2

## 到達目標

様々な文献資料（主に文学作品）や図像資料に見られる服飾描写や服飾表現から、そこに託された人間の感情や美意識を読み解き、服飾のもつ社会的・文化的意味や機能について考察できること。また服飾を通して、同時代の社会や文化の意味を考察できること。

## 学習の進め方

1. まず全体を一読し理解した後に、各部の内容についてまとめていく。①第1部 感覚、②第2部 ジェンダー、③第3部 エチケット、④第4部 フィクション
2. リポート課題を確認し、テーマに沿って、テキストの学習を行う。
3. リポート課題に適した参考文献を読解し、理解を深める。
4. リポートを作成し、指定の用紙で提出する。リポート作成の際には、文献からの引用に注を付すこと。
5. リポート合格の場合には、初めに作成したまとめを中心として、自分なりの視点で服飾表現について考えられるようにしておく。また、服飾表現の意味を考察する際の、文献資料と図像資料の扱い方について、理解を深めておく。科目修了試験に向けて準備を進め、リポートが不合格の場合には、指摘された部分の学習を行い、再度提出する。
6. 科目修了試験不合格の場合には、改めて全体的な学習を行う。

## 内容

- |                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. インTRODクシヨン           | 9. 服飾とエチケット①服装規範              |
| 2. 服飾と清潔感①白い下着          | 10. 服飾とエチケット②恋愛感情を表す          |
| 3. 服飾と清潔感②肌の白さのアピール     | 11. 服飾とエチケット③エチケットと異国趣味       |
| 4. 服飾と清潔感③漂白技法          | 12. 服飾とエチケット④エチケット違反のファッション   |
| 5. 服飾と清潔感④清潔のヒエラルキー     | 13. 服飾と文学①ツワイク『マリー・アントワネット』より |
| 6. 服飾とふるまい①帽子に見られるジェンダー | 14. 服飾と文学②ミッチェル『風と共に去りぬ』より    |
| 7. 服飾とふるまい②脱帽、帽子の喜劇     | 15. まとめ                       |
| 8. 服飾とふるまい③帽子の挨拶        |                               |

## テキスト・参考書

①テキスト ヨーロッパ服飾物語 内村理奈 北樹出版 2016

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 『リポート課題集』参照のこと。

## 成績評価

①リポート 課題の目的的理解 30%、学習成果 40%、リポートの完成度 30%

②科目修了試験 知識 50%、理解 40%、論理性 10%

## その他

---

「西洋服飾文化史」修得後の履修が望ましいです。参考文献としてあげている文献をできるだけ読んでください。また、多くの図像資料や服飾遺品に触れるために、美術館や博物館にも足を運んで見学しましょう。

# 生活デザイン論（テキスト）

担当教員： 米今 由希子

1 年次～ 選択必修 2 単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

デザインとは何か、を考えるにあたって、デザインの基礎として、形の原理、色彩の原理を学ぶ。次いで、ヨーロッパ 19 世紀後半に成立したデザイン運動から、20 世紀後半の各国のデザイン運動を取り上げ、生活のなかで用いられているさまざまなデザインについて、理論的に考察する。今日のデザインの原点と言えるデザイン運動は、個々の生活造形の製作から始まって、建築デザインを中心に広まり、インダストリアルデザインという大量生産へと進んでいった。このようなデザインの変遷を、生活様式の変化として捉えていく。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①デザインという概念が生まれてきた歴史をたどり、その意味を理解する。
- ②生活の場において、各自がデザインについて考え、実践するための基本的な態度を身につける。

## 学習の進め方

テキストを一読し、章ごとにそれぞれの内容を理解した後、練習問題を参照しながら理解を深め、ポイントをまとめる。レポート課題を確認し、課題に適した参考文献によりさらに学習する。課題 1 はテキスト 3 章、課題 2 はテキスト 5 章、を中心に検討する。レポート合格後は科目修了試験に向けて 1、2、4 章も含めそれぞれの項目をまんべんなく深く理解し、知識を整理しておく。

## 内容

- |                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. デザインとは                   | 9. 近代デザインの成立⑤バウハウス       |
| 2. デザインの分類、デザインの構造          | 10. 近代デザインの成立⑥アール・デコ     |
| 3. デザインの基礎①形の原理             | 11. 近代デザインの成立⑦ル・コルビジェの運動 |
| 4. デザインの基礎②色彩の原理            | 12. 近代デザインの成立⑧日本の近代デザイン  |
| 5. 近代デザインの成立①アーツ・アンド・クラフツ運動 | 13. 近代デザイン運動と服飾          |
| 6. 近代デザインの成立②アール・ヌーヴォー      | 14. 生活の中のデザイン            |
| 7. 近代デザインの成立③セセッション         | 15. まとめ                  |
| 8. 近代デザインの成立④ドイツ工作連盟と近代建築   |                          |

## テキスト・参考書

①テキスト 生活デザイン論 日本女子大学 2012

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 『レポート課題集』参照のこと。

## 成績評価

①レポート 課題の目的の理解 30%、学習成果 40%、レポートの完成度 30%

②科目修了試験 知識 50%、理解 30%、論理性 20%

## その他

テキスト全体を学びますが、練習問題を参照して、重点的に学習してください。

機会があれば積極的にデザイン関係の展覧会等を見学してください。

# 造形芸術論（夏期スクーリング）

担当教員： 吉良 智子

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2025年度

## 概要

日本の美術家の名前を思い浮かべるときそこに「女性」はいるでしょうか。もし名前や作品を挙げることができなかったとしたら、どのような理由があるのでしょうか。この授業では日本の女性美術家の歴史や一部の著名な人物を紹介するのではなく、これまでに語られてきた「美術史」を押さえながら近現代日本の「女性の作り手」を取り巻く問題や社会的状況を、ジェンダーの視点を用いつつ、制度、教育、パートナーシップ、戦争などの切り口から分析していきます。

## 授業の方法

【動画視聴型（manaba 利用）】

音声付き動画スライド教材で学習後、課題提出による理解度確認を行ない、講師からの全体に向けたフィードバックを読んでさらに学びを深めます。

## 学位授与方針との関係

生芸DP2

## 到達目標

女性の作り手による作品や表現された女性像を、従来の見方にとらわれずに多角的な視点から分析・考察できるようになる。

## 授業計画

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| 1. オリエンテーション      | 9. アヴァンギャルド（前衛）と女性           |
| 2. 「美術」の成立と女性の作り手 | 10. 戦争と女性の作り手1（戦争美術における「銃後」） |
| 3. 前近代における女性の作り手  | 11. 戦争と女性の作り手2（戦争と女性美術家）     |
| 4. 美術教育と女性        | 12. 戦後の女性アーティストの作品と評価        |
| 5. 女性と手芸          | 13. 現代の女性アーティストの作品と評価        |
| 6. 教育者としての女性      | 14. 現代における女性の作り手             |
| 7. 女性の作り手とネットワーク  | 15. まとめ                      |
| 8. 女性の作り手とモチーフ    |                              |

## 受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 受講中の復習として理解が深められなかった点を中心に音声動画スライドを見直すこと（1時間程度）。

②使用教科書 特になし

③参考書 ①戦争と女性画家 吉良智子 ブリュッケ 2013  
②女性画家たちの戦争 吉良智子 平凡社新書 2015（現在電子書籍版のみ販売されています。）  
その他授業中にも紹介します。

④持参するもの 特になし

⑤成績評価 レポート70%（manabaより提出）、授業内で実施する小レポート30%（manabaより提出）

⑥学生へのメッセージ 展覧会などに興味のある学生が望ましい。

⑦追試験 対象外科目

## アパレルのための品質管理（テキスト）

担当教員：大塚 美香

3 年次～ 選択必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

繊維製品には様々な品質が要求される。特に、布や糸など素材の強度、染色堅牢性など消費性能に関する品質は、企画・製造での品質管理が必要となる。この科目では、繊維製品に要求される品質とその品質管理の基本、衣料品の企画や設計の仕方、品質評価に必要な試験項目と試験方法を学ぶ。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①衣料品がどのように企画設計され、製造されているか説明できる。
- ②繊維製品に必要とされる品質とはなにかを説明でき、併せて品質を評価する試験方法と評価法を説明できる。
- ③品質管理の概要を説明できる。

## 学習の進め方

テキストの「2. 衣料品の企画・設計」「3. 衣料品の製造」を読んでどのように衣料品が製造されているか理解したのち、衣料品にはどのような品質が必要とされているのか学ぶこと。それぞれの品質はどのような試験で評価されているのかも重要である。最後に「6. 品質管理」を学び全体の理解を深めること。

## 内容

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 衣料品の企画・設計              | 9. 染色堅牢度試験         |
| 2. 衣料品の製造                 | 10. 加工剤の分析試験       |
| 3. 衣料品の品質要求項目             | 11. 品質管理とは         |
| 4. 人体の生理機能                | 12. 品質保証とは         |
| 5. 繊維に関する試験法（形態、鑑別、混用率試験） | 13. 品質管理のPDCA サイクル |
| 6. 糸の試験法                  | 14. 統計的品質管理の基本     |
| 7. 布の試験法                  | 15. 品質管理の手法        |
| 8. 製品の試験法                 |                    |

## テキスト・参考書

- ①テキスト 新改訂版 繊維製品の基礎知識 第1部繊維に関する一般知識 日本衣料管理協会(2023)  
新改訂版 繊維製品の基礎知識 第2部家庭用繊維製品の製造と品質 日本衣料管理協会(2023)  
(新訂4版 繊維製品の基礎知識 の使用も可)  
学習の手引
- ②参考書 ①JIS ハンドブック 31 繊維 日本規格協会(随時改訂されるので最新のものをみること)  
②衣料品の見分け方ー縫製と正しい表示ガイドブッケー 日本織物中央卸商業組合連合会(2011)  
③アパレル消費科学 アパレル産業振興センター(1987)  
④繊維製品の品質問題究明ガイドー消費者苦情の原因究明・再発防止策ー 日本衣料管理協会(2019)

## 成績評価

## ①レポート

テキストや参考書をもとにレポートの課題に沿った十分な内容が記述されている80%、自身の体験事例や考察20%で評価。

## ②科目修了試験

主に記述式で出題、評価する。特に、繊維製品の消費性能や素材に関する用語については理解をしておくこと。

## その他

繊維製品品質管理士には必要な科目である。自分の衣服の品質を意識しながら学ぶこと。

## アパレル品質管理ケーススタディ（基礎）（集中スクーリング）

担当教員：大塚 美香

3年次～ 選択2単位 【繊維製品品質管理士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

繊維製品の様々な品質苦情に関する事例について原因を考え、原因究明のための試験方法について適切なものを選び原因を究明できるよう学習する。また、再発防止のための方法について提案できるようになることを目的とする。

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP5

## 到達目標

- ① 品質苦情を解決するために必要な知識を総合的に知る
- ② 品質苦情を処理する手順を学ぶ
- ③ 苦情の原因を解析するための試験方法について学ぶ
- ④ それぞれの苦情について、予防方法を検討できるようになる

## 授業計画

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 繊維製品の品質管理             | 9. 物理的性能評価（実習）           |
| 2. 要求品質性能と評価方法           | 10. 品質苦情の事例の検討 色の変化      |
| 3. 品質規格と表示について           | 11. 染色堅ろう度評価（実習）         |
| 4. 消費者苦情の実態と発生原因         | 12. 品質苦情の事例の検討 加工の機能変化   |
| 5. 品質苦情を処理する手順／品質苦情と関連法規 | 13. 品質苦情の事例の検討 安全性       |
| 6. 品質苦情の事例の検討 損傷         | 14. 事故品を用いた事例検討（実習）      |
| 7. 品質苦情の事例の検討 外観・携帯変化    | 15. 品質管理に関するまとめ          |
| 8. 品質苦情の事例の検討 風合い・光沢変化   | ※実習の内容、順番については変更することがある。 |

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書を読んでおく。30分から1時間程度。

## 事前課題

事故品、着用によって劣化した服、扱いが難しい服などが家にあれば持参もしくは写真にとってくる。事例検討で検討をおこなう。

## ②使用教科書

繊維製品の品質問題究明ガイド-消費者苦情の原因究明・再発防止策- 日本衣料管理協会(2019)

## ③参考書

- ①新訂4版 繊維製品の基礎知識シリーズ 第1分冊 繊維に関する一般知識 日本衣料管理協会(2023)  
新訂4版 繊維製品の基礎知識シリーズ 第2分冊 家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識 日本衣料管理協会(2023)  
②ファッションのための繊維素材辞典 ファッション教育社(1995)

## ④持参（準備）するもの

教科書、筆記用具、エプロンもしくは白衣（実習時）

## ⑤成績評価

実験および課題リポート 80% 小テスト 20%

## ⑥学生へのメッセージ

繊維製品品質管理士になるために必要な知識である。予習をしてしっかり身につけてほしい。尚、指定の教科書の事故例を解説するので、教科書は必ず持参すること。

⑦追試験

対象科目

**特記事項** 登録時に「衣材科学」を修得済又は登録済であること

アパレル品質管理ケーススタディ（応用）（前期土曜スクーリング）

担当教員：工藤 尚一

3年次～ 選択2単位 【繊維製品品質管理士】

スクーリング科目／2025 年度

概要

アパレルの物理的な性能に関する損傷、形態変化、外観変化と色の性能、機能性、安全性、表示などについて品質苦情事例をあげて、苦情の原因をグループワークにより究明する。さらに、原因究明に必要な各種試験を実験・実習により学ぶ。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP5

到達目標

- ①衣料品の苦情の基本的処理手順を知る。
- ②物理的性能や色・安全性に関する苦情を知る。
- ③苦情の原因を解析するための試験方法を知る。

授業計画

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 品質と品質管理について        | 9. 物理的苦情に関する事例研究      |
| 2. 品質苦情の実態と要因・苦情処理の手順 | 10. 加工の機能、安全性の苦情事例と解析 |
| 3. 苦情処理に必要な繊維と染色の基礎知識 | 11. 染色堅牢性の苦情事例と解析     |
| 4. 損傷の苦情事例と解析         | 12. 染色堅牢性評価試験の実習      |
| 5. 外観・形態変化の苦情事例と解析    | 13. 染色堅牢性の苦情に関する事例研究  |
| 6. 風合い・光沢の苦情事例と解析     | 14. 衣類の表示と関連法規        |
| 7. 機能の苦情事例と解析         | 15. 品質苦情のまとめ          |
| 8. 物理的性能評価試験の実習       |                       |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 教科書を事前に読んで、学習する内容を把握する。1時間程度。

事前課題

着用している衣類の素材や組成表示、取扱い表示などを確認する。取扱いなどでの失敗経験がある者は内容をメモしたり、実物を持参したりして、ワークショップに活用する。

②使用教科書 『繊維製品の品質問題究明ガイドー消費者苦情の原因究明・再発防止策ー』

編者：日本衣料管理協会 発行者：日本衣料管理協会 発行年：2022年3月 第2版 ※旧版でも可能

③参考書 『繊維製品の基礎知識』 編者：日本衣料管理協会 発行者：日本衣料管理協会 発行年：2023年11月

※旧版『繊維製品の基礎知識シリーズ第1分冊 繊維に関する一般知識、第2分冊 家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識』の新訂3版又は4版でも可能

④持参するもの 教科書、筆記用具

⑤成績評価 筆記試験は実施せず。グループワークでの発言及び発表内容（50%）、事例検討のレポート内容（50%）を総合的に評価する。

⑥学生へのメッセージ 教科書を予習すること。専門用語の復習を必ず行うこと。繊維製品品質管理士には必要な科目である。

⑦追試験 対象外科目

特記事項 登録時に「衣材科学」を修得済又は登録済であること

## 流通・消費系特別講義（夏期スクーリング）

担当教員：柿島 由雄

## コロナ後のファッションとクラフトの魅力について考える

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

多くの人々は、長く続いた悲慘なコロナ時代を経て、今改めて幸せと何か、豊かな人生とは何かと、新しい価値観を模索している。地球環境を守るためのサステナブル（持続可能な）社会の実現を目指しながら、自分らしさをファッションやクラフト（工芸品）をとおして表現するトレンドがある。人の心を豊かにしてくれる美とは、アートとは何か、おしゃれとは何か、自分らしさとは何かを、ファッションとクラフトの視点から考えてみる。ワークショップにより、創造的思考力を高め、美の世界を見る眼を養い、美意識や感性を高める。予測不能な時代（VUCA）に求められる能力は、幅広い視野とコミュニケーション力と美的感覚を磨き続ける情熱である。

本講義は実務家3名が担当し、①ファッションの多様性と創造的思考法 ②世界の民族衣装と伝統工芸、③おしゃれとファッションの今後と題し講義とワークショップを行う。

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸 DP 3

## 到達目標

- ファッションの多様性と創造的思考法を理解する
- 世界の民族衣装と伝統工芸について理解する
- おしゃれとファッションの歴史と今後について理解する

## 授業計画

- 1 日目：ファッションの多様性、ファッションの力とは？
- 2 日目：さまざまな創造的思考法とサステナブルファッション
  1. ファッションとは何か、多様性を考える
  2. サステナブルファッションとは何か
  3. ファッション分野に求められるクリエイティビティ
  4. さまざまな創造的思考法を学ぶ
  5. 思考法にチャレンジ
- 3 日目：世界の民族衣装（ゲストスピーカーあり）
- 4 日目：伝統工芸について（ゲストスピーカーあり）
- 6 . 伝統工芸品とは何か
- 7 . 「なぜ、そこで作られるのか？」を考える
- 8 . 日本の伝統工芸を学ぶ。 漆器、和紙、銅器 など
- 9 . 世界の民族衣装、イヌイトとスザニ刺繍（ウズベキスタン）
- 10 . 現代のライフスタイルに、いかにクラフトを取り入れるか
- 5 日目：おしゃれで輝く、ファッションでワクワク、私らしいコーディネートとは？（ゲストスピーカーあり）
- 6 日目：ファッションの歴史と今後について（ゲストスピーカーあり）
11. ファッションとアイデンティティ
12. ファッションとエンパワーメント
13. ファッションを楽しむ
14. ファッションの歴史と未来
15. 6 日間の講義のまとめ（ファッションとクラフトの魅力）

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業で取り扱うテーマの現状やニュースに関心をもち、その背景を調べておくこと（時間は定めない）

②使用教科書

なし（当日、レジュメ及び参考資料を配布する）

③参考書 なし

④持参するもの なし

⑤成績評価 2日目、4日目と6日目に実施するミニレポート（合計3回）の結果を総合して評価する（100%）。

⑥学生へのメッセージ

ファッションとクラフトの魅力とパワーを学び、より豊かなライフスタイルを楽しみましょう。

⑦追試験 対象外科目

## マーケティング論（テキスト）

担当教員：依田 素味

2年次～ 選択2単位 【繊維製品品質管理士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

マーケティングとは顧客が何を求めているのか、売れる商品・サービスの仕組みのことです。この科目では繊維ファッション産業を対象として、マーケティングを考える際の基礎となる、アパレル産業の現状と消費場面で発生する問題を中心に取りあげます。生産や流通の仕組み、衣料品が消費される際に必要となる表示や取扱い方法、衣料品の苦情、そして環境問題などを学ぶことにより、マーケティングの全体像を理解します。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP2

## 到達目標

- ①アパレル産業の現状と生産・流通・消費の流れを理解する。
- ②アパレル産業の情報化を理解する。
- ③消費場面で発生する苦情や環境問題を理解する。

## 学習の進め方

テキスト全体を読み、消費者行動や消費者調査、消費者問題と政策についての概要を把握した後に、テキスト「3. 経済の変化と衣料の流通・消費」「4. 衣料の消費と消費者苦情・環境問題」から、繊維ファッション産業の仕組みや課題を考察し、そして具体的に実際の消費場面で発生する問題とは何かを捉えます。

## 内容

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 消費者行動について           | 9. 繊維製品の流通と取引形態             |
| 2. 消費者調査について           | 10. 繊維ファッション産業の情報化と取引適正化    |
| 3. 消費者問題について           | 11. 衣料品の使用と性能変化             |
| 4. 日本の消費者政策と法規         | 12. 衣料品の取扱い                 |
| 5. 繊維産業の位置付けと変遷        | 13. 繊維製品等の品質表示              |
| 6. 衣料消費の位置付けと変化        | 14. 消費者苦情の実態と発生原因           |
| 7. 繊維ファッション産業における生産・流通 | 15. 繊維ファッション産業と消費過程における環境問題 |
| 8. 繊維ファッション産業のグローバル化   |                             |

## テキスト・参考書

## ①テキスト

『新訂4版 繊維製品の基礎知識 第3部家庭繊維製品の流通、消費と消費者問題』日本衣料管理協会(2021) ※旧版

『新改訂版繊維製品の基礎知識 第3部家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題』日本衣料管理協会(2023) ※新版

※新版、旧版でもどちらでも可

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

## ②参考書

- 1『ファッションビジネスの基礎知識』日本衣料管理協会（2023）
- 2『新版 消費生活論』日本衣料管理協会（2020）
- 3『繊維製品の品質問題究明ガイドー消費者苦情の原因究明・再発防止策ー』日本衣料管理協会（2019）
- 4「繊維産業の現状と2030年に向けた繊維産業の展望（繊維ビジョン）の概要」経済産業省（2022）  
[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/textile\\_nw/pdf/001\\_05\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/textile_nw/pdf/001_05_00.pdf)
- 5「我が国繊維産業の現状 サステナビリティへの取組み」日本繊維産業連盟（2021）  
[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/textile\\_industry/pdf/001\\_07\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/textile_industry/pdf/001_07_00.pdf)
- 6「繊維製品品質表示規程」消費者庁

## 成績評価

---

### ①レポート

レポートの課題に沿った十分な内容が記述されていることを 60%、参考書やその他の資料からの発展的記述を 20%、課題に沿った事例説明と考察を 20%として評価します。

### ②科目修了試験

テキストの「3. 経済の変化と衣料の流通・消費」「4. 衣料品の消費と消費者苦情・環境問題」から出題する。基礎的知識の理解度を選択式と記述式(キーワードは問題に明記)の試験により評価します。

## その他

---

繊維製品品質管理士取得には必要な科目です。

## 消費者行動・調査法（夏期スクーリング）

担当教員：勝又 淳司

2 年次～ 選択 2 単位【繊維製品品質管理士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

私たちは誰しもが消費者である。2015 年の SDGs 採択を背景に大きく消費者の役割は大きく変化している。本講義では消費を取りまく問題や解決するための政策や企業の取り組み、消費者教育の現状等を概観して消費者行動に対する理解を深める。そのうえで今後求められる持続可能な社会の形成に向けて求められる消費者の行動とは何か考察を行う。

## 授業の方法

## 【面接】

対面での講義を行う。受講生同士のグループディスカッションやワークショップを行い、理解を深める。

## 学位授与方針との関係

生芸 DP 2

## 到達目標

1. 消費者とはどのような存在なのか、消費者行動の理論を理解する。
2. 消費者調査の種類や手法などを理解し、調査結果を分析出来る。
3. 今後求められる持続可能な消費について理解する。

## 授業計画

## ◆1 日目

1. 消費者と持続可能な消費
2. 消費者に関連する法律・政策と成立の経緯

## ◆2 日目

3. 消費者行動・消費者調査法
4. 消費者問題の現状(1) 衣食住分野

## ◆3 日目

5. 消費者問題の現状(2) IT や SNS 分野など
6. 消費者行政と消費者団体の役割
7. 消費者問題に関するワークショップ

## ◆4 日目

8. 企業のマーケティング活動と消費者行動
9. 企業のマーケティング活動に関わる法律

## ◆5 日目

10. 消費者教育とは
11. 消費者教育による倫理的消費の推進
12. 持続可能な消費に関する政策と今後 1

## ◆6 日目

13. 持続可能な消費に関する政策と今後 2
14. 環境対応と消費・企業の対応
15. 本講義のまとめと振り返り

## 受講にあたって

## ① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前に使用する教科書に目を通しておくことが望ましい。

## ②使用教科書

「新改訂版 繊維製品の基礎知識」一第3 部家庭繊維製品の流通、消費と消費者問題- 日本衣料管理協会刊行委員会編, 日本衣料管理協会, 2023 年発行

※原則、新改訂版を利用。既に新訂 4 版を持っている学生は、再購入は不要。

## ③参考書

特に無し

## ④持参するもの

筆記用具

## ⑤成績評価

課題・グループディスカッションの発表等 40%、最終日の試験 60%

## ⑥学生へのメッセージ

繊維製品品質管理士の認定試験を受験しようとする者は本科目を履修することが望ましい。

## ⑦追試験 対象外科目

## 消費生活論（テキスト）

担当教員： 依田 素味

2 年次～ 選択必修 2 単位 【繊維製品品質管理士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

複雑化した現代社会の中では、さまざまな消費に関する問題が発生しています。私たち一人ひとりが持っている消費者としての権利を理解し、身近な事例を通して、消費者問題はなぜ発生するのか考えます。テキストと合わせて新聞・雑誌などの記事を活用しながら実態を把握し、問題の所在を明らかにし、企業の社会的責任や、行政機関・消費者団体の役割、「安心／安全な消費生活」を営むには消費者がどのように行動するべきか考えます。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①消費者問題が発生する背景／理由を理解すること。
- ②消費者被害を救済するための社会の仕組みを知り、その課題を理解すること。
- ③消費者の権利と責務について理解すること。

## 学習の進め方

1. テキストに沿って、社会の仕組み、消費者問題の実態、消費者政策の課題を把握して学習を進めます。消費者問題は、時々刻々と変容しますので、新聞・雑誌、参考資料などから最新の情報を収集しながら学習を進めます。
2. リポート課題を確認し、的確に答えるために調査・研究を行い、情報を整理します。リポートの下書きをする際、多様な視点から課題を捉えることが必要です。下書きしたリポートは、テキストと参考文献の整合性が図られているか確認します。
3. リポート合格の場合は、科目修了試験に向けてテキスト・参考文献及びリポート添削指導を活用し学習を続けます。リポート不合格の場合は、添削指導を踏まえてテキスト・参考資料等を改めて学習したうえで、リポートを再度作成し提出します。
4. 科目修了試験は様々な課題を想定し学習すると効果的です。

## 内容

- |                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 消費社会の現状と問題を考える           | 9. 同級生はセブらしい ～もうけ話と消費者～    |
| 2. 豊かな社会と消費者の権利とは？          | 10. キレイになりたい！の罠 ～サービスと消費者～ |
| 3. 法律は消費者を守ってくれない？          | 11. テレビが火をふいた！ ～安全と消費者～    |
| 4. 市場の競争にルールがなかったら？         | 12. リスクゼロの食品はない？ ～食の安全と安心～ |
| 5. この契約おかしい気がする ～不当な契約と消費者～ | 13. 消費者と行政の関係を考える          |
| 6. 解約したいけど大丈夫？ ～様々な販売形態と法律～ | 14. 消費者運動と企業の責任            |
| 7. リボ払いの便利？ ～借金とクレジット～      | 15. 消費者の責任を考える             |
| 8. 実質ゼロ円のからくり ～ネット社会と消費者～   |                            |

## テキスト・参考書

①テキスト 大学生が知っておきたい消費生活と法律 細川幸一 慶応義塾大学出版会 2018

※2023 年 8 月に第 2 版が出版されていますが、どちらでも可。

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- 1 消費生活論 社団法人日本衣料管理協会 2020
  - 2 消費者政策学 細川幸一 成文堂 2007
  - 3 消費者政策・消費生活論 第 5 版 鈴木深雪 尚学社 2014
  - 4 暮らしの豆知識 国民生活センター 毎年改定
  - 5 ハンドブック消費者 消費者庁企画課 毎年または数年おきに改訂（最新版を利用すること）
  - 6 消費者庁、国民生活センター、消費生活センターのホームページ・情報誌等

## 成績評価

- ①リポート 消費者問題を理解し実態を説明することができるか（50%）、自身で学習した成果をリポートに盛り込んでいるか（30%）、全体的なリポートの完成度（20%）
- ②科目修了試験 消費者問題に関する知識（50%）、問題の背景などを理解したうえで自身の考えを述べる力（50%）

# 住生活学 (テキスト)

担当教員： 近藤 ふみ

2年次～ 必修2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

## 概要

住まいは人間生活にとって、最も大切な基盤であり、住まいと生活は密接に関わっている。一番ヶ瀬康子によれば、生活とは生命の活動・活性化であるという。すなわち生活は私たちのあらゆる場面で行われ、人間の営みそのものであるといえる。したがって、住宅において、あるいは住宅とのかかわりにおいて展開される人間の営みが住生活であるといえよう。本科目では、①住宅および家族生活の歴史の変遷から、また②住宅問題をはじめとする社会や地域との関連において、そして③安心・安全の視点から、住生活を学びこれからの快適な住生活のあり方について検討する。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP2

## 到達目標

- ①住生活とは何か、自らの言葉で説明できる。
- ②住居学における住生活学の位置づけを理解できる。
- ③快適な住生活を計画し、実践する力を身に付ける。

## 学習の進め方

最低限、テキストを通読すること。そのうえでレポート課題に着手し、理解を深めるためにテキストの図表等の引用文献や統計資料にあたってほしい。レポート課題にすべて合格し、科目修了試験に向けて勉強する際には、テキストの内容を説明できるくらいまで理解することを目標にしてほしい。

## 内容

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1. 住生活における近年の著しい構造的変化     | 9. 環境と住生活2 (光・音環境)               |
| 2. 住宅・住生活の変遷1 (原始から近世)    | 10. 環境と住生活3 (空気・水環境、環境負荷)        |
| 3. 住宅・住生活の変遷2 (近代から現代)    | 11. 住居の選択                        |
| 4. 福祉と住居1 (高齢者と住まい)       | 12. 住居の管理                        |
| 5. 福祉と住居2 (障がいのある人と住まい)   | 13. 地域生活とまちづくり1 (住宅地の諸相)         |
| 6. 住まいの計画1 (生活行為と生活空間)    | 14. 地域生活とまちづくり2 (地域・まちをつくる多様な視点) |
| 7. 住まいの計画2 (インテリアの計画)     | 15. 地域生活とまちづくり3 (まちづくりの手法)       |
| 8. 環境と住生活1 (気候と室内環境、温熱環境) |                                  |

## テキスト・参考書

①テキスト 生活と住居 第2版 定行まり子ほか

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 ①テキスト『生活と住居』の図表等の引用文献および統計資料

②住まいの百科事典 日本家政学会編 丸善出版 2021年(全国各地の図書館で閲覧可能) など

## 成績評価

①レポート 課題1: 課題の理解および学習成果 80%、論理性 20%

課題2: 課題の理解および学習成果 50%、独創性 30%、論理性 20%

②科目修了試験 第1問 40～60点、第2問 60～40点(合計100点) 難易度により上記の枠内で配点する。

## その他

本科目において学んだことを(一部であっても)日々の生活の中に取り込んでみる、他の生活芸術学科科目を学習する際に本テキストをひも解いてみるなどで、さらに学びが深まるはずである。

## 住宅問題・政策（テキスト）

担当教員： 松本 真澄

2年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

## 概要

私たちの生活の基盤として、質の高い住居を安定的に確保することは重要である。しかし、経済格差や災害などにより国民がそうした住居にあまねく居住出来ていない現状がある。これらの現象が住宅問題として、どのように私たちの住生活に影響を与えているのかを考えてみたい。そして、その解決策としての住宅政策について、第二次世界大戦後のわが国での実績と課題を学習し、居住の質を向上させる道筋を探ることを目的とする。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP3 生芸DP4

## 到達目標

- ①住宅事情について基本的な知識を身につけ、資料や統計データなどを利用して自身で調べる力を身につける。
- ②住宅政策についての基本的な知識を得、社会状況や歴史的な変遷をふまえてその意義を理解する。
- ③社会の変化に対応して、諸現象を捉え、自分で考える力を養い住宅問題の課題解決の思考を深める。

## 学習の進め方

テキストを「内容」に従って学習し、参考文献を調べて、理解を確かなものにする。特に、用語の概念を整理しながら、学習を進める。次に、レポート課題を確認し、必要な資料を図書館やホームページで調べ、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習し、自身の考えをまとめてレポートを作成する。レポートは、下書きを作成し、推敲を十分して完成させ、提出する。

## 内容

- |                              |                         |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 住宅問題1（産業革命、住宅困窮、1.1, 1.2） | 9. 海外の住宅政策（スウェーデン、アメリカ） |
| 2. 住宅問題2（現代日本の住宅問題、1.3～1.5）  | 10. 災害と住宅（3.4, 6.2）     |
| 3. 住宅の質、住宅供給（2.1, 6.1）       | 11. 居住地の再生（6.3, 6.4）    |
| 4. 住宅水準（2.2～2.6）             | 12. 住宅の瑕疵1（7.1～7.3）     |
| 5. 社会的側面（3.1, 3.2）           | 13. 住宅の瑕疵2（7.4, 7.5）    |
| 6. 日本の住宅政策1（4.1, 4.2）        | 14. 居住の権利（9.1～9.4）      |
| 7. 日本の住宅政策2（4.3～4.5）         | 15. 近年の住宅政策の動向：追補       |
| 8. 海外の住宅政策（イギリス、ドイツ）         |                         |

## テキスト・参考書

①テキスト 図解住居学4 住まいと社会 図解住居学編集委員会編 彰国社 2005、 追補 住居経済

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 2025年の住宅事情－図解 住生活基本計画－ 国土交通省住宅局住宅政策課／監修 ぎょうせい 2016  
追補末尾に掲載

## 成績評価

- ①レポート 全体を100として、課題の理解（ねらいとアドバイスを参考にすること）40%、既存資料及び統計資料の活用20%、学生自身の思考30%、レポートの完成度10%。
- ②科目修了試験 第1問60点、第2問各20点。用語の理解と考察力を確認する。

## その他

「住居経済」修得済の者の履修不可

## 住居史（テキスト）

担当教員： 片山 伸也

1 年次～ 選択必修 2 単位

【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

住居の形態や形式は人々の生活の営みから必然的に生まれてきたものであり、その歴史を学ぶことは、住居を通して様々な時代の生活の様子や精神文化を垣間見ることになる。気候風土や文化の違いから住居形式は自ずと異なってくるが、社会制度の類似が住居の構成に興味深い共通点をもたらすこともある。日本及び西洋の各時代の住居形式の変遷を通して、生活文化と住居形式の関係を理解する。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①時代ごとの固有の住居形態について、その空間構成や形態的特徴を理解する。
- ②時代ごとの住居形態それぞれの社会的・文化的背景を理解する。

## 学習の進め方

1. 西洋住居史のテキストは、住居の変遷を時代ごとに区切って説明しているが、時代ごとに地中海沿岸からイギリスまで扱う地域が異なっている。日本住居史のテキストも、大きくは時代順に記述されているが、本論は大きく分けて支配階層の住宅と民家にわけてまとめられている。どちらも住居の「進化・発達」というよりも各時代の社会状況に応じた住居形式として捉え、日本と西洋あるいは時代ごとの社会的状況の相違点と共通点を整理し、それに伴う住居形式の相違点と共通点を比較考察する。
2. テキストの内容を十分に理解した上で、課題の趣旨に沿って論ずるポイントを明確に絞り、レポートを作成する。
3. 科目修了試験に向け、再度テキストを精読し、各時代の住居形式の名称と構成（間取り、室名など）を整理すると共に、建物の特徴とその住宅が成立した時代背景を簡潔にまとめる。

## 内容

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 西洋1：原始時代の住居の成立 | 8. 日本1：先史時代の住居        |
| 2. 西洋2：古代文明の住居    | 9. 日本2：寝殿造            |
| 3. 西洋3：中世封建社会の住居  | 10. 日本3：寝殿造の簡略化と主殿造   |
| 4. 西洋4：近世貴族の住居    | 11. 日本4：武家社会と書院造      |
| 5. 西洋5：都市型住宅の形成   | 12. 日本5：数寄屋風書院        |
| 6. 西洋6：近代都市住宅の課題  | 13. 日本6：町家と農家         |
| 7. 西洋7：モダンリビングの誕生 | 14. 日本7：近代日本の生活の変化と住宅 |
|                   | 15. 日本と西洋の住文化の比較考察    |

## テキスト・参考書

- ①テキスト ①西洋住居史―石の文化と木の文化 後藤久 彰国社 2005  
②改訂版 図説日本住宅の歴史 平井聖 学芸出版社 2021

**テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。**

## 成績評価

## ①レポート

レポートでは、比較する住居の相違点・共通点が明確に示されているか（50%）、単なる引き写しではなく、論点を絞って記述されているか（30%）、各時代の住居の特質を簡潔に説明できているか（20%）を評価する。

## ②科目修了試験

科目修了試験では、時代ごとの住居形式の基礎的な知識があるか（達成目標①70%）、各時代の住居形式の建築的特徴とその歴史的背景を説明できるか（達成目標②30%）を評価する。

# 福祉環境論（テキスト）

担当教員： 佐藤 克志

2 年次～ 選択必修 2 単位

【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

超高齢社会を迎える日本において、高齢者や障害者を含む全ての人々にとって、安全で住みやすい生活環境をつくりあげていくことが急務の課題となっている。そのような社会背景のもと、この科目では生活環境の基盤である住宅とその周辺環境に焦点をあて、その問題点と解決策について、高齢者や身体障害者の身体機能の特性や生活行為の特徴から考える。

## 授業の方法

【印刷教材等】

印刷物（テキスト及び学習の手引き）により学習する。

## 学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP3

## 到達目標

①バリアフリーデザインとユニバーサルデザインの考え方、②高齢者・障害者の心身特性と住環境配慮、③バリアフリー住宅の計画・設計手法、④福祉のまちづくりのための法律と公共施設のバリアフリー配慮について理解することを目標とする。

## 学習の進め方

「学習の手引」には教科書から何を学び取ってもらいたいのか、また教科書では触れられていない事柄をまとめている。試験は教科書だけではなく「学習の手引」に書かれていることも対象とするので、それに従って学習を進めること。

レポート課題1は授業内容1～9を理解した上でとりかかること。レポート課題2については授業内容10～15の学習が概ね終わった段階でとりかかること。「学習の手引」にポイントをまとめてあるのでそこを中心に学習する。その際には高齢者、障害者の身体特性をしっかりと理解し、レポートでは「生活行為・動作上のニーズ→問題（ニーズと環境とのギャップ）→解決策」という関連が読み手に理解できるようにまとめる。

レポート合格後の科目修了試験受験に向けては、障害／身体機能の制約と環境の関わりに関する基本的考え方、ユニバーサルデザインの基本的考え方とその実践方法、住戸内空間のバリアフリー配慮内容とその理由などについて、テキスト及び学習の手引きにより学習を深めておくこと。

## 内容

- |                                |                                        |
|--------------------------------|----------------------------------------|
| 1. バリアフリー、ユニバーサルデザインの基本        | 9. バリアフリー住宅の計画6：脱衣室、洗面所、浴室、トイレ         |
| 2. 障害者の身体特性の理解                 | 10. 福祉のまちづくりのための法律（バリアフリー法、福祉のまちづくり条例） |
| 3. 高齢者の身体特性の理解                 | 11. 公共施設のバリアフリー配慮1：敷地内通路、駐車場、出入口       |
| 4. バリアフリー住宅の計画1：バリアフリー住宅の基本    | 12. 公共施設のバリアフリー配慮2：通路、階段、傾斜路           |
| 5. バリアフリー住宅の計画2：段差、手すり、仕上げ     | 13. 公共施設のバリアフリー配慮3：エレベータ、便所            |
| 6. バリアフリー住宅の計画3：通路・出入口、建具      | 14. 公共施設のバリアフリー配慮4：案内設備、客席・観覧席他        |
| 7. バリアフリー住宅の計画4：アプローチ、玄関、階段    | 15. 福祉のまちづくりの今後の課題                     |
| 8. バリアフリー住宅の計画5：居間・食事室、寝室、キッチン |                                        |

## テキスト・参考書

①テキスト 図解 高齢者・障害者を考えた建築設計 [改訂第2版] 檜崎雄之 井上書院 2014、学習の手引

**テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。**

②参考書 住環境のバリアフリー・ユニバーサルデザイン 野村敬 他 彰国社 2015 など

## 成績評価

### ①レポート

課題の「ねらい、アドバイス」に答えているか（70%）、レポートとしての論理的展開が適切かどうか（30%）を総合評価する。

### ②科目修了試験

4つの到達目標のいずれかに関する問題を2～3題出題するので、教科書、及び学習の手引を万遍なく復習しておくこと。最終成績はレポート課題（30%）と科目修了試験（70%）の総合得点で評価する。

# 住居安全情報論（テキスト）

担当教員： 平田 京子

3年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

## 概要

住居は生命と生活を守る器である。近年では災害や事故・犯罪など、安心な住まいを実現するためには多くの知識が必要であり、設計者にはさまざまな配慮と将来の危険性を予測する力が求められている。この授業では、住宅・住生活におけるさまざまな安全性能の設定を、主に地震防災、防火、住宅内事故、住宅の防犯の面で考える。また住宅・建築設計者の使命は起こりうる災害やリスクを把握し、その対応策を計画・設計することであり、設計内容を消費者に適切に伝えることである。これらを理解することで、住生活と住宅にかかわるリスクの現状を把握し、安全を守るためにはどのような性能を建物に与えればよいかを考究する。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP3

## 到達目標

- ①住居・建築の安全性とリスクについて性能面から情報収集・分析し、設計・計画に活用することができるようになる。
- ②住居・建築の安全性に関わる設計目標と将来のリスクを、建築主や市民に適切に説明するための基礎力がつく。

## 学習の進め方・内容

安全とリスク、情報をキーワードに、テキストと発展的学習から各テーマに関する概要を把握し、それぞれの項目の理解を深める。科目修了試験で出題する範囲は、下記のすべてである。

1. 建築分野におけるリスク、ハザードの定義を行う。
2. 住宅の設計で考慮すべきリスクをテキストから把握する。具体的には地震防災、防火、住宅内事故、住宅の防犯がどのようなものか、概要を把握する。
3. 火災 火災の発生状況、火災の発生メカニズム、延焼拡大防止対策、避難方法についてテキストを理解した上で、さらに参考文献からくわしく理解する。
4. 地震1 地震の発生メカニズム、地震災害の歴史についてさまざまな参考文献から調べる。
5. 地震2 住宅の耐震性向上について、耐震・制震・免震構造の特徴、耐震診断と耐震改修を理解する。テキストと参考文献から十分に理解する。
6. 地震3 防災について自助、共助、公助の面からどのようなことが必要か、さまざまな参考文献から理解する。
7. 地震4 震災からの復旧・復興とは何かを、参考文献から用語の意味をふまえた上で、概要を把握する。
8. 地震5 住民の非常時の家となる避難所、避難所の住民による自主運営の必要性について、参考文献から把握する。
9. 防犯 住宅における侵入盗の侵入方法の詳細をテキストから理解し、防犯環境設計とは何かを参考文献から調べる。
10. 住宅内事故の種類と対策をテキストおよび参考文献から調べる。
11. リスクコミュニケーションと設計者のアカウンタビリティについて、参考文献から調べる。
12. まとめ レポートで総合的な課題を考察する。
13. テキスト全般について復習するなど十分な学習と準備のうえ科目修了試験を受験する。
14. 科目修了試験不合格の場合、改めてテキストの内容を全般的に学習し、関連資料を調べるなどして再試験に向けて理解を深める。
15. 科目修了試験の合格をもって、「住居安全情報論」の単位が認定される。

## テキスト・参考書

- ①テキスト 初めて学ぶ住居学 <建築のテキスト> 編集委員会編 学芸出版 2015年  
学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

## ②参考書

&lt;地震災害&gt;

現代建築学 建築防災・安全 室崎益輝 鹿島出版会 1993 年  
都市防災学：地震対策の理論と実践 梶秀樹・塚越功編著 学芸出版社 2012 年  
地震防災 里村幹夫編 学術図書出版社 2013 年  
建築学の基礎7 建築防災 大宮喜文ほか 共立出版 2005 年  
いのちを守る地震防災学 林春男 岩波書店 2003 年  
しくみ図解シリーズ 耐震・制震・免震が一番わかる 高山峯夫・田村和夫・池田芳樹 技術評論社 2012 年

<火災>

はじめて学ぶ建物と火災 日本火災学会編 共立出版 2007 年  
図解よくわかる 火災と消火・防火のメカニズム 小林恭一編著 日刊工業新聞社 2015 年

<防犯>

防犯環境設計の基礎 デザインは犯罪を防ぐ 清永賢二監修 彰国社 2010 年

<リスクコミュニケーション>

心理学が描くリスクの世界ー行動的意思決定入門 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 慶應義塾大学出版会 2018 年

## 成績評価

---

### ①レポート

レポートの記述に当たってどのくらい参考文献を調べて内容をまとめたか（40%）、それらから自らの考察をどのくらい論理的に構成したか（50%）、レポートの完成度（10%）を評価する。

### ②科目修了試験

2 問を各 50 点として、合計点で評価する。知識の理解度、意見を客観的にまとめているかどうかを評価のポイントとする。

## その他

---

参考文献は上記に限らず、多岐にわたるので、広く文献、インターネットなどから情報収集を行うようにしよう。

**特記事項** 「居住性能論」修得済の者の履修不可

## 建築保存再生論（テキスト）

担当教員： 是澤 紀子

3年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

## 概要

人々が住まう環境は、その土地の気候風土のもと、文化による影響を積み重ね、時間をかけて形成されてきたものである。そのような環境を背景として成立している歴史的な建築と、それらの保存と再生をめぐる課題について理解することを目的とする。ここでは主に日本の歴史的な建築を取り上げ、①保存・再生の理念や制度、②背景にある歴史文化、③過去を読解する手がかりとなる空間、④修復の手法、⑤文化財あるいは工学的観点からみた活用手法、⑥地域の産業や生産組織といった6つの側面から多角的に考察する。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP3

## 到達目標

- ①歴史的な建築とその保存・再生について、理念や法制度をふまえて理解する。
- ②歴史的な建築とその保存・再生について、背景の読解に根差した具体的な保存・再生手法のあり方について理解する。

## 学習の進め方

[学習の進め方]

- ①テキストを通読し、章ごとにポイントを理解する
- ②掲載されている建築の概要について、テキスト以外の参考文献を用いて調べる
- ③掲載されている建築の部位や部材名称について、テキスト以外の参考文献を用いて調べる
- ④リポート課題を確認し、関連する建築の実物をできる限り観察する
- ⑤リポート課題に関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する
- ⑥リポートの下書きを作成し、論点を絞る
- ⑦テキストの内容を十分に理解し、参考文献から得た知識と照らし合わせて、リポートの内容を検証する（論点や文脈と課題との整合性を確認すること）
- ⑧論を展開するにあたり、参考文献を明記するなど、その根拠を示す
- ⑨リポート合格の場合は、科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する（リポート不合格の場合は、改めて学習し、関連する建築の実物をできる限り観察した上で、リポートを作成し提出）
- ⑩科目修了試験に向けて、リポート課題の学習内容を復習するとともに、テキスト・参考文献により学習する

## 内容

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 歴史的な建築と文化財の種類        | 9. 歴史的な建築の調査と評価   |
| 2. 建築文化財と国際憲章           | 10. 建築保存・再生の調査と工事 |
| 3. 建築保存・再生の課題           | 11. 木造の被害と保存・再生   |
| 4. 建築保存・再生の理念           | 12. 煉瓦造の被害と保存・再生  |
| 5. 建築保存・再生の法制度          | 13. 石造の被害と保存・再生   |
| 6. 建築保存・再生の前提となる歴史文化    | 14. 建築の継承と生産組織    |
| 7. 建築形態と空間の読解1——日本建築の事例 | 15. 建築の継承と生業      |
| 8. 建築形態と空間の読解2——西洋建築の事例 |                   |

## テキスト・参考書

## ①テキスト

建築遺産 保存と再生の思考—災害・空間・歴史 野村俊一・是澤紀子編 東北大学出版会 2012

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

## ②参考書

### ＜日本建築の保存＞

新建築学大系 50 歴史的建造物の保存 新建築学体系編集委員会編 彰国社 1999

その他、各種国宝・重要文化財建造物修理工事報告書

### ＜日本建築史全般＞

伝達と変容の日本建築史——伝わるかたち／伝えるわざ 野村俊一編 勉誠出版 2022

新建築学大系 2 日本建築史 新建築学体系編集委員会編 彰国社 1999

日本建築史図集 新訂第三版 日本建築学会編 彰国社 2011

日本建築史基礎資料集成 中央公論美術出版 1971～刊行中

日本建築史序説 増補第二版 太田博太郎 彰国社 1989

建築の歴史 藤井恵介・玉井哲雄 中央公論社 1995

建築と都市の歴史 光井渉・太記祐一 井上書院 2013

増補新装 カラー版 日本建築様式史 太田博太郎他 美術出版社 2010

古建築のみかた かたちの魅力 伊藤延男 第一法規出版 1967

古建築入門講話 川勝政太郎 河原書店 1966

### ＜日本建築の部材名称等＞

建築大辞典 第二版 彰国社 1993

日本建築辞彙 中村達太郎 中央公論美術出版 2011

古建築の細部意匠 近藤豊 大河出版 1972

## 成績評価

---

### ①レポート

各課題の理解（50％）、学生自身の考察力（30％）、レポートの完成度（20％）として評価する。

### ②科目修了試験

科目修了試験では、到達目標①については、国際憲章との比較をふまえた日本国内の建築保存再生の制度・理念と手法に関する問題（40％）と、到達目標②について、建築の形態・空間・歴史・文化などの調査や評価、その評価に基づく保存再生の手法に関する問題（60％）によって成績を評価する。

## その他

---

建築の保存・再生を理解するためには、建築史の知識と実際の空間体験が重要です。参考書として挙げた日本建築史の書籍を読み、関連する日本建築を積極的に実見してください。

**特記事項** 「建築意匠論」修得済の者の履修不可

# 住居マネジメント（集中スクーリング）

担当教員： 浅見 美穂

2年次～ 選択必修2単位

【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025年度

## 概要

少子高齢化や世帯構成・ライフスタイルの多様化など、私たちの暮らしの変化は著しい。また地球環境や資源の有効活用の視点からも、住宅や建物のフローからストックへの移行が注目され、維持管理やリフォーム・リノベーションに関する知見が求められている。良好なストックの形成と都市居住・地域活性化へ向けて、所有者が住宅や建物を適切に管理し、豊かな生活環境を継続するための方策や、建築家としての実践を踏まえながら、建築士などの専門家の果たす役割を考える。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

## 授業の方法

【動画視聴型遠隔授業（manaba利用）、面接】

動画視聴型遠隔授業（1, 2日目）と対面（面接）授業（3日目）によるスクーリング授業

## 学位授与方針との関係

生芸DP4 生芸DP5

## 到達目標

- ①住まいを管理する方法や住宅リフォームについて、基礎的な知識を身につける。
- ②住宅や建物の維持管理のための対策や費用、関連法制度などの知識を得る。
- ③より良い住居管理のために、臨機応変に対応できる居住力を育む。

## 授業計画

- |                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 住居マネジメントの目的    | (manaba にガイダンスや各課題の提出期限日時を事前通知) |
| 2. 生活財の管理         |                                 |
| 3. 居住歴とリフォーム      |                                 |
| 4. 日常の手入れと老朽化対策   |                                 |
| 5. 住宅の耐用年数と性能     | (第1日：manaba より講義動画視聴、各課題提出)     |
| 6. 集合住宅の管理        |                                 |
| 7. 集合住宅の修繕計画      |                                 |
| 8. 住居費の管理         |                                 |
| 9. 住宅の維持管理費用      |                                 |
| 10. 住宅リフォームの実務    | (第2日：manaba より講義動画視聴、各課題提出)     |
| 11. バリアフリー改修      |                                 |
| 12. 耐震診断と耐震改修     |                                 |
| 13. 管理を支える制度と職能   |                                 |
| 14. エリアマネジメントと防災  |                                 |
| 15. これからの住居マネジメント | (第3日：面接 課題発表、講義、グループワーク、筆記試験)   |

## 受講にあたって

### ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業初日までに必ずmanabaを確認し、参考書を読んでおくか、授業動画が視聴可能になったら、早めに学習を進めておくこと。  
自分の住環境（住まい・地域）の情報を客観的に考察するための関連資料を事前に収集しておくが良い。

### ②使用教科書 manaba より授業資料を配付し、必要に応じて参考書を紹介する。

### ③参考書 ①図解住居学6 住まいの管理 住まい住居学編集委員会編 彰国社 2003

②脱・住宅短命社会 山崎古都子 サンライズ出版 2012

③おとなのための住まい力 知識/経験/リテラシー 住総研「おとなのための住まい学」研究委員会編 ドメス出版 2020

### ④準備するもの 筆記用具、定規、マーカー、電卓など。その他、必要な物があれば事前に連絡する。

#### ⑤成績評価

授業では建物の維持管理に関連したワークシートやレポート課題を予定している。また最終日にはグループワークやその発表に取り組み、最後に筆記試験を行う。これら課題への取り組み（60%）や試験結果（40%）を総合して評価する。

#### ⑥学生へのメッセージ

私たちの住宅や利用する建物や周辺環境が快適であるために、どのように維持管理されているのかの視点を持ってほしい。

3日間で学ぶには広範囲な内容のため、manaba 登録後から最終日まで、時間をかけてじっくり学んでほしい。

#### ⑦追試験 対象科目

**特記事項** 2016 年度「住居学特講Ⅰ」とほぼ同様の内容につき登録の際は留意のこと

# 住居環境学（テキスト）

担当教員：細井 昭憲

2年次～ 必修2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

人々が生活する場である住居にかかわる環境は、大きく屋外環境と屋内環境に分けられる。

屋外においては、太陽の位置・動き、日照、日射、日影、気象・気候などについて、屋内においては、音、光、空気、熱などの要素に着目し、基礎的知識を学ぶとともに、その評価、建築的調整方法、さらに快適な環境計画のあり方などを学習する。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

住居の屋外環境、屋内環境に関連する環境要素について、それぞれの特性、人とのかかわり、快適性の評価などに関する基礎知識を修得する。

## 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

特に図表の理解が重要なので、図の読み方や使い方を学習する。

## 内容

- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 熱・湿気環境(1) 温熱要素と快適条件        | 9. 音環境(1) 基本事項            |
| 2. 熱・湿気環境(2) 屋外気候/太陽位置と日照     | 10. 音環境(2) 騒音防止計画         |
| 3. 熱・湿気環境(3) 熱環境              | 11. 音環境(3) 音響設計           |
| 4. 熱・湿気環境(4) 湿気と結露/冷暖房計画      | 12. 光環境(1) 基本事項           |
| 5. 空気環境(1) 空気汚染の種類/空気清浄に関する目標 | 13. 光環境(2) 採光計画           |
| 6. 空気環境(2) 必要換気量              | 14. 光環境(3) 照明計画           |
| 7. 空気環境(3) 換気計画               | 15. 学習のまとめ 環境負荷に配慮した建物の計画 |
| 8. 空気環境(4) 通風計画               |                           |

## テキスト・参考書

①テキスト 改訂版 初めての建築環境 〈建築のテキスト〉編集委員会編 学芸出版社 2014、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 建築環境工学 倉淵隆 市谷出版社 2022 年

## 成績評価

①レポート 課題の要求点に対する理解度と記述・整理の仕方、また、記述内容に加え、論理的考察力、表現力などの合計で評価する。

②科目修了試験 各設問の得点の合計点で評価する。

## 住居環境学（後期土曜スクーリング）

担当教員： 徳弘 洋子

2年次～ 必修2単位

【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025年度

## 概要

人々が生活する場である住居にかかわる環境は、大きく屋外環境と屋内環境に分けられる。

ここでは、建物の屋外、屋内において関わる環境の物理的な要素について学習する。屋外においては、太陽の位置・動き、日照、日射、日影、気象・気候などについて、屋内においては、音、光、空気、熱などの要素に着目し、その基礎的知識を学ぶとともに、その評価、建築的調整方法、さらに快適な環境計画のあり方などを学習する。

## 授業の方法

【同時双方向型（Zoom利用）、動画視聴型（manaba利用）】

ガイダンス時は同時双方向型遠隔授業とし、以降は動画視聴型遠隔授業にて実施する。

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

住居の屋外環境、屋内環境に関連する環境要素について、それぞれの特性、人とのかかわり、快適性の評価などに関する基礎知識を学習する。

## 授業計画

ガイダンス：授業の進め方 (manaba に事前掲示)

1. 建築環境の概要
2. 都市環境
3. 気候 外部気候と住まい/温熱要素と快適条件  
(第1日：ガイダンス Zoom のち manaba)
4. 熱・湿気環境(1) 伝熱/建物全体の熱特性
5. 熱・湿気環境(2) 結露 (第2日：manaba)
6. 空気環境(1) 空気汚染と必要換気量
7. 空気環境(2) 換気計画と通風 (第3日：manaba)
8. 日照・日射環境(1) 太陽位置と日照日影
9. 日照・日射環境(2) 日射と日照調整 (第4日：manaba)

10. 光環境(1) 基本事項
11. 光環境(2) 採光計画と照明計画
12. 光環境(3) 色彩 (第5日：manaba)
13. 音環境(1) 基本事項
14. 音環境(2) 遮音と吸音/騒音防止
15. 音環境(3) 室内音響 (第6日：manaba)

各回共通：※

※ manaba より講義動画視聴、全6回を複数ファイルに分割

※ manaba にて各回小テストまたはレポート、質問は掲示板にて

※ MsTeams にて個別相談も利用可能

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

なじみのない用語が多いので、事前に上記授業計画の対象範囲の教科書を一読しておく予習が必要である（各回1時間程度）。何がどこに書いてあるか、例えば「湿り空気」や「終日日影」という言葉が出てきたときに関連する章の記述を把握しておくこと効率的に学習を進められる。演習問題にも取り組むため、基礎的な数式は確認しておきたい。各週において講義、小テスト、課題復習と合わせての時間確保が望ましい（5～7時間程度）。

事前課題 特になし

②使用教科書 改訂版 初めての建築環境 <建築のテキスト>編集委員会編 学芸出版社

③参考書 建築環境工学〔改訂版〕 山田由紀子 培風館

④持参するもの 筆記用具、定規、色鉛筆、電卓など。その他、必要な物があれば事前に連絡する。

⑤成績評価 章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで小テストまたはレポート提出を課する。即ち毎回となり次週までの提出が必須。（計6回で100%）設問数により配点配分を決め、各設問の得点の合計点で評価する。

⑥学生へのメッセージ より良い生活環境を合理的に計画・設計し、生活者としても適切に維持管理できる能力を養ってほしい。

⑦追試験 対象外科目

## 住居設備学（テキスト）

担当教員：細井 昭憲

3年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

快適で健康的な居住環境を実現するうえで、建築的な環境調整では足りない分については、設備機器を利用して調整する必要がある。この科目では、これらの技術について学ぶ。

設備技術の中で、主として暖冷房・換気・空気調和設備と給排水・衛生設備について学び、そのシステムの分類・特徴、各機器の構成と働き、また、種々の設備技術と計画の基礎や考え方などを学習する。また、設備機器の稼働には必ずエネルギー消費が伴うため、地球環境負荷が生じる。そのため、地球環境負荷軽減の観点も含め今後の設備機器・技術のあり方につき、住まい方も含め住居としてどうあるべきかを考えていく。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

空気調和設備、給排水衛生設備の基礎知識として、設備の原理、機器・装置の構成と役割、システムの種類と特徴などを修得する。

## 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める一章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。各設備・装置・機器・システム等の名称や構成・特徴・原理などを調べ、整理する。また、地球環境問題の原因・対策に関し、設備の視点から考察する。これらをまとめ、これからの設備のあり方に関し学習する。

## 内容

- |                              |                                   |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 建築設備と地球環境、設備デザインの可能性      | 9. 防災設備(1) 防災計画                   |
| 2. 建築設備における熱、空気、水の流れ         | 10. 防災設備(2) 消火設備：火災の種類、消火法、消火設備分類 |
| 3. 空調設備(1) 自然環境、太陽エネルギー、空調負荷 | 11. 防災設備(3) 消火設備：スプリンクラ、消火栓、など    |
| 4. 空調設備(2) 熱源、空調方式           | 12. 建築と省エネルギー(1) 省エネルギー基準         |
| 5. 空調設備(3) 搬送、吹出し、換気、自動制御    | 13. 建築と省エネルギー(2) 性能基準と仕様基準        |
| 6. 給排水衛生設備(1) 水に関する基礎知識      | 14. 設備計画とスペース(1) 設備スペース DS、PS     |
| 7. 給排水衛生設備(2) 給水、給湯、排水通気設備   | 15. 設備計画とスペース(2) 断面計画、設備計画テクニック   |
| 8. 給排水衛生設備(3) 衛生器具、浄化槽、ガス設備  |                                   |

## テキスト・参考書

①テキスト 建築の設備入門〔新訂第二版〕 「建築の設備」入門編集委員会編 彰国社 2017、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 最新建築設備工学 田中俊六 井上書院 2022 年

## 成績評価

①リポート 課題の要求に対する理解と記述内容に加え、論理的考察力、記述力・表現力などの合計で評価する。

②科目修了試験 設問数により配点配分を決め、各設問の得点の合計点で評価する。

## まちづくり論（テキスト）

担当教員： 薬袋 奈美子・原 わかな

2年次～ 選択必修2単位

【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

## 概要

まちづくりには、社会的な側面と空間的な側面とがある。当科目では、屋外生活空間について、空間的な特徴を把握する力をつけることを目的とする。都市計画的領域の中でも、特に、生活をするための空間を考える際に必要となる視点を学習する。

## 授業の方法

【印刷授業等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP3 生芸DP4

## 到達目標

- ①都市・住環境についての基礎知識を習得する。
- ②生活者の視点で、まちを改善する考え方を身につける。

## 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進め、まちづくりの基礎として、特に生活環境をつくりあげるために必要とされる空間づくりについて指定図書を読む。またレポートでは、レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

## 内容

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 伝統的な居住形態から豊かな住環境を探る | 9. 地域の個性と景観             |
| 2. 都市論の誕生と展開           | 10. 災害に備える              |
| 3. 生活空間計画の展開           | 11. 様々な主体から考える          |
| 4. 生活を取り巻く土地利用         | 12. 生活空間の再編～農村・中心市街地～   |
| 5. 土地利用コントロール          | 13. 生活空間の再編～密集市街地～      |
| 6. 都市の水・緑と公園           | 14. 生活空間の再編～郊外住宅地・都心居住～ |
| 7. 交通計画                | 15. 生活空間のマネジメント         |
| 8. 快適な居住環境をつくる         |                         |

## テキスト・参考書

- ①テキスト 生活の視点でとく 都市計画第2版 薬袋奈美子他 彰国社 2024、学習の手引  
(テキストは初版でも良い)

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 ①まちづくりキーワード事典 三船康道他 学芸出版社 2009  
②地域共生の都市計画 三村浩史 学芸出版社 2005  
③新・都市計画概論 加藤晃他 共立出版 2004  
④自分にあわせてまちを変えてみる力ー韓国・台湾のまちづくり 饗庭伸他 萌文社 2016

## 成績評価

- ①レポート 各課題に係る事項の理解度50%、課題の理解に基づく考察力・応用力50%として評価する。  
②科目修了試験 まちづくりにおける基礎的な事項の習得状況を評価する。

## その他

このテキストを勉強したのちに、自分のまちを改めて見て、生活空間の特徴を把握してみましょう。住民が主体的に生活空間を改善していくための基礎的な知識と考え方を学び、まちづくりに積極的に参加することを期待しています。

特記事項 「住宅地計画」修得済の者の履修不可

## 建築計画論（テキスト）

担当教員： 宮 晶子

2年次～ 選択必修2単位

【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

## 概要

建築空間は物質化された目に“見えるもの”から構成されているが、それは、人の行動や心理などにかかわる目に“見えないもの”に無意識的にも意識的にも深く影響を及ぼしている。それらは相互に関係しあっており、時代の変化にともなって、建築設計上注視される内容も変化していく。建築設計においては、無数の可能性の中からひとつを選び出さなくてはならない。これまで先人が築いてきた人間と建築の関係について学び、記述法や思考方法を知った上で、個人的な経験や感覚を共感可能な言語として考察し、その意味を構造化し、現代社会における建築のあり方を更新していくことのできる力を身につける。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP2

## 到達目標

- ①場所としての建築を人の行動、心理の側面から理解する。
- ②人と空間の関係に問題意識をもち、空間を改善・提案する力を身につける。

## 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→一章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

## 内容

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 空間・機能        | 9. 集落・都市             |
| 2. 感覚・知覚        | 10. ランドスケープ・環境       |
| 3. 記憶・イメージ      | 11. 保存・再生            |
| 4. 寸法・比例        | 12. 図化・表現            |
| 5. アクティビティ・動線   | 13. 計画と設計／住居         |
| 6. 広場・中庭        | 14. 教育／文化／コミュニティセンター |
| 7. アプローチ・シークエンス | 15. 商業／業務／宿泊／祝祭／複合   |
| 8. 街路・景観        |                      |

## テキスト・参考書

①テキスト 建築空間計画 積田洋 他著 彰国社 2012

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- ①都市と建築のパブリックスペース 鹿島出版社 ヘルマン・ヘルツベルハー 1995
  - ②かくれた次元 みすず書房 エドワード・E・ホール 1974
  - ③実存・空間・建築 鹿島出版会 クリスチャン・ノベルク・シュルツ 1973
  - ④建築計画読本 大阪大学出版会 舟橋国男共著(鈴木毅担当章) 2004

## 成績評価

- ①リポート 課題に対する理解度50%、課題の理解に基づく考察力・応用力50%として評価する。
- ②科目修了試験 人と建築の関係の理解度により評価する。

## その他

建築はあらゆる分野とのかかわりを持ちます。多くの経験や書物と好奇心と考察力をもって、向き合うことを勧めます。

特記事項 「住居設計学」修得済の者の履修不可

## インテリア計画論（テキスト）

担当教員：青木 賀津子

1 年次～ 必修 2 単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

インテリアデザインを学ぶ目的は、様々な生活行為や生活様式と、そのもっとも身近な舞台としての物理的空間や装備との、好ましい関係を学ぶことである。また地域の自然環境や人工的環境との関係を考え、より快適な生活環境の創造を担う力を養うことである。本科目では、住宅のインテリアデザインを中心に、インテリアを構成している物理的要素を理解し、計画とデザインの基礎を学修する。添削指導において、建築家としての知見を活かす。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP2

## 到達目標

- ① インテリアに関わる基礎知識を修得する。
- ② インテリア空間計画に活用できる能力を身に付ける。

## 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める一章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

## 内容

- |                     |                                  |
|---------------------|----------------------------------|
| 1. 日本の住まいとインテリアの変遷  | 9. 照明                            |
| 2. 西洋のインテリアと家具様式の変遷 | 10. 材料と仕上げ                       |
| 3. 人間工学の意味と人体寸法     | 11. 室内環境計画                       |
| 4. 家具・設備への人間工学の応用   | 12. プライベートインテリアの計画①コミュニケーション空間   |
| 5. 形・色・テクスチャーの心理    | 13. プライベートインテリアの計画②寝室・書斎・子ども部屋   |
| 6. 人間的尺度と空間の心理      | 14. プライベートインテリアの計画③サニタリー空間・収納    |
| 7. 家具               | 15. パブリックインテリアの計画: オフィス・ホテル・店舗空間 |
| 8. テキスタイル           |                                  |

## テキスト・参考書

①テキスト インテリアデザイン教科書 第二版 インテリアデザイン教科書研究会編 彰国社 2015

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 ①インテリアデザインとは何か（SD選書） 三輪正弘 鹿島出版会 1985

②インテリアデザイン辞典 インテリアデザイン辞典編集委員会編 清家清監修 朝倉書店 1981

## 成績評価

## ①レポート

各課題に対する理解度 50%、課題の理解に基づく考察力・応用力 50%として評価する。

## ②科目修了試験

インテリア要素の理解度、住空間計画に必要な情報から考察した内容を論理的にまとめられているかを評価のポイントとする。

## その他

日頃から、興味を持って優れた建築空間を体験し、インテリア作品に触れる機会を持ち、見る目を養ってほしい。

## 建築法規（テキスト）

担当教員： 浅見 美穂

2年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

### 概要

建築物を安全かつ快適に活用し、調和のとれた環境を形成するためには、ルールに則って建物を計画する必要がある。数多くあるルールの中で基本的な役割を持つ建築基準法を中心に、その他の関連法令を体系的に学ぶ。さらに各々の法制度の意味や運用方法について考察を深め、自らの生活や住環境整備と社会システムとの関係を理解することを目的とする。添削指導において、建築家としての知見を活かす。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

### 授業の方法

【印刷教材等】

### 学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP4

### 到達目標

- ①建築物を作る上で必要な建築基準法を中心とした建築関連法規の基礎知識を修得する。
- ②法制度の目的や内容を理解し、住環境整備や建築設計、施工や工事監理などで活用できる能力を身に付ける。

### 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→法令集での照合も合わせて行う→レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

### 内容

- |                                   |                                     |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 建築法規の概要（建築法規の歴史、役割、体系）         | 8. 都市と街区の健全性(集団規定) (2) 用途地域         |
| 2. 用語の定義（建築物・防火・建築手続きに関する用語・面積高さ） | 9. 都市と街区の健全性(集団規定) (3) 容積率と建ぺい率     |
| 3. 建築物の健全性(単体規定) (1) 一般構造         | 10. 都市と街区の健全性(集団規定) (4) 高さ制限        |
| 4. 建築物の健全性(単体規定) (2) 構造強度         | 11. 都市と街区の健全性(集団規定) (5) 防火地域・地区計画など |
| 5. 建築物の健全性(単体規定) (3) 防火と内装制限      | 12. 確認申請と手続き規定                      |
| 6. 建築物の健全性(単体規定) (4) 避難・建築設備      | 13. 関連法令(都市計画法・消防法)                 |
| 7. 都市と街区の健全性(集団規定) (1) 道路と敷地      | 14. 関連法令(バリアフリー法・住宅品質確保法・耐震改修促進法)   |
|                                   | 15. 関連法令(建築士法・建設業法)                 |

### テキスト・参考書

①テキスト 改訂版 初めての建築法規 &lt;建築のテキスト&gt;編集委員会編 学芸出版社 2023

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 ①改訂版 図説 やさしい建築法規 今村仁美ほか 学芸出版社 2019

②基本建築基準法関係法令集 2025年版 国土交通省住宅局建築指導課 建築技術研究会編 建築資料研究社 2025

### 成績評価

#### ①レポート

各課題に対する理解度 50%、課題の理解に基づく考察力・応用力 50%として評価する。

#### ②科目修了試験

法令内容の理解度、調査から得られた情報から考察した内容を客観的・論理的にまとめられているかを評価のポイントとする。

### その他

法規を字面で理解しようとせず、自分の生活する住宅や地域環境に照らし合わせて、体系付けながら読み解くことを勧める。

## 住居製図（夏期スクーリング）

担当教員： 青木 賀津子

2 年次～ 選択 1 単位 【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

住宅を中心とした設計図書の基本的な約束ごとを理解し、設計図の読み解き方を理解しながら、住宅の設計図の描き方を学ぶことを目的とする。教科書内の住宅の図面を、配置図、平面図、断面図、立面図を相互にかつ総合的に読み解き、設計者の意図をも探し出せるようにする。製図用具を用いた基礎的な設計図の描き方により住宅の設計図を描き、住宅設計に必要な条件を学ぶ。建築士やインテリアプランナーなどの資格取得に向けた、基礎的な科目である。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 生芸DP5

## 到達目標

- ①木造住宅の製図を通して、設計図の読み解き方を修得する。
- ②住宅設計に必要な図面の記載内容を学び、製図法を修得して基本的な設計図を描く力を養う。

## 授業計画

住宅の図面の基本ルールを確認した上で、木造住宅の設計図の作図をする。

1. 設計用具の使い方、線の描き方の練習
2. 図面の読み方を学び、基本的な図面を描く。 (第1日)
3. 教科書の名作住宅：篠原一男「白の家」、前川國男「自邸」の平面図・断面図・立面図を読み解く。
4. 製図法を用いて平面図の製図(1) 中心線
5. 平面図の製図(2) 壁の下描き、開口部の下描き (第2日)
6. 教科書の名作住宅：吉村順三「軽井沢の山荘」、吉阪隆正「ビィラ・クックウ」の平面図・断面図・立面図を相互に読み解く。
7. 平面図の製図(3) 壁面の仕上げ
8. 平面図の製図(4) 建具、仕上げ表現などの作図 (第3日)
9. 平面図の製図(5) 細部の描き込み、寸法、室名などの記入
10. 製図法を用いて断面図の製図(1) 基準線、壁や屋根の下描き (第4日)
11. 断面図の製図(2) 断面線の仕上げ、見えがかり部分の下描き
12. 断面図の製図(3) 細部の描き込みと寸法、文字の記入
13. 製図法を用いて立面図の製図(1) 基準線、屋根や壁の下描き (第5日)
14. 立面図の製図(2) 外形線などの仕上げ、細部の描き込み
15. 作品提出、講評 (第6日)

## 受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 受講前に必ず教科書を一読しておく。最低1時間程度。

②使用教科書 改訂版 名作住宅で学ぶ建築製図 藤木庸介編 学芸出版社 2020 年

③参考書 ①建築設計演習 基礎編 建築デザインの製図法から簡単な設計まで 武者英二 彰国社 1982 年

②第2版 コンパクト建築設計資料集成〔住居〕 日本建築学会編 丸善 2006 年

③改訂版 建築製図 基本の基本 櫻井良明 学芸出版社 2023 年

④持参するもの ケント紙（A2 サイズを4枚）、製図用シャープペン（0.5mm、HB程度）、消しゴム、赤色鉛筆（消しゴムで消せるもの） その他、三角スケールや勾配定規、字消し板、メンディングテープなどは大学の物を使用するが、手持ちの物があれば持参することを推奨する。

⑤成績評価 名作住宅の図面の読み解きなど授業中の取り組み姿勢と、最終日などに提出する製図作品で評価する。

⑥学生へのメッセージ 初日から製図版に向かって図面を描くので、作業に必要なものは各自用意すること。

⑦追試験 対象外科目

特記事項：受講者数を35名までとする

## 住居製図（後期土曜スクーリング）

担当教員： 井上 恵子

2 年次～ 選択 1 単位 【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

住宅を中心とした設計図書の基本的な約束ごとを理解し、設計図の読み解き方を理解しながら、住宅の設計図の描き方を学ぶことを目的とする。教科書内の住宅の図面を、配置図、平面図、断面図、立面図を相互にかつ総合的に読み解き、設計者の意図をも探し出せるようにする。製図用具を用いた基礎的な設計図の描き方により住宅の設計図を描き、住宅設計に必要な条件を学ぶ。建築士やインテリアプランナーなどの資格取得に向けた、基礎的な科目である。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1, 生芸DP5

## 到達目標

- ①木造住宅の製図を通して、設計図の読み解き方を修得する。
- ②住宅設計に必要な図面の記載内容を学び、製図法を修得して基本的な設計図を描く力を養う。

## 授業計画

住宅の図面の基本ルールを確認した上で、木造住宅の設計図の作図をする。

1. 設計用具の使い方、線の描き方の練習
2. 図面の読み方を学び、基本的な図面を描く。 (第1日)
3. 教科書の名作住宅：篠原一男「白の家」、前川國男「自邸」の平面図・断面図・立面図を読み解く。
4. 製図法を用いて平面図の製図(1) 中心線
5. 平面図の製図(2) 壁の下描き、開口部の下描き (第2日)
6. 教科書の名作住宅：吉村順三「軽井沢の山荘」、吉阪隆正「ビィラ・クウクウ」の平面図・断面図・立面図を相互に読み解く。
7. 平面図の製図(3) 壁面の仕上げ
8. 平面図の製図(4) 建具、仕上げ表現などの作図 (第3日)
9. 平面図の製図(5) 細部の描き込み、寸法、室名などの記入
10. 製図法を用いて断面図の製図(1) 基準線、壁や屋根の下描き (第4日)
11. 断面図の製図(2) 断面線の仕上げ、見えがかり部分の下描き
12. 断面図の製図(3) 細部の描き込みと寸法、文字の記入
13. 製図法を用いて立面図の製図(1) 基準線、屋根や壁の下描き (第5日)
14. 立面図の製図(2) 外形線などの仕上げ、細部の描き込み
15. 作品提出、講評 (第6日)

## 受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 受講前に必ず教科書を一読しておく。最低1時間程度。

②使用教科書 改訂版 名作住宅で学ぶ建築製図 藤木庸介編 学芸出版社 2020 年

③参考書 ①建築設計演習 基礎編 建築デザインの製図法から簡単な設計まで 武者英二 彰国社 1982 年

②第2版 コンパクト建築設計資料集成[住居] 日本建築学会編 丸善 2006 年

③改訂版 建築製図 基本の基本 櫻井良明 学芸出版社 2023 年

④持参するもの ケント紙 (A2 サイズを4枚)、製図用シャープペン (0.5mm、HB 程度)、消しゴム、赤色鉛筆 (消しゴムで消せるもの) その他、三角スケールや勾配定規、字消し板、メンディングテープなどは大学の物を使用するが、手持ちの物があれば持参することを推奨する。

⑤成績評価 名作住宅の図面の読み解きなど授業中の取り組み姿勢と、最終日などに提出する製図作品で評価する。

⑥学生へのメッセージ 初日から製図版に向かって図面を描くので、作業に必要なものは各自用意すること。

⑦追試験 対象外科目

特記事項：受講者数を35名までとする

## 住居設計Ⅰ（前期土曜スクーリング）

担当教員： 江添 貴子

2 年次～ 選択 1 単位 【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

与えられた設計条件を整理し、戸建て木造住宅の計画をまとめ上げ、表現する力を身につけることを目的とする。2つの設計実習課題を通して、それぞれの住宅に求められる機能や、居住者構成員のライフスタイルや物の大きさ・配置と空間との関わり、さらに周辺環境との関係性を理解することが必要である。木造住宅の基本的な構造と製図法を修得するだけでなく、住居学の学びを活かした総合的なデザイン能力を養い、設計製図、建築設計に進むための基礎となる科目である。

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP5

## 到達目標

- ①木造一戸建て住宅の基本的な製図方法を修得する。
- ②課題の与条件を読み解き、計画案をまとめ表現する力を養う。

## 授業計画

住宅の図面の製図方法を確認した上で、2つの実習課題（木造住宅）に取り組む。

- 1. 図面の読み方・描き方の基礎
- 2. 木造住宅図面の描き方の練習
- 3. 住居設計課題①「木造平屋建ての住宅」の条件設定（第1日）
- 4. 住居設計課題①のエスキース
- 5. 住居設計課題①の作図1：平面図
- 6. 住居設計課題①のエスキース（第2日）
- 7. 住居設計課題①の作図2：立面図・断面図
- 8. 住居設計課題①の発表・講評（第3日）
- 9. 住居設計課題②「店舗併用住宅」（木造2階建て）の与条件提示
- 10. 住居設計課題②のエスキース（第4日）
- 11. 住居設計課題②の作図1：平面図・配置図
- 12. 住居設計課題②の解説：基礎伏図・床伏図・小屋伏図・仕上表
- 13. 住居設計課題②のエスキース（第5日）
- 14. 住居設計課題②の作図3：立面図・断面図
- 15. 住居設計課題②の発表・講評（第6日）

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

受講前に必ず教科書を一読し、住宅設計に必要な基本的事項を確認しておく。授業時間内の実習をスムーズに進めるため、1回の授業につき最低1時間、次の授業の準備にあてること。

- ②使用教科書 新しい建築の製図 新しい建築の製図編集委員会編 学芸出版社 2005 年  
その他必要に応じてプリントを配付する。

- ③参考書 ①建築設計教室 新訂二版 建築設計教育研究会編 彰国社 2001 年  
②改訂版 名作住宅で学ぶ建築製図 藤木庸介編 学芸出版社 2020 年  
③階段がわかる本 中山繁信・長沖充著 彰国社 2010 年  
④コンパクト建築設計資料集成＜住居＞ 日本建築学会編 丸善出版 2006 年 他適宜授業の際に紹介する。

- ④準備するもの 製図用シャープペン（0.5mm、HB 程度）、消しゴム、スティール製巻尺（コンバックス等）、ケント紙（初回授業時に A2 サイズを 1 枚）、エスキース用紙（方眼ノートやコピー用紙も可。A4～A3 サイズ）、その他、必要な物があれば事前に連絡する。

- ⑤成績評価 課題①と②への取り組み状況と製図作品と発表内容で評価する。

- ⑥学生へのメッセージ 「住居製図」修得後の履修とする。

- ⑦追試験 対象外科目

特記事項：受講者数を 30 名までとする

## 住居設計Ⅰ（後期土曜スクーリング）

担当教員： 谷口 麻里子

2 年次～ 選択 1 単位 【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

与えられた設計条件を整理し、戸建て木造住宅の計画をまとめ上げ、表現する力を身につけることを目的とする。2つの設計実習課題を通して、それぞれの住宅に求められる機能や、居住者構成員のライフスタイルや物の大きさ・配置と空間との関わり、さらに周辺環境との関係性を理解することが必要である。木造住宅の基本的な構造と製図法を修得するだけでなく、住居学の学びを活かした総合的なデザイン能力を養い、設計製図、建築設計に進むための基礎となる科目である。

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP5

## 到達目標

- ①木造一戸建て住宅の基本的な製図方法を修得する。
- ②課題の与条件を読み解き、計画案をまとめ表現する力を養う。

## 授業計画

住宅の図面の製図方法を確認した上で、2つの実習課題（木造住宅）に取り組む。

- 1. 図面の読み方・描き方の基礎
- 2. 木造住宅図面の描き方の練習
- 3. 住居設計課題①「木造平屋建ての住宅」の条件設定 (第1日)
- 4. 住居設計課題①のエスキース
- 5. 住居設計課題①の作図1：平面図
- 6. 住居設計課題①のエスキース (第2日)
- 7. 住居設計課題①の作図2：立面図・断面図
- 8. 住居設計課題①の発表・講評 (第3日)
- 9. 住居設計課題②「店舗併用住宅」（木造2階建て）の与条件提示
- 10. 住居設計課題②のエスキース (第4日)
- 11. 住居設計課題②の作図1：平面図・配置図
- 12. 住居設計課題②の解説：基礎伏図・床伏図・小屋伏図・仕上表
- 13. 住居設計課題②のエスキース (第5日)
- 14. 住居設計課題②の作図3：立面図・断面図
- 15. 住居設計課題②の発表・講評 (第6日)

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

受講前に必ず教科書を一読し、住宅設計に必要な基本的事項を確認しておく。授業時間内の実習をスムーズに進めるため、1回の授業につき最低1時間、次の授業の準備にあてること。

- ②使用教科書 新しい建築の製図 「新しい建築の製図」編集委員会編 学芸出版社 2005 年  
その他必要に応じてプリントを配付する。

- ③参考書 ①建築設計教室 新訂二版 建築設計教育研究会編 彰国社 2001 年  
②改訂版 名作住宅で学ぶ建築製図 藤木庸介編 学芸出版社 2020 年  
③階段がわかる本 中山繁信・長沖充著 彰国社 2010 年  
④コンパクト建築設計資料集成＜住居＞ 日本建築学会編 丸善出版 2006 年 他適宜授業の際に紹介する。

- ④準備するもの 製図用シャープペン（0.5mm、HB 程度）、消しゴム、スティール製巻尺（コンベックス等）、ケント紙（初回授業時にA2 サイズを1枚）、エスキース用紙（方眼ノートやコピー用紙も可。A4～A3 サイズ）、その他、必要な物があれば事前に連絡する。

- ⑤成績評価 課題①と②への取り組み状況と製図作品と発表内容で評価する。

- ⑥学生へのメッセージ 「住居製図」習得後の履修とする。

- ⑦追試験 対象外科目

特記事項：受講者数を30名までとする

## 住居設計Ⅱ（テキスト）

担当教員： 江添 貴子

3年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

## 概要

与えられた設計条件を整理し、発展的に理解し、自らのアイデアを練って、木造および鉄筋コンクリート造の住宅の計画をまとめ上げ、表現する力を身につけることを目的とする。2つの小規模集合住宅の設計実習課題を通して、プログラムに即した配置計画、内部の空間構成、および、その建築と周辺環境や都市との関係を考慮し、創造的にデザインする。

## 授業の方法

【印刷教材等】印刷教材等 + エスキス（作品提出に対する添削）式授業

## 学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP5

## 到達目標

- ①木造、鉄筋コンクリート造、それぞれの構造的な特性と空間の関連を理解する。
- ②課題のプログラムを発展的に理解し、計画案をまとめ表現する力を養う。

## 学習の進め方

課題要件やねらいから課題の意図を汲み取り、コンセプトを練る。  
テキストから、それぞれの構造の特質を理解して、コンセプトに照らし合わせながら設計する。また、参考事例を収集し、設計の参考とする。

## 内容

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 住居設計課題①「二世帯のための住まい」    | 9. 住居設計課題②課題の理解・事例収集       |
| 2. 住居設計課題①課題の理解・事例収集      | 10. 住居設計課題②与条件の整理とプログラムの設定 |
| 3. 住居設計課題①与条件の整理とプログラムの設定 | 11. 住居設計課題②配置計画のスタディ       |
| 4. 住居設計課題①配置計画のスタディ       | 12. 住居設計課題②平面図・断面図のスタディ    |
| 5. 住居設計課題①平面図・断面図のスタディ    | 13. 住居設計課題②立面図のスタディ        |
| 6. 住居設計課題①立面図のスタディ        | 14. 住居設計課題②プレゼンテーション図面の作成1 |
| 7. 住居設計課題①プレゼンテーション図面の作成  | 15. 住居設計課題②プレゼンテーション図面の作成2 |
| 8. 住居設計課題②「RCの小規模集合住宅」    |                            |

## テキスト・参考書

①テキスト 建築デザイン製図 松本正富 編著 学芸出版社 2018

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 ①新しい建築の製図 新しい建築の製図編集委員会編 学芸出版 2005年  
②建築設計教室 新訂2版 建築設計教育研究会編 彰国社 2001年  
③改訂版名作住宅で学ぶ建築製図、藤木庸介編、学芸出版社 2020年  
④コンパクト建築設計資料集成＜住居＞、日本建築学会編 丸善出版 2006年

## 成績評価

- ①レポート 課題①、②の成果物について、課題への理解度、適切な構造計画、プレゼンテーションの完成度の点から評価する。  
②科目修了試験 科目修了試験として課す問題への理解度、適切な構造計画、プレゼンテーションの完成度の点から評価する。

## その他

スクーリング科目「住居製図」修得後の履修とする。また、スクーリング科目「住居設計Ⅰ」を修得後の履修が望ましい。

# コンピュータデザイン (テキスト)

担当教員： 佐藤 克志

3年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

建築設計業務において CAD (Computer Aided Design) はなくてはならないツール／システムとなっている。本科目ではその CAD システムについて基本的な知識と使い方について学習する。本科目の演習用ソフトとして Jw\_cad (フリーソフト) を使用する。

## 授業の方法

【印刷教材等】

印刷物 (テキスト及び学習の手引き) を学習しながら、CAD ソフト (Jw\_cad) を用いて建築設計図を描く。

## 学位授与方針との関係

生芸DP5

## 到達目標

- ①建築製図の基本と CAD の基本知識を習得する。
- ②CAD の作図機能を理解し、建築図面の作図要素を描画、編集することができる。
- ③CAD を用いて適切に建築の図面を表現できる。

## 学習の進め方

「学習の手引」には本科目の学習内容とテキストの対応箇所及び該当部分の補足／注意事項が示されている。確認しながら学習を進めること。レポート課題 1 は授業内容 1～9 を、レポート課題 2 は授業内容 10～13 についてテキストを参考に学習し、内容を充分理解した上でとりかかること。

レポート合格後の科目修了試験受験に向けては、建築図面を作図する際の基本ルール、CAD ソフト (JW\_CAD) を用いた作図方法等をおさらいしておくこと。

## 内容

1. 建築製図の基本 (建築図面の種類、建築製図の基礎知識)
2. Jw\_cad の操作 1 (起動、終了、画面構成、ツールバーの設定)
3. Jw\_cad の操作 2 (図面の新規作成、保存、作図操作の取り消し・やり直し、画面の拡大・縮小・移動)
4. Jw\_cad の操作 3 (マウスによる任意点・読取点の指示、図面ファイルの基本設定、レイヤの概念と操作、図形の選択・選択解除)
5. 作図操作 1 (線の作図)
6. 作図操作 2 (線の消去、編集)
7. 作図操作 3 (矩形の作図と編集)
8. 作図操作 4 (円・円弧の作図と編集)
9. 作図操作 5 (文字の記入と編集、寸法の記入と編集)
10. 建築図面の作図準備 1 (用紙サイズ、縮尺、レイヤとレイヤグループの設定、図面ファイルの印刷)
11. 同 2 (図形属性の設定と変更、印刷時の線の太さ、形状の設定)
12. 平面図の作図 1 (基準線、柱、開口部、壁を描く)
13. 平面図の作図 2 (設備機器、家具、仕上げ、室名、寸法の記入)
14. 集合住宅住戸の設計・作図 1 (レポート課題 2 に関する実習)
15. 集合住宅住戸の設計・作図 2 (レポート課題 2 に関する実習)

## テキスト・参考書

①テキスト Jw\_cad で学ぶ建築製図の基本・Jw\_cad8 対応版 櫻井 良明 2017 エクスナレッジ、学習の手引

テキスト一覧 (『履修の手引』に掲載) を必ず参照のこと。

②参考書 Jw\_cad の解説や使い方を紹介しているホームページは多数あるのでそれらを参考にしても良い。Jw\_cad の最新バージョンは Jw\_cad 8 であるが Jw\_cad 7 を対象とした解説書も参考にできる。

## 成績評価

---

①リポート リポート課題は達成目標②③について、ねらい・アドバイスに答えているかで評価する。

②科目修了試験 3つの到達目標のうち、①②に関する知識問題を出題するので、Jw\_cadの使い方等についておさらいをしておくこと。最終成績はリポート課題（70%）と科目修了試験（30%）の総合得点で評価する。

## その他

---

Jw\_cad 以外の CAD で作成した課題の提出は原則として認めない。どうしても Jw\_cad 以外の CAD で課題を行いたい場合は「学習の手引-1」 p. 1 の指示に従うこと。

スクーリング科目「住居製図」修得後の履修が望ましい。

インテリアデザイン演習（夏期スクーリング）

担当教員： 水越 美枝子

3 年次～ 選択 2 単位 【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

概要

住宅の室内設計について、基本的な考え方やインテリアの演出方法を学ぶ。演習は自分の家のリフォーム設計をする。住まいの中に自分らしい暮らしを投影させた、アクティビティーの高い空間づくりに取り組む。建築家・キッチンスペシャリストとしての実践に基づいた授業を行う。

授業の方法

【面接】

第 1 日目は教科書を使った座学を行い、各自課題案のコンセプトを考える。第 2 日目は講師が設計した住宅を見学する。第 3 日目以降は製図版に向かい設計を進める。スケッチ段階では講師による対面指導を受ける。第 6 日目は設計図を掲示して発表する。

学位授与方針との関係

生芸DP2 生芸DP5

到達目標

- ①室内設計についての基礎的な知識を得る。
- ②自己と向き合い、住まいに投影するテーマ（どんなふうに暮らしたいか）を見つける。
- ③テーマを具現化できるようなプランニングをする。
- ④プラン自体に住まいとしての整合性をはかる。

授業計画

|                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 第 1 日                 | 第 4 日                      |
| 1. 講義「室内設計の基礎知識」      | 8. 演習 課題案のプランニング（図面の描き方）   |
| 2. 講義「インテリアの基礎知識」     | 9. 演習 課題案のプランニング（ゾーニング）    |
| 3. 課題説明と講義「コンセプトの作り方」 | 第 5 日                      |
| 第 2 日                 | 10. 演習 課題案のプランニング（動線計画）    |
| 4. 見学(1) 講師の設計した住宅    | 11. 演習 課題案のプランニング（収納計画）    |
| 5. 見学(2) 事前課題の発表①     | 12. 演習 課題案のプランニング（インテリア計画） |
| 6. 見学(3) 事前課題の発表②     | 第 6 日                      |
| 第 3 日                 | 13. 作品のプレゼンテーション           |
| 7. 課題案のコンセプト作成        | 14. 作品の講評                  |
|                       | 15. 講義「今後の勉強の進め方」          |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

水廻りメーカー（TOTO、LIXIL、トクラス、パナソニック等）のショールームに足を運び、キッチン・浴室・洗面所の商品知識を得る。ショールームは予約をして、必ずアドバイザーからの説明を受けカタログを持ち帰ること。課題ではカタログを使用するため、授業までに一通り目を通しておく。必要時間 4 時間程度

事前課題

教科書を通読したうえで、教科書を参考に、自分が好むインテリア空間の写真またはカラーコピーを 20 点以上選び各写真についての感想を記入した「インテリアノート」を作成して第 2 日目に提出する。写真はインスタグラム等からの転写は不可とする。必要時間数 5～6 時間程度

②使用教科書 「いつまでも美しく暮らす住まいのルール」 水越美枝子（株）エクスナレッジ （2023 年改訂版）

③参考書 「美しく暮らす住まいの条件」 水越美枝子（株）エクスナレッジ （2019 年）  
「間取りの正解」 水越美枝子（株）エクスナレッジ （2024 年）

④持参するもの 0.9mm のシャープペンまたは B の鉛筆、字消し板、消しゴム

⑤成績評価 事前課題の成果 50％ 授業参加・課題作品の発表 50％ で評価する。

⑥学生へのメッセージ 登録時に「住居製図」を必ず修得済みであること。教科書を通読し、日常生活の中で「科学的に住まうこと」や、「居心地の良い住空間」について自分なりに考える習慣を身につけておいてほしい。

⑦追試験 対象外科目

特記事項：受講者数を 30 名までとする

# 力と形（テキスト）

担当教員： 小久保 彰

1 年次～ 選択 2 単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

住宅を含め建物を新たに構築するには、その構造を安全かつ経済的に設計する必要がある。建物はどのように地震や台風などの力（外乱）に耐えているのか？ 安全な建物にするには、それら外から作用する力に対してどのような形や構造にしたらいのか？ これらの疑問について学習したい。

本科目は、机上における簡易な実験を通して建築構造のメカニズムを「体験」しながら、「力のつりあいと変形」、「力を支える構造物のかたち」について分析調査し、学習することでこれらに関する理解を深める。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP2

## 到達目標

- ①「力のつりあいと変形」に関する実験を実施し、結果を評価・理解する
- ②「力を支える構造のかたち」に関する実験を実施し、結果を評価・理解する
- ③住宅を安全に構成する上で、留意すべき力の作用や形の構築システムについて理解する

## 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→レポート課題を確認して実験を行い、その過程や結果についてレポートにビジュアルに表現できるよう、写真などで記録をとりながら進める。また、テキストの解説、その他参考書などを幅広く学習し、実験結果の理解を深め、実験結果などを中心にレポートをまとめ、提出する。

## 内容

1. 力を（身体で）感じよう
2. かたちをつくって試してみよう
3. 力の種類とその効果
4. 力の釣合いー建物を安全に保つためにー
5. 建物に作用する力とその挙動
6. 力によって部材はどうか
7. 座屈って何？ー棒材の座屈ー
8. 梁を曲げてみようー単純梁のしくみー
9. ラーメンに壁が付くとー耐力壁付きラーメンー
10. 糸を垂らしてみようーケーブル構造のしくみー
11. ものを積み上げてみようーアーチ構造のしくみー
12. 引張・圧縮だけで作ってみようートラス構造のしくみー
13. 膜で作ってみようー膜構造のしくみー
14. 不安定と崩壊ー建物を壊さないためにー
15. 実験の実施およびレポートの作成：上記テキスト各章を熟読した後に、レポート課題の指示に従い、テキストの選択した実験の内容について再度熟読、そのねらいを理解したうえで、テキストに沿って実験を実施し、レポートを作成する。

## テキスト・参考書

①テキスト 構造入門教材 はじめてまなぶ ちからとかたち 日本建築学会 2012、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 テキスト巻末の「参考になる図書」を参照

構造入門教材 絵でみる ちからとかたち 日本建築学会 2013

## 成績評価

---

### ①リポート

各課題とも、概ね次のポイントと重みで評価する。

課題の理解 10%、実験の実施状況 20%、実験結果の評価と理解 40%、課題のねらいに対する全般的な理解 30%

### ②科目修了試験

解答の記述内容に対して、習得した知識の正誤（50%）、理解の深さ（20%）、説明の論理性（30%）をポイントに評価する。

## その他

---

まずは手を動かして、テキスト、参考書に書かれているポイントを理解して実験を進めるのがよい。

## 住居構造（前期土曜スクーリング）

担当教員： 江尻 憲泰

1 年次～ 選択必修 2 単位 【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

建築構造は基礎構造と上部構造に大別できる。基礎構造は建物を支える重要な構造であり、基礎の形式は建物の支持方式や形状、材料、施工法により多くの種類がある。また、上部構造として、木造、鉄筋コンクリート(RC)造、鉄骨(S)造が多く用いられるが、使用材料や架構形式により様々な特徴を有する構造形式があり、住居構造を考えるうえで重要な、多種多様な構造について、実例や教科書に基づき理解する。住居構造は大きな建築構造の原点でもあり大きな構造の事例等、住居構造以外についても折に触れて紹介する。

## 授業の方法

【同時双方向型（manaba、Zoom 利用）、面接】：1 日目～5 日目 Zoom のち manaba、6 日目面接授業及び manaba

## 学位授与方針との関係

生芸DP1

## 到達目標

- ①建築構造を構成する基礎構造と上部構造について、それぞれの形式の種類と特徴を理解する。
- ②実際の建築物を観察し、各構造の形式について考察できる。

## 授業計画

|                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| 第 1 日                   | 第 4 日                         |
| 1. 建築構造の概要              | 10. S 造(1) 鋼材の性質              |
| 2. 木造(1) 木材の性質          | 11. S 造(2) 高力ボルト接合・ボルト接合・溶接   |
| 3. 木造(2) 在来軸組工法・枠組工法    | 第 5 日                         |
| 第 2 日                   | 12. S 造(3) その特徴と構造形式          |
| 4. 木造(3) 実例の紹介          | 13. S 造(4) 実例の紹介              |
| 5. 木造(4) 最近の木造          | 第 6 日                         |
| 6. RC 造(1) 鉄筋とコンクリートの性質 | 14. 地盤・基礎                     |
| 第 3 日                   | 15. 様々な構造                     |
| 7. RC 造(2) その特徴・原理と構造形式 |                               |
| 8. RC 造(3) 構造計画         | 各回共通                          |
| 9. RC 造(4) 実例の紹介        | manaba にて小テストまたはレポート、質問は掲示板にて |
|                         | Zoom にて同時双方向型授業、最終日のみ面接授業     |

## 受講にあたって

## ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前に教科書を一読しておくこと（各回 1 時間程度）。

②使用教科書 改訂版 初めての建築一般構造〈建築のテキスト〉編集委員会編 学芸出版社 2018  
(適宜、Teams にて資料を配布する。)

- ③参考書 ①構造用教材 日本建築学会 2014  
②構造入門教材 はじめてまなぶ ちからとかたち 日本建築学会 2003  
③図解でよく分かる建築構造入門 江尻憲泰 エックスナレッジ 2021

## ④準備するもの 筆記用具

⑤成績評価 各回的小テストとレポートを総合して評価する。満点を 100 点とし、合計点数で評価する。評価項目は、習得した知識に関する理解度と正確性、記述の明瞭性である。

## ⑥追試験 対象外科目

## 構造力学（後期土曜スクーリング）

担当教員：三原 悠子

2 年次～ 選択 2 単位 【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

建築物には、建築物自身の重さや使用する人・物の重さ、風、地震などの様々な外力が生じる。これら外力に対して、建築物が過大に変形したり倒壊したりせずに、安全を保つように計画・検討するのが構造設計である。構造設計では、建築構造を構成する骨組の材料や形式、部材断面を決定するが、その基本となるのが構造力学である。建築構造設計を行ううえでの基本となる構造力学について理解する。

## 授業の方法

【同時双方向型（manaba、Zoom 利用）】

## 学位授与方針との関係

生芸DP2

## 到達目標

- ①力のつり合い条件について理解し、静定構造物を解く（反力や内力を求める）ことができる。
- ②外力の作用により部材に生じる「変形」と「内力」、これらに影響を与える「断面の性質（断面の形が持つ力学的特性）」に関する内容について理解する。

## 授業計画

1. 構造力学の概要(pp. 6～25)
2. 力 表し方・三要素・モーメント・合成と分解(pp. 26～39)
3. 構造物 荷重・反力(pp. 40～53) (第1日：Zoom のち manaba)
4. 静定梁(1)片持ち梁の応力(pp. 54～64)
5. 静定梁(2)単純梁の応力(pp. 65～73)
6. 静定ラーメン(1) ラーメンの応力(pp. 74～80)
7. 静定ラーメン(2) ヒンジ系構造物の応力(pp. 80～83) (第2日：Zoom のち manaba)
8. 静定トラス(1) トラスについて (pp. 84～90)
9. 静定トラス(2) 図式解法(pp. 91～97)
10. 静定トラス(3) 算式解法 (pp. 98～105) (第3日：Zoom のち manaba)
11. 断面の力学的特性(1) 断面一次・二次モーメント(pp. 106～114)
12. 断面の力学的特性(2) 断面係数、断面二次半径(pp. 115～123)
13. ひずみ度と応力度、弾性係数(pp. 124～135) (第4日：Zoom のち manaba)
14. 部材の設計 許容応力度、引張材・圧縮材(pp. 146～161) (第5日：Zoom のち manaba)
15. 梁のたわみ、たわみ角、不静定構造物(pp. 170～191) (第6日：Zoom のち manaba)

## 受講にあたって

- ① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 高校の数学（三角関数、微積分等）・物理（運動方程式等）の復習  
事前課題 教科書第1章全体、第2章 図2.19, 2.20(三角関数)の予習を行うこと
  - ② 使用教科書 改訂版 初めての建築構造力学 <建築のテキスト>編集委員会編 学芸出版社 2014
  - ③ 参考書 ①構造用教材 日本建築学会 2014 ②構造入門教材 はじめてまなぶ ちからとかたち 日本建築学会 2003
  - ④ 持参（準備）するもの 筆記用具、関数電卓
  - ⑤ 成績評価 ①レポート 毎授業後に課題に取り組み、レポートとして提出する。  
レポートは、各回授業内容への理解を確認する問題を出題し、回答する形式とする。  
理解度を60%、計算の正確性を30%、レポートの完成度を10%として評価する。
  - ⑥ 学生へのメッセージ なし
  - ⑦ 追試験 対象外科目
- 特記事項 集中講座の短期間に理解を深めるため、事前課題に記載した予習を十分行って下さい。

# 建築・インテリア材料（テキスト）

担当教員： 永井 香織

2年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025年度

## 概要

設計された建物を実現させるためには、建物を構成する様々な材料特性を理解する必要がある。各種建築材料は、建物を構成する建築構造材料や、建物を守る仕上材料などの建築材料、室内空間を構成するインテリア材料などに分類される。これらの材料は、使用する居室や部位などに合わせた要求性能を考慮し、選定されている。建築・インテリア材料を構成している各種材料の特性を理解し、適材・適所に選択する能力を養うことを目的とする。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP2

## 到達目標

- ①各種建築・インテリア材料の基礎的特徴・性質を理解する。
- ②建物の各部位に合わせた要求性能と材料選定の仕方を身につける。
- ③人間の五感と各種材料の関係を理解し、インテリアの材料設計を習得する。

## 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める→章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる→レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習する。

## 内容

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 建物を構成する各種材料        | 9. 防水材料の性質と使い方    |
| 2. 木材の性質と使い方          | 10. 壁装材料の性質と使い方   |
| 3. コンクリート・モルタルの性質と使い方 | 11. ガラスの性質と使い方    |
| 4. 金属材料の性質と使い方        | 12. 地球環境とエコマテリアル  |
| 5. 石材の性質と使い方          | 13. 屋根・外壁の要求性能と材料 |
| 6. 窯業材料の性質と使い方        | 14. 内装空間の要求性能と材料  |
| 7. 左官材料の性質と使い方        | 15. 各種材料と五感       |
| 8. 塗料・仕上塗材の性質と使い方     |                   |

## テキスト・参考書

①テキスト 最新建築材料学：松井勇・出村克宣・湯浅昇・中田善久，井上書院，2020. 3. 20

②参考書 建物解剖学：建物解剖学研究会，井上書院，2014. 6. 10  
ニッポンの建築素材：日本建築士会連合会・編，吉備人出版，2009. 12. 25

## 成績評価

- ①レポート 各課題に対する理解度 50%、課題の理解に基づく考察力・応用力 50%として評価する。
- ②科目修了試験 各種材料特性の理解度、建物の各部位の要求性能に適合させた材料設計によって評価する。

## その他

自分の身近な建築、インテリア材料を観察し、どのように使われてどんな状態であるかを観察することを勧める。

## 建築施工（前期土曜スクーリング）

担当教員： 鈴木 陽子

3年次～ 選択2単位 【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025年度

## 概要

設計図書に示された意匠・仕様・性能を、品質や耐久性などを確保して実際につくり上げるには、材料の特性を理解した上で、どのような手順でどのように組み立てるかを考え、それを確実に遂行しなければならない。本科目では、木造・鉄筋コンクリート造などの構法ごとに、着工準備から竣工までの一連の流れに沿って、各種建築工事の概要を学習し、基本的な施工法に関わる知識と技術力を習得する。

## 授業の方法

【同時双方向型（manaba、Zoom利用）、動画視聴型（manaba利用）、面接】  
同時双方向型遠隔授業（manaba、Zoom等利用）、動画視聴型遠隔授業（manaba利用）及び対面授業を行う。  
※授業計画を参照のこと

## 学位授与方針との関係

生芸DP2

## 到達目標

- ①建築施工に関する基本的な知識を、他の科目（構造や材料など）と関連付けて理解する。
- ②基本的な施工法についてその意味と根拠から理解し、ものづくりに柔軟に対応できる力を養う。

## 授業計画

|                             |                               |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 第1日：ガイダンス Zoom のち manaba    | 第4日：manaba                    |
| 1. 建築施工現場のあらし               | 8. 鉄筋コンクリート造 (1)施工の3段階～基礎工事   |
| 2. 木造在来軸組工法 (1)施工の3段階～基礎工事  | 9. 鉄筋コンクリート造 (2)1階建入れ～外装工事    |
|                             | 10. 各種工事の基本 (2)型枠・鉄筋・コンクリート工事 |
| 第2日：manaba                  |                               |
| 3. 木造在来軸組工法 (2)木材加工～プレカット加工 | 第5日：manaba                    |
| 4. 木造在来軸組工法 (3)屋根工事～検査・引き渡し | 11. 鉄骨造 (1)施工の3段階～鉄骨工事        |
| 5. 各種工事の基本 (1)木工事           | 12. 鉄骨造 (2)床スラブ工事～その他の工事      |
|                             | 13. 各種工事の基本(3)鉄骨・仮設・土・防水・仕上工事 |
| 第3日：manaba                  |                               |
| 6. 枠組壁工法 (1)施工の3段階～小屋組工事    | 第6日：面接                        |
| 7. 枠組壁工法 (2)屋根工事～工業化住宅のあらし  | 14. レポートの発表                   |
|                             | 15. まとめ                       |

## 受講にあたって

## ① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

建築施工の専門用語が多くでてくるので、何がどこに関連することなのかを把握するため、事前に教科書を一読しておくこと（各回1時間程度）。

事前課題 なし

## ② 使用教科書 初めての建築施工 改訂版 〈建築のテキスト〉編集委員会編 学芸出版社 2014

## ③ 参考書

- ① 図解 建築工事の進め方 木造住宅 新版 深尾精一・福本雅嗣・栗田紀之編 市ヶ谷出版社 2002
- ② 図解 建築工事の進め方 鉄筋コンクリート造 新版 内田祥哉・深尾精一監修 市ヶ谷出版社 2006
- ③ 図解 建築工事の進め方 鉄骨造 新版 藤本盛久・大野隆司監修 市ヶ谷出版社 2006
- ④ 建築大辞典 第2版 彰国社編 彰国社 1993

## ④ 持参するもの 筆記用具

## ⑤ 成績評価 各回の提出物60%、レポート40%で評価する。レポートの出題は初回ガイダンス Zoom で行う。リサーチ結果をまとめたレポートを授業最終日に発表する。

## ⑥ 追試験 対象外科目

## 住居学特講（夏期スクーリング）

担当教員：井本 佐保里

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2025年度

## 概要

建築が社会課題にどのように寄与することができるのかを講義を通して考えていきたい。[パート1]子ども施設では、すまいの中から外部化されていった子育てや学習の場をどのように計画することができるのかを考える。次に[パート2]途上国では、貧困地域における住まいや子どもを取り巻く環境や、災害後の復興について考える。最後[パート3]災害復興では、近年の国内における災害を対象とし、その後どのような施策の下に住まいの再建が行われたのか、またそれにより地域住民はどのような影響を受けたのかについて考える。

## 授業の方法

【動画視聴型遠隔授業（manaba利用）】

## 学位授与方針との関係

生芸DP3 生芸DP4

## 到達目標

- ① 社会課題に対して、建築や都市空間がどのように寄与することができるのかについて自分の考えを持つ。
- ② 都市や建築の専門家が、社会課題に対してどのように職能を発揮すべきなのかについて自分の考えを持つ。

## 授業計画

[ガイダンス]

## ①ガイダンス

[パート1]施設計画

- ②保育園／幼稚園／子ども園の計画と設計
- ③児童養護施設の計画と設計
- ④学校の計画と設計
- ⑤高齢者施設の計画
- ⑥障害者施設の計画
- ⑦脱施設へ

[パート2]途上国

- ⑧ ケニア・インフォーマル市街地の学校
- ⑨ ケニア・農村部の学校
- ⑩ 難民キャンプの居住環境

[パート3]災害復興

- ⑪ 東日本大震災と仮設住宅
- ⑫ 災害と人々の住まいの再建（福島編）
- ⑬ 学校の再編（福島編）
- ⑭ 復興の境界
- ⑮ 災害と人々の住まいの再建（伊豆大島編）

## 受講にあたって

## ① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

受講にあたって、授業内容に関連する図書を読むなど情報収集をしておいてください。5時間程度必要となります。

## 事前課題

Manaba で掲示します。

## ② 使用教科書

なし

③ 参考書

- ・保育環境のデザイン - 子どもの最善の利益のための環境構成, 定行まり子, 全国社会福祉協議会, 2014
- ・アジア・アフリカの都市コミュニティ, 城所哲夫/志摩憲寿, 学芸出版社, 2015
- ・復興デザインスタジオ-災害復興の提案と実践, 東京大学復興デザイン研究体, 東京大学出版会, 2017

④ 持参(準備)するもの

- ・特になし

⑤ 成績評価

- ・毎回のレポート

⑥ 学生へのメッセージ

関連する書籍や、ニュースについて常にアンテナを張って知るようにしてください。社会と建築を横断しながら考えていくことに意識的になってみてください。

⑦ 追試験

対象外科目

## 児童学概論（テキスト）

担当教員：尾上 佳代

1年次～ 選択2単位

テキスト科目／2025年度

## 概要

本科目は、子どもに関する広い領域を対象とする学際的な学問である「児童学」の根幹をなす、「児童」「子ども」とは何か？という問いを自明視することなく、知見を深めていく。広い意味での環境から不断の影響を受けて存在する「子ども」について、多面的に探究しながら学習を進める。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸 DP 1 食物 DP 1 食科 DP 1

## 到達目標

「子ども」に関するこれまでの思い込み、偏見から脱却し、「子ども」に対する知見をより深めることを到達目標とする。

## 学習の進め方

1. テキストを1回通して読み、全編を通して著者の言わんとすることを理解する。
2. 各章毎にあげてある参考文献に当たり、理解を深める。
3. リポート課題を良く読み、関係する箇所のテキスト・参考文献を改めて学習する。
4. リポートの下書きをして、テキスト・参考文献との整合性等を確認した後、提出用リポートを作成する。
5. リポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。リポート不合格の場合は添削者のコメントやアドバイスを吟味し、改めてテキストを学習し、参考文献に当たった上で再提出する。

## 内容

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 『<子供>の誕生』第1部 子供期へのまなざし  | 9. 「条約」になるまで           |
| 2. 『<子供>の誕生』第2部 学校での生活     | 10. 「子どもの権利条約」         |
| 3. 『<子供>の誕生』第3部 家族         | 11. 20世紀の3つの「児童憲章」のまとめ |
| 4. アリエスの功績                 | 12. 人間に生命の質を選ぶ力はあるか    |
| 5. 子ども期の発明                 | 13. 母親の心音で赤ちゃんは安心するか   |
| 6. 子ども期の消滅                 | 14. 「ひとりっ子」って問題？       |
| 7. 「子どもの権利に関する宣言」（ジュネーブ宣言） | 15. 幼児期における一人遊びの重要性    |
| 8. 「子どもの権利宣言」              |                        |

## テキスト・参考書

①テキスト <子ども>考ー児童学概論ー 高井-川上清子 日本女子大学通信教育課程 2001

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 テキストの各章末に記載してある引用文献・参考文献を参照。

## 成績評価

- ①リポート 「ねらい」「アドバイス」の活用を充分に行い、課題の理解、リポートとしての完成度の観点から評価する。
- ②科目修了試験 論述形式の問題を呈示する。テキストをしっかり読み理解しているかを基本とし、論理性、独自性を評価する。

## その他

テキスト科目は「テキストを読むこと」を大前提として、著者の意図をしっかりと踏まえた上で、クリティカル・シンキングを用いて論考を進めることを心がけて学習していただきたい。

# 食物学概論（テキスト）

担当教員：中川 裕子

1 年次～ 選択 2 単位

テキスト科目／2025 年度

## 概要

わたしたちは、毎日の食事から栄養成分を摂取することで、生命を保ち、生活活動を営んでいる。それゆえ毎日の食事の内容は、健康と深いかわりをもつ。本科目では、健康で豊かな食生活を営むための食物全般の基礎的・基本的な知識を学び、科学技術の進歩や情報化の進展に対応できる力を身につける。

## 授業の方法

【印刷教材等】

### 学位授与方針との関係

生芸DP1 食物DP1 食科DP1

## 到達目標

1. 栄養、食品、調理といった食物学全般の基礎知識を学習して健康と食事のかかわりを理解する。
2. 健康を考えた賢い食生活を実践するように指導できる。

## 学習の進め方

1. テキストの章ごとに学習を進める。難解な部分は、参考文献を参照する。
2. リポートの課題を確認し、アドバイスにも注目して課題に沿ったリポートを作成する。
3. 科目修了試験に向け、基礎的な知識を正確に覚える。食品成分表の資料編など食物領域に関しての記載がまとまっている参考文献を活用すると良い。食生活全般の知識の習得に努める。
4. 家庭科の免許取得を目指している場合は、中学・高校の家庭科の食生活分野の領域を見て学習すべき内容を把握する。

## 内容

- |                                                      |                                              |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1. 第1章 栄養に関する基礎知識＜栄養素の役割・炭水化物・脂質・たんぱく質＞              | 8. 第3章 日本の食生活の変遷＜日本型食生活・欧米型食生活＞              |
| 2. 第1章 栄養に関する基礎知識＜ミネラル・ビタミン・水分＞                      | 9. 第3章 日本の食生活の変遷＜食生活の現状＞                     |
| 3. 第1章 栄養に関する基礎知識＜栄養素の消化・吸収と代謝＞                      | 10. 第3章 日本の食生活の変遷＜食生活の改善＞                    |
| 4. 第2章 健やかな食生活を営むための基礎知識＜食事摂取基準・健康づくり・献立作成＞          | 11. 第4章 ライフステージと食生活＜妊娠期・授乳期、乳児期、幼児期、学童期、思春期＞ |
| 5. 第2章 健やかな食生活を営むための基礎知識＜食品の表示とその購入：食品表示の必要性～栄養成分表示＞ | 12. 第4章 ライフステージと食生活＜成人期・高齢期＞                 |
| 6. 第2章 健やかな食生活を営むための基礎知識＜食品の表示とその購入：食品添加物～放射性物質＞     | 13. 第5章 食事と生活習慣病＜メタボリックシンドローム、肥満症、高血圧症、糖尿病＞  |
| 7. 第2章 健やかな食生活を営むための基礎知識＜調理の基本＞                      | 14. 第5章 食事と生活習慣病＜脂質異常症・動脈硬化症・骨粗鬆症＞           |
|                                                      | 15. まとめ                                      |

## テキスト・参考書

①テキスト 食生活 - 健康に暮らすために - [第4版] 市川朝子、下坂智恵編著 八千代出版株式会社 2025、学習の手引き  
テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 『リポート課題集』参照

## 成績評価

①リポート 全体を100として課題の理解40%、「ねらい」「アドバイス」の活用20%、学生自身の学習効果20%、リポートとしての完成度20%として評価する。

### ②科目修了試験

配点は1問平均35点で配分し、合計点で評価する。問題を選択するよう求めている場合は、すべてに解答したときには不合格とすることがある。論述式の問題では、基礎的・基本的な知識の正確性に欠けているときには大きく減点する。

### その他

リポートは原則どおり2,000字程度を求めている。図や表を除いて文章部分で2000字程度は書いてほしい。

# 衣生活学概論（テキスト）

担当教員： 柿原 文子

1 年次～ 選択 2 単位

テキスト科目／2025 年度

## 概要

生活の中の衣服を取り上げ、衣服と生活、素材、構成、着心地、管理・染色加工、品質表示について学習し、衣生活の正しい知識を得ることにより、豊かな生活の実現を目指す。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 食物DP1 食科DP1

## 到達目標

1. 衣服と生活について、衣服の役割、変遷、類型、装いの意識について理解する。
2. 衣服の素材について、繊維、糸、布およびその性能について理解する。
3. 衣服の構成について、デザイン、設計、生産についておよび、ライフスタイルと衣服、品質表示について理解する。
4. 衣服の着心地について、衣環境と着心地について理解する。
5. 衣服の管理・染色加工について、洗濯、保管、染色、仕上げ加工について理解する。

## 学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進めた後、レポート課題を確認し、テキストおよび参考文献で改めて学習した後、下書きを作成する。レポート課題との適合性や誤字脱字等を確認した後、レポートを清書し、提出する。レポート合格の場合は科目修了試験に向けて、テキストを中心に学習する。不合格の場合は添削コメントを参考に改めてテキストを学習した後、レポートを再提出する。科目修了試験が不合格の場合は、自分の弱点を再確認し、難しかった問題、部分を中心に改めてテキスト全体を復習する。

## 内容

- |                       |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1. 衣服の始まりと役割          | 9. 衣服の購入、廃棄とリサイクル                |
| 2. 衣生活の変化             | 10. 衣服の着心地(1)衣環境、衣服と体温調節         |
| 3. 装いの意識              | 11. 衣服の着心地(2)着心地のよい衣服、環境とデザイン、機能 |
| 4. 衣服の素材(1)繊維、糸、布     | 12. 衣服の管理(1)衣服の汚れ、洗濯             |
| 5. 衣服の素材(2)性能、新しい素材   | 13. 衣服の管理(2)仕上げ、保管               |
| 6. 衣服の構成(1)衣服の製作・製造   | 14. 染色加工 精練、漂白、染色、仕上げ加工          |
| 7. 衣服の構成(2)衣服のサイズシステム | 15. 品質表示                         |
| 8. 着装行動と流行            |                                  |

## テキスト・参考書

①テキスト 衣生活論 持続可能な消費と生産 編著：山口庸子／生野晴美 アイ・ケイコーポレーション 2019

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 関係の図書（自分が読みやすい本を参考にすると良い）

## 成績評価

### ①レポート

自分自身の言葉でわかりやすく書けているかが最大のポイントです。それにより、読み手は内容を理解されているかどうかかわかります。以下の点にも注意してください。

1. レポート内容が課題に即して記述され、テキストや参考文献をそのまま書き写しているだけではなく、課題に合うようにまとめているか。
  2. 文章の読みやすさ、誤字脱字が無いかどうか。
  3. テキストや参考文献の引用の仕方が適切であるか。
- 以上を総合的に評価する。

## ②科目修了試験

1. 問題数に応じて配点を行う。
2. 評価基準は、問題として要求している内容が正確に記載されているかどうかにつき、記述内容の適切さ、理解度、説明力から総合的に評価する。
3. 1問でも無回答の場合、0点の場合、一部でも正しく無い記載がある場合は、不合格とすることもある。

## その他

---

レポートを作成するときは、勉強したことをただ記述するのではなく、それらをレポート課題に合うようにまとめる工夫が大切である。なお、テキストだけでは不十分なので、様々な文献・図書・資料を活用して勉強してください。参考文献や引用文献は必ず明記してください。

# 住居学概論（テキスト）

担当教員： 浅見 美穂

1 年次～ 選択 2 単位 【二級建築士・木造建築士】

テキスト科目／2025 年度

## 概要

生活の拠点である住居と住環境について様々な角度から学ぶ。

## 授業の方法

【印刷教材等】

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 食物DP1 食科DP1

## 到達目標

- ①住居・住環境について歴史・文化、家族・生活、工学・技術、社会と関連づけて総合的な知識を習得する。
- ②平面図の製図法を修得し、住生活向上のための基本的な知識に基づいた客観的な分析力を修得する。

## 学習の進め方

1. テキストの内容について学習する。
2. リポート課題について確認する。テキストに基づき学習するとともに必ず参考文献などの書籍をあたり、十分に理解した上で指定の用紙によりリポートを作成する。
3. リポート合格の場合は科目修了試験に向けて下記「科目修了試験による成績評価」を参考にテキスト全般について学習する。リポート不合格の場合は添削コメントを参考に改めてテキスト・参考文献をあたり、リポート再作成し提出する。
4. 科目修了試験不合格となった場合は、改めてテキスト全体を復習し、次回の科目修了試験に備える。

## 内容

- |                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 住居の歴史(1) 西洋住宅の展開         | 9. 住居の計画と設計(3) 住居の意匠       |
| 2. 住居の歴史(2) 日本住宅の伝統・近代住宅の成立 | 10. 住居の環境と設備(1) 熱・光        |
| 3. 生活と住居(1) 住生活（個人・家族の生活）   | 11. 住居の環境と設備(2) 音・空気・水     |
| 4. 生活と住居(2) 住生活（地域生活）       | 12. 住居の構造(1) 住居の安全         |
| 5. 生活と住居(3) 住居の管理           | 13. 住居の構造(2) 構造システムと材料     |
| 6. 生活と住居(4) 防災と安全           | 14. 住居と福祉環境(1) 住宅問題と政策     |
| 7. 住居の計画と設計(1) 住居の計画        | 15. 住居と福祉環境(2) 福祉と住居・まちづくり |
| 8. 住居の計画と設計(2) 住居の設計        |                            |

## テキスト・参考書

- ①テキスト シリーズ＜生活科学＞住居学 朝倉書店 2003 **テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。**
- ②参考書 ①生活と住居 第2版 定行まり子ほか 光生館 2023
- ②少子高齢時代の都市住宅学 広原盛明 ミネルヴァ書房 2002
- ③生活空間論 小川信子ほか 光生館 1999

## 成績評価

- ①リポート 全体を 100 として、「ねらい」「アドバイス」を踏まえた課題に対する理解 50%、課題の理解に基づく考察 50%として評価する。
- ②科目修了試験 住居・住環境に関する知識の習得について確認する問題 3 問(各 20 点)、知識に基づいた考察を記述する問題 1 問(40 点)を出題する。合計点で評価するが、記述問題が 0 点となった場合は不合格とする。

## その他

リポート作成にあたっては、テキストや参考文献などの書籍から得た情報を自分で理解・整理し、テキスト等の抜き書きとしないようにすること。また、考察部分の記述については、客観性を持ったリポートとなるよう注意すること。平面図の描き方については、参考文献「生活と住居」（住生活学テキスト）を参照し、製図法に則って作成すること。

住居学概論（前期エニタイムスクーリング）

担当教員：浅見 美穂

1 年次～ 選択 2 単位      【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

概要

生活の拠点である住居と住環境について様々な角度から学ぶ。

授業の方法

【オンデマンド型（manaba 利用）】

講義動画を視聴する。小テストやレポートは期限内の提出が必須である。

学位授与方針との関係

生芸DP1 食物DP1 食科DP1

到達目標

- ①住居・住環境について歴史・文化、家族・生活、工学・技術、社会と関連づけて総合的な知識を習得する。
- ②平面図の製図法を修得し、住生活向上のための基本的な知識に基づいた客観的な分析力を修得する。

授業計画

- 1. 住居の歴史(1) 西洋住宅の展開
- 2. 住居の歴史(2) 日本住宅の伝統・近代住宅の成立
- 3. 生活と住居(1) 住生活（個人・家族の生活）
- 4. 生活と住居(2) 住生活（地域生活）
- 5. 生活と住居(3) 住居の管理
- 6. 生活と住居(4) 防災と安全
- 7. 住居の計画と設計(1) 住居の計画
- 8. 住居の計画と設計(2) 住居の設計
- 9. 住居の計画と設計(3) 住居の意匠
- 10. 住居の環境と設備(1) 熱・光
- 11. 住居の環境と設備(2) 音・空気・水
- 12. 住居の構造（住居の安全 構造システムと材料）
- 13. 住居と福祉環境(1) 住宅問題と政策
- 14. 住居と福祉環境(2) 福祉と住居・まちづくり
- 15. まとめ

manaba にガイダンスやコースニュースにて各提出期限日時を事前通知  
各回 manaba より講義動画視聴後に小テストやレポート提出

- 1 回目の提出（1～4 章、課題①）
- 2 回目の提出（5～6 章）
- 3 回目の提出（7～9 章）
- 4 回目の提出（10～11 章）
- 5 回目の提出（12～14 章）
- 6 回目の提出（課題②）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業初日までに必ず manaba を確認し、教科書を読んでおくこと（3 時間程度の予習）。

事前課題 特になし

②使用教科書 シリーズ＜生活科学＞住居学 朝倉書店 2003

③参考書 ①生活と住居 第 2 版 定行まり子ほか 光生館 2023

②少子高齢時代の都市住宅学 広原盛明 ミネルヴァ書房 2002

③生活空間論 小川信子ほか 光生館 1999

④持参（準備）するもの 平面図を描くための用紙（方眼紙も可）、定規など

⑤成績評価 授業では講義動画視聴後の小テストやレポートを予定している（提出期限あり）。住居・住環境に関する知識、平面図の描き方の習得について確認する課題、知識に基づいた考察を記述する課題などの合計点で評価する。一つでも未提出があれば不合格とする。合格ライン（60 点相当）に満たない課題は再提出を課す場合がある。

⑥学生へのメッセージ 住居学概論で学ぶ範囲は広いため、他の住居学系科目の内容と関連付けて学ぶと理解が深まる。平面図の描き方については、「生活と住居」（住生活学テキスト）を参照し、製図法に則って作図すること。到達目標はテキスト科目と同様であるので、小テストや各課題が、テキスト科目のリポート課題や科目修了試験に相当すると考え、どの課題もしっかり取り組んでほしい。

⑦追試験 対象外科目

特記事項 テキスト科目「住居学概論」と同時登録は不可である。人数制限があるので注意すること。

# 住居学概論（後期エニタイムスクーリング）

担当教員：浅見 美穂

1 年次～ 選択 2 単位      【二級建築士・木造建築士】

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

生活の拠点である住居と住環境について様々な角度から学ぶ。

## 授業の方法

【オンデマンド型（manaba 利用）】

講義動画を視聴する。小テストやレポートは期限内の提出が必須である。

## 学位授与方針との関係

生芸DP1 食物DP1 食科DP1

## 到達目標

- ①住居・住環境について歴史・文化、家族・生活、工学・技術、社会と関連づけて総合的な知識を習得する。
- ②平面図の製図法を修得し、住生活向上のための基本的な知識に基づいた客観的な分析力を修得する。

## 授業計画

|                             |                                                                        |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 1. 住居の歴史(1) 西洋住宅の展開         | manaba にガイダンスやコースニュースにて各提出期限日時を事前通知<br>各回 manaba より講義動画視聴後に小テストやレポート提出 |
| 2. 住居の歴史(2) 日本住宅の伝統・近代住宅の成立 |                                                                        |
| 3. 生活と住居(1) 住生活（個人・家族の生活）   |                                                                        |
| 4. 生活と住居(2) 住生活（地域生活）       |                                                                        |
| 5. 生活と住居(3) 住居の管理           |                                                                        |
| 6. 生活と住居(4) 防災と安全           | 1 回目の提出（1～4 章、課題①）                                                     |
| 7. 住居の計画と設計(1) 住居の計画        |                                                                        |
| 8. 住居の計画と設計(2) 住居の設計        | 2 回目の提出（5～6 章）                                                         |
| 9. 住居の計画と設計(3) 住居の意匠        |                                                                        |
| 10. 住居の環境と設備(1) 熱・光         | 3 回目の提出（7～9 章）                                                         |
| 11. 住居の環境と設備(2) 音・空気・水      |                                                                        |
| 12. 住居の構造（住居の安全 構造システムと材料）  | 4 回目の提出（10～11 章）                                                       |
| 13. 住居と福祉環境(1) 住宅問題と政策      |                                                                        |
| 14. 住居と福祉環境(2) 福祉と住居・まちづくり  | 5 回目の提出（12～14 章）                                                       |
| 15. まとめ                     | 6 回目の提出（課題②）                                                           |

## 受講にあたって

### ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業初日までに必ず manaba を確認し、教科書を読んでおくこと（3 時間程度の予習）。

事前課題 特になし

②使用教科書 シリーズ＜生活科学＞住居学 朝倉書店 2003

③参考書 ①生活と住居 第 2 版 定行まり子ほか 光生館 2023

②少子高齢時代の都市住宅学 広原盛明 ミネルヴァ書房 2002

③生活空間論 小川信子ほか 光生館 1999

④持参（準備）するもの 平面図を描くための用紙（方眼紙も可）、定規など

⑤成績評価 授業では講義動画視聴後の小テストやレポートを予定している（提出期限あり）。住居・住環境に関する知識、平面図の描き方の習得について確認する課題、知識に基づいた考察を記述する課題などの合計点で評価する。一つでも未提出があれば不合格とする。合格ライン（60 点相当）に満たない課題は再提出を課す場合がある。

⑥学生へのメッセージ 住居学概論で学ぶ範囲は広いので、他の住居学系科目の内容と関連付けて学ぶと理解が深まる。平面図の描き方については、「生活と住居」（住生活学テキスト）を参照し、製図法に則って作図すること。到達目標はテキスト科目と同様であるので、小テストや各課題が、テキスト科目のリポート課題や科目修了試験に相当すると考え、どの課題もしっかり取り組んでほしい。

⑦追試験 対象外科目

特記事項 テキスト科目「住居学概論」と同時登録は不可である。人数制限があるので注意すること。

## 家庭管理概論（テキスト）

担当教員： 天野 晴子・増茂 智子

1 年次～ 選択 2 単位

テキスト科目／2025 年度

### 概要

「家庭管理概論」では、家庭管理領域を人間の生命と労働力の再生産構造ととらえる。家庭管理は短期の生活を対象にするのみでなく、個人的レベルから社会保障、就労の確保、生活環境など、生活設計の社会性・連帯性ととともに、新しい生活様式の創造へ連なることを理解する。

### 授業の方法

【印刷教材等】

### 学位授与方針との関係

生芸DP1 食物DP1 食科DP1

### 到達目標

- ①家庭管理領域を二重の領域としてとらえる意味を、具体的な課題にそくして説明できる。
- ②家計、家事労働、生活時間等の各領域に関する専門用語やデータの扱い方を理解し、これらを活用して分析することができる。
- ③現代の生活課題を発見し、構造を把握し、問題解決への提言を示すことができる。

### 学習の進め方

テキストを熟読した後、レポート課題に着手し、参考文献にもあたりながら、レポートを作成する。課題1はテキスト全体及び「学習の手引」をあわせて読み、課題2は第4章及び第5章を中心に検討する。科目修了試験にむけてはテキスト全体及び「学習の手引」をよく理解しておくこと。

### 内容

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 生活経済・経営から考える家庭管理論とは | 9. 資産形成の変化と金融教育の高まり       |
| 2. 家庭生活の構造と家庭管理論の対象領域  | 10. アンペイドワークとワーク・ライフ・バランス |
| 3. 資本主義における生産と消費生活の単位  | 11. 福祉社会における生活の社会化と生活経済   |
| 4. 家族・世帯・ライフコース        | 12. 持続可能な社会に向けた生活様式の創造    |
| 5. 労働環境の現状と企業の社会的責任    | 13. ワーク&ライフキャリアと生活経済      |
| 6. 家計収入・支出の構造にみるジェンダー  | 14. 持続可能な生活と社会の創造         |
| 7. 家計の所得格差・貧困と所得再分配    | 15. まとめ                   |
| 8. 社会保障と最低生活保障         |                           |

### テキスト・参考書

①テキスト ジェンダーで学ぶ生活経済論 【第3版】 伊藤純・斎藤悦子 ミネルヴァ書房 2021、学習の手引

**テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。**

- ②参考書 ①持続可能な社会をつくる生活経営学 （一社）日本家政学会生活経営学部会編 朝倉書店 2020  
②新版 家庭管理論 宮崎礼子編 有斐閣 1989

### 成績評価

- ①レポート 全体を100として、課題の理解20%、「ねらい」「アドバイス」の活用20%、学生自身の学習成果40%、レポートとしての完成度20%を目安として評価する。
- ②科目修了試験 論述形式の出題とし、基礎知識40%、理解度30%、論理的思考力20%、記述力10%を目安として評価する。

## 家族関係論（テキスト）

担当教員：金山 裕介

1 年次～ 選択 2 単位

テキスト科目／2025 年度

### 概要

家族とは何でしょうか。家族を学問的に定義することは、大変難しい問題をはらんでいます。家族関係論を学ぶ第一の意義は、家族のあり方が大きく変容する現代において、常識や先入観にとらわれずに客観的かつ主体的に家族を把握するための視点を身につけることにあります。そのため、テキストに即して、主として家族社会学の立場から家族を理解する視点を学んでいきます。また、家族関係論を生きた学問として学ぶためには、関連する様々な分野の知見を幅広く吸収しながら総合的に学ぶ必要があります。この学びを、家族について自ら疑問を持ち探索していく出発点としてください。

### 授業の方法

【印刷教材等】

### 学位授与方針との関係

生芸 DP 1 食物 DP 1 食科 DP 1

### 到達目標

- ①家族を客観的に見る力を身につけ、家族問題にどのように関わっていくかについての指針を得る
- ②家族関係の学問的認識を深めることによって、家族をより豊かに生きていくことができるようになる
- ③現実には葛藤や悩みを抱えて苦しんでいる家族を支援していく専門的な知識や技法を身につける

### 学習の進め方

テキストを読み、家族を捉えるこれまでの知見を学んでください。そして、参考書を通して現代の多様な家族が抱える問題について理解を深めてください。必要に応じて最新の政府統計を参照したり、各自が家族に関する参考書を参照することで、より理解を深めることができるでしょう。科目修了試験に向けては、レポートの基礎知識で取り上げられた現代家族の課題について、自らの意見を述べられるように準備してください。

### 内容

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 家族をどうとらえるか      | 9. 家族の役割構造、勢力構造、情緒構造 |
| 2. 家族分析の手がかりー類型と分類 | 10. 子どもの養育と社会化       |
| 3. 青年期の異性交際        | 11. 老親の扶養            |
| 4. 配偶者の選択          | 12. 家族と社会ネットワーク      |
| 5. 結婚の意味と機能        | 13. 家族形態の変化          |
| 6. 離婚、その後          | 14. 家族機能の変化          |
| 7. ライフサイクル         | 15. 家族のゆくえ           |
| 8. 家族の危機           |                      |

### テキスト・参考書

#### ①テキスト

新しい家族社会学（四訂版） 森岡清美・望月嵩 培風館 1997、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

#### ②参考書

三訂 新しい家族関係学 長津美代子・小澤千穂子（編） 建帛社 2023

家族社会学事典 日本家族社会学会（編） 丸善出版 2023

問いからはじめる家族社会学〔改訂版〕 岩間暁子、大和礼子、田間 泰子 有斐閣 2022

家族心理学 第2版 中釜洋子、野末武義、布柴靖枝、無藤清子（編） 有斐閣 2019

### 成績評価

#### ①レポート

基礎知識の説明と論述課題：基礎知識を理解し、適切に説明している（50）、論理的な構成と明確な根拠に基づいた考察をしている（30）、既存の知識や情報を批判的に吟味し、独自の視点で考察をしている（20）

#### ②科目修了試験

論述課題：論理的な構成と明確な根拠に基づいた考察をしている（60）、既存の知識や情報を批判的に吟味し、独自の視点で考察をしている（40）

## 調理基礎（テキスト）

担当教員：高橋 敦子

1 年次～ 選択 1 単位

テキスト科目／2025 年度

### 概要

調理基礎では、調理の目的を食品、栄養、安全、嗜好、食文化の面から科学的に捉えることを学ぶ。食品の性質については、調理による食品成分の変化、食味への影響を理解する。調理の種類と基本操作においては、加熱操作、非加熱操作、調味の方法について理解する。また、加熱調理機器の基本構造についても触れ、適切な取り扱いが出来るようにする。調味については、味の対比効果、相乗効果、味の浸透・拡散、温度と味覚との関係を取り上げ、調味料の組み合わせ、量と入れる時期、順序などと、味とテクスチャーとの関係について取り上げる。日本料理、西洋料理の主な特徴を学習するとともに、代表的な献立や料理を理解し、献立作成がスムーズにできる能力を身につける。

### 授業の方法

【印刷教材等】

### 学位授与方針との関係

生芸DP1 食物DP1 食科DP1

### 到達目標

中学校、高校の家庭科で、日常よく用いられる食品を取り上げて、生徒に基本的な調理操作を習得させ、また日常生活で実践できる能力を養うための指導力を身につける。

### 学習の進め方

1. テキストの章ごとに学習を進める。
2. その章に該当する中学校・高校で使用している家庭科教科書と指導要領とをよく読み、理解する。各章の参考文献を調べる。
3. リポートの課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・教科書・参考文献に基づき学習する。
4. リポートの下書きを作成し、テキスト、家庭科の教科書、参考文献との整合性等を確認する。清書したリポートを提出する。
5. リポート合格の場合は、科目修了試験に向けてテキストで、勉強する。リポート不合格の場合は改めてテキスト、家庭科の教科書、参考文献にあたったうえでリポートを作成し、提出する。
6. 科目修了試験に向けてテキストの内容をよく理解するとともに、日本料理・西洋料理の献立の立て方について学習する。
7. 科目修了試験不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。

### 内容

1. 調理の基礎
  - ・調理の目的、調理法・味の基本、調味の仕方を体得する。
  - ・献立の立て方について、作成の目的に合わせ作成すること。
2. 日本料理とは
  - ・日本料理の歴史的背景を知るとともに、本膳料理・懐石料理・会席料理の違い、献立形式、配膳の仕方を体得する。
3. 生もの料理・和え物料理（日本料理）
  - ・生もの料理の特徴と種類を知り、器への盛り付け方を学ぶ。
  - ・魚のおろし方を体得し、様々な調理法があることを学ぶ。
  - ・和え物の特徴と調理上の注意点を知り、調味料の割合や盛り付け方について考える。
4. 汁もの料理・焼き物料理（日本料理）
  - ・汁ものの種類と出汁のとり方、みその種類と塩分量、碗の盛り方を学ぶ。
  - ・汁ものの調理法には、様々な調理法があることを学ぶ。
  - ・焼き物の種類、盛り付け方、様々な調理法について学ぶ。
5. 蒸し物料理・揚げ物料理（日本料理）
  - ・蒸し物料理の特徴を捉え、その注意点をしっかりと体得する。
  - ・揚げ物料理の特徴・揚げ物料理の温度管理・注意点・盛り付け方を学び、それぞれの特徴ある調理法を学ぶ。
6. 煮物料理・ご飯物料理（日本料理）

- ・煮物料理の特徴、種類、注意点、盛り付け方を学ぶ。
  - ・ご飯の炊き方、水加減、味付けの仕方、すし飯について学ぶ。
  - ・それぞれの料理の特徴ある調理法を学ぶ。
7. 練り物・寄せ物料理・菓子・茶
- ・寒天・ゼラチン・カラギーナン・くずのそれぞれの特徴を知るとともに、その扱い方について体得すること。
  - ・菓子の種類や歴史的背景を考え、様々な和菓子の作り方を学ぶ。
  - ・茶の種類や茶の入れ方を体得すること。
8. 行事食
- ・行事食についてその歴史やいわれ等を学ぶとともに、自分の住んでいる地域の特徴ある行事食について調べてみる。
9. 中国料理について
- ・中国料理の特徴と献立構成、供食の仕方を学ぶ。
  - ・中国料理の手法は、日本料理と同じものもあれば、まったく異なるものもある。その違いについて調べてみる。
  - ・点心の特徴、種類、その調理方法を学ぶ。
10. 西洋料理について
- ・西洋料理の特徴、献立形成、供食の仕方を学ぶ。
  - ・西洋料理の手法は、日本料理と同じものもあれば、まったく異なるものもある。その違いについて調べてみる。
  - ・スープやソースの素となる出汁のとり方、その種類、ソースの意味や分類の仕方について学ぶ。
11. 肉料理・魚料理・卵料理
- ・肉や魚の種類や部位による処理方法、調理法について学ぶ。
  - ・香辛料の種類や特徴、香辛料の効果的な使い方について学ぶ。
  - ・卵料理についてその特徴、種類、調理法について学ぶ。
  - ・料理法や素材に合わせたソースの使い方について考える。
12. 野菜料理・穀物料理・サンドイッチと飲み物
- ・サラダの種類・注意点、調理方法について学ぶ。
  - ・サンドイッチの種類・特徴と作るときに注意点について学ぶ。
  - ・穀物料理の種類や調理方法について学ぶ。
  - ・紅茶やコーヒーの種類、入れ方について体得する。
13. デザート
- ・デザートの種類やそれに伴うソースの選び方について学ぶ。
  - ・基本的な焼き菓子や冷菓の作り方や注意点を体得する。
14. 高齢者と障がい者・乳幼児の献立
- ・今まで学習してきた調理法や食材の扱い方を基に、高齢者や障がい者、乳幼児の食の特徴を考えながら、献立作りをする。
  - ・どのような供食の仕方をしたら食のQOLを高めるか、考える。
15. 中学校家庭科指導要領に沿った授業づくり
- ・中学校家庭科の教科書・指導要領を熟読する。
  - ・中学生にとってわかりやすく、安全な調理実習とはどのような授業構成にしたらいいか、調理実習の指導案を考える。
  - ・限られた時間内で、効率よく調理実習を行うときの注意点・工夫の仕方、供食・後片付けの仕方について考える。

## テキスト・参考書

### ①テキスト

新編 あすの健康と調理 一食生活の彩りを豊かに― 飯田文子 松月弘恵編著 アイ・ケイコーポレイション 2023、学習の手引

**テキスト一覧（「履修の手引」に掲載）を必ず参照のこと。**

### ②参考書

中学校・高校家庭科教科書 文部科学省中学校・高等学校学習指導要領解説 家庭編

## 成績評価

### ①レポート

全体の評価を100として、課題の理解50%、学生自身の学習効果25%、レポートとしての完成度25%として評価する。

### ②科目修了試験

各設問20点および30点で配分し、合計点で評価するが、1問でも0点となった場合は不合格とすることがある。

調理基礎実習（夏期スクーリング）

担当教員： 高橋 敦子

2 年次～ 選択 1 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

日常食の調理の基礎として、調理の目的、調理方法、味の基本、献立とその立て方、日常食の供食等の学習を通し、簡単な日常食を整えることができるように、基礎的な調理実習を行う。そのため、魚や肉、野菜などを中心に日常よくもちいられる食品を取り上げて基礎的な調理操作を習得し、日常食にふさわしい食事について理解を深め、日常生活で実践するための指導方法について学習する。また、調理実習を通して、調理の手順や時間を考えて、計画を立てて行うこと、調理後の後始末や実習後の評価についても指導の一環として学習する。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸DP5 食物DP4 食科DP4

到達目標

食品の選択と日常食の調理の基礎について、食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択するための指導ができるようにする。また、基本的な日本料理、西洋料理の献立を理解し、簡単な調理ができ、食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理について指導ができるようにする。

授業計画

- |                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. 日本料理基礎 1 日本料理とは           | 9. 西洋料理基礎 1 西洋料理とは         |
| 2. 日本料理基礎 2 焼き物料理            | 10. 西洋料理基礎 2 スープ料理         |
| 3. 日本料理基礎 3 汁物料理 以上第 1 日     | 11. 西洋料理基礎 3 魚料理           |
| 4. 日本料理基礎 4 煮物料理             | 12. 西洋料理基礎 4 野菜料理 以上第 4 日  |
| 5. 日本料理基礎 5 和え物料理            | 13. 西洋料理基礎 5 肉料理           |
| 6. 日本料理基礎 6 菓子・茶 以上第 2 日     | 14. 西洋料理基礎 6 デザート 以上第 5 日  |
| 7. 中国料理基礎 1 中国料理とは           | 15. まとめ、今後の学習に向けての助言 第 6 日 |
| 8. 中国料理基礎 2 前菜・大菜・点心 以上第 3 日 |                            |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

教科書の内容を理解するとともに、特に実習を行う料理については実習がスムーズに行えるように学修しておく。1 回の授業につき最低 1 時間。

②使用教科書

2023 年度入学者まで：調理学実習 高増雅子 群羊社（現在非売品）

2024 年度以降の入学者：新編 あすの健康と調理 ―食生活の彩りを豊かに― 飯田文子 松月弘恵編著 アイ・ケイコーポレーション 2023、学習の手引（通信教育課で販売）

③参考書

主に中学校(高校)の家庭科教科書、学習指導要領

④持参（準備）するもの

テキスト・初日より、調理実習ができるようエプロン・三角巾・上履き（スリッパは不可）を持参すること

⑤成績評価

スクーリング最終日の筆記試験(1 時間)80%、実習時の参加状況 20%

⑥学生へのメッセージ

教科書、家庭科教科書・学習指導要領等を事前に読んでおくこと

## ⑦追試験

対象外科目

**特記事項** 受講者数を40名までとする。登録時に「調理基礎」を修得済又は前年度末までにレポート合格済であること。

## 調理基礎実習（後期土曜スクーリング）

担当教員：高橋 敦子

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2025年度

### 概要

日常食の調理の基礎として、調理の目的、調理方法、味の基本、献立とその立て方、日常食の供食等の学習を通し、簡単な日常食を整えることができるように、基礎的な調理実習を行う。そのため、魚や肉、野菜などを中心に日常よくもちいられる食品を取り上げて基礎的な調理操作を習得し、日常食にふさわしい食事について理解を深め、日常生活で実践するための指導方法について学習する。また、調理実習を通して、調理の手順や時間を考えて、計画を立てて行うこと、調理後の後始末や実習後の評価についても指導の一環として学習する。

### 授業の方法

【動画視聴型（manaba利用）】

### 学位授与方針との関係

生芸DP5 食物DP4 食科DP4

### 到達目標

食品の選択と日常食の調理の基礎について、食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択するための指導ができるようにする。また、基本的な日本料理、西洋料理の献立を理解し、簡単な調理ができ、食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理について指導ができるようにする。

### 授業計画

イントロダクション：授業の進め方（manabaに事前掲示）

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 日本料理基礎1 日本料理とは         | 9. 西洋料理基礎1 西洋料理とは        |
| 2. 日本料理基礎2 焼き物料理          | 10. 西洋料理基礎2 スープ料理        |
| 3. 日本料理基礎3 汁物料理 以上第1日     | 11. 西洋料理基礎3 魚料理          |
| 4. 日本料理基礎4 煮物料理           | 12. 西洋料理基礎4 野菜料理 以上第4日   |
| 5. 日本料理基礎5 和え物料理          | 13. 西洋料理基礎5 肉料理          |
| 6. 日本料理基礎6 菓子・茶 以上第2日     | 14. 西洋料理基礎6 デザート 以上第5日   |
| 7. 中国料理基礎1 中国料理とは         | 15. まとめ、今後の学習に向けての助言 第6日 |
| 8. 中国料理基礎2 前菜・大菜・点心 以上第3日 |                          |

### 受講にあたって

#### ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

教科書の内容を理解するとともに、特に実習を行う料理については実習がスムーズに行えるように学修しておく。1回の授業につき最低1時間。

#### ②使用教科書

2023年度入学者まで：調理学実習 高増雅子 群羊社（現在非売品）

2024年度以降の入学者：新編 あすの健康と調理 一食生活の彩りを豊かに― 飯田文子 松月弘恵編著 アイ・ケイコーポレーション 2023、学習の手引（通信教育課で販売）

#### ③参考書

主に中学校(高校)の家庭科教科書、学習指導要領

#### ④持参（準備）するもの

教科書、初日より自宅で調理実習ができるようエプロン・三角巾を準備すること

#### ⑤成績評価

スクーリング最終日の筆記試験(1時間)50%、毎回のレポート提出50%

#### ⑥学生へのメッセージ

教科書、家庭科教科書・学習指導要領等を事前に読んでおくこと

⑦追試験

対象外科目

**特記事項** 登録時に「調理基礎」を修得済又は前年度末までにレポート合格済であること

衣服実習（夏期スクーリング）

担当教員： 米今 由希子

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

中学校・高校の被服製作分野について、学習指導要領をふまえ教材研究を行うことを目的とする。ショートパンツの製作実習を通じ、被服構成理論の基礎を体感することによって理解を深める。さらに、簡単な縫製技術を身につけることによって、被服製作を指導するうえでの留意点や指導方法についてより深く考察できるようにする。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

生芸DP5 食物DP4 食科DP4

到達目標

- 1. 上衣と下衣の構成について、人体の形態との関連を含め理解することができる
- 2. 被服製作のために必要な縫製技術を習得することができる
- 3. 和裁の基礎、浴衣の構成・着装について理解することができる
- 4. 被服製作の指導について、留意すべき点や指導方法について考察することができる

授業計画

- |                                            |                                         |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1. 授業概要、用具説明                               | 8. ショートパンツの製作④ 本縫い② 股上縫い、ウエストの始末（以上4日目） |
| 2. ミシンの練習（以上1日目）                           |                                         |
| 3. 手縫いの練習                                  | 9. ショートパンツの製作⑤ 本縫い③ 仕上げ                 |
| 4. 人体計測について                                | 10. ショートパンツの製作⑥ ポートフォリオ作成               |
| 5. ショートパンツの製作① パターン作成                      | 11. 原型、パターンの作成について                      |
| 6. ショートパンツの製作② 裁断・印付け（以上2日目）               | 12. シャツの構成と製作の要点                        |
| 7. ショートパンツの製作③ 本縫い① ポケット付け、脇縫い、股下縫い（以上3日目） | 14. 家庭科の教材について（以上5日目）                   |
|                                            | 13. 和裁の基礎知識、浴衣の着装                       |
|                                            | 15. まとめ（以上6日目）                          |

受講にあたって

- ①**準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間** 被服製作に関する用語や技術を確認し、基礎の手縫いやミシンについて学習しておくこと。約2時間。
- ②**使用教科書** 教科書は使用せず、プリントを配付する。
- ③**参考書** 楽しくスクールソーイング 一般社団法人 日本家政学会被服構成学部会監修 開隆堂 2012  
中学校学習指導要領解説 家庭編  
高等学校学習指導要領解説 家庭編
- ④**持参するもの**
  - ・ショートパンツ用布地：110cm 幅で 2m。綿 100%の中肉程度の布地（オックスフォード、ダンガリー、シャンブレー、ソフトデニム、ソフトツイル等。無地又は規則性のない小さい柄物が適する）
  - ・ミシン糸：布地と近い色のシャッペスパン 60 番
  - ・マーカーペン
  - ・基本的な裁縫用具 持参するもの：縫い針、ピンクッション、糸切りばさみ、チャコペンシル、リッパー、裁ちばさみなど  
あると便利なもの：ゴム通し  
貸し出し可能なもの：裁ちばさみ、メジャー、定規  
貸し出し・配布予定のもの：ルレット、チャコペーパー、しつけ糸、赤白まち針、ボビン、ゴム
- ⑤**成績評価** 作品（60%）、授業参加（20%）、小テスト（20%）を総合して評価する。
- ⑥**追試験** 対象外科目
- 特記事項** 受講者数を 30 名までとする

# 衣服実習（後期土曜スクーリング）

担当教員： 米今 由希子

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2025 年度

## 概要

中学校・高校の被服製作分野について、学習指導要領をふまえて教材研究を行うことを目的とする。ショートパンツの製作実習を通じて、被服構成理論の基礎を体感することによって理解を深める。さらに、簡単な縫製技術を身につけることによって、被服製作を指導するうえでの留意点や指導方法についてより深く考察できるようにする。

## 授業の方法

【面接】

## 学位授与方針との関係

生芸DP5 食物DP4 食科DP4

## 到達目標

1. 上衣と下衣の構成について、人体の形態との関連を含め理解することができる
2. 被服製作のために必要な縫製技術を習得することができる
3. 和裁の基礎、浴衣の構成・着装について理解することができる
4. 被服製作の指導について、留意すべき点や指導方法について考察することができる

## 授業計画

- |                                            |                                         |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1. 授業概要、用具説明                               | 8. ショートパンツの製作④ 本縫い② 股上縫い、ウエストの始末（以上4日目） |
| 2. ミシンの練習（以上1日目）                           |                                         |
| 3. 手縫いの練習                                  | 9. ショートパンツの製作⑤ 本縫い③ 仕上げ                 |
| 4. 人体計測について                                | 10. ショートパンツの製作⑥ ポートフォリオ作成               |
| 5. ショートパンツの製作① パターン作成                      | 11. 原型、パターンの作成について                      |
| 6. ショートパンツの製作② 裁断・印付け（以上2日目）               | 12. シャツの構成と製作の要点                        |
| 7. ショートパンツの製作③ 本縫い① ポケット付け、脇縫い、股下縫い（以上3日目） | 14. 家庭科の教材について（以上5日目）                   |
|                                            | 13. 和裁の基礎知識、浴衣の着装                       |
|                                            | 15. まとめ（以上6日目）                          |

## 受講にあたって

- ①**準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間** 被服製作に関する用語や技術を確認し、基礎の手縫いやミシンについて学習しておくこと。約2時間。
- ②**使用教科書** 教科書は使用せず、プリントを配付する。
- ③**参考書** 楽しくスクールソーイング 一般社団法人 日本家政学会被服構成学部会監修 開隆堂 2012  
中学校学習指導要領解説 家庭編  
高等学校学習指導要領解説 家庭編
- ④**持参するもの**
- ・ショートパンツ用布地：110cm 幅で 2m。綿 100%の中肉程度の布地（オックスフォード、ダンガリー、シャンブレイ、ソフトデニム、ソフトツイル等。無地又は規則性のない小さい柄物が適する）
  - ・ミシン糸：布地と近い色のシャッペスパン 60 番
  - ・マーカーペン
  - ・基本的な裁縫用具 持参するもの：縫い針、ピンクッション、糸切りばさみ、チャコペンシル、リッパー、裁ちばさみなど  
あると便利なもの：ゴム通し  
貸し出し可能なもの：裁ちばさみ、メジャー、定規  
貸し出し・配布予定のもの：ルレット、チャコペーパー、しつけ糸、赤白まち針、ボビン、ゴム
- ⑤**成績評価** 作品（60%）、授業参加（20%）、小テスト（20%）を総合して評価する。
- ⑥**追試験** 対象外科目
- 特記事項** 受講者数を 30 名までとする